

令和4年度

札幌市下水道維持管理年報

札幌市下水道河川局

事業推進部

目 次

I	総 括	1
II	水再生プラザ	
	1 創成川水再生プラザ	77
	2 拓北水再生プラザ	123
	3 伏古川水再生プラザ	147
	4 茨戸水再生プラザ	173
	5 豊平川水再生プラザ	201
	6 厚別水再生プラザ	243
	7 定山溪水再生プラザ	273
	8 東部水再生プラザ	293
	9 新川水再生プラザ	315
	10 手稲水再生プラザ	357
III	ポンプ場	
	1 茨戸中部中継ポンプ場	385
	2 茨戸東部中継ポンプ場	395
	3 東雁来雨水ポンプ場	403
	4 伏古川雨水ポンプ場	411
	5 豊平川中継ポンプ場	421
	6 米里中継ポンプ場	429
	7 月寒川雨水ポンプ場	437
	8 野津幌川雨水ポンプ場	443
	9 川北中継ポンプ場	451
	10 厚別川雨水ポンプ場	459
	11 定山溪中継ポンプ場	469
	12 藤野中継ポンプ場	477
	13 簾舞中継ポンプ場	483
	14 藻岩下第2中継ポンプ場	489
	15 手稲中継ポンプ場	495
	16 茨戸西部中継ポンプ場	505
	17 マンホールポンプ所	513
IV	その他の施設	
	1 西部スラッジセンター	519
	2 東部スラッジセンター	545
	3 手稲沈砂洗浄センター	567
	4 厚別洗浄センター	575
	5 埋立施設	583
	6 厚別融雪槽	591
	7 創成川融雪管	597
	8 新川融雪槽	605
	9 伏古川融雪管	611
V	水質指導業務	617
VI	水質管理業務	627
VII	管路管理業務	683

I 総 括

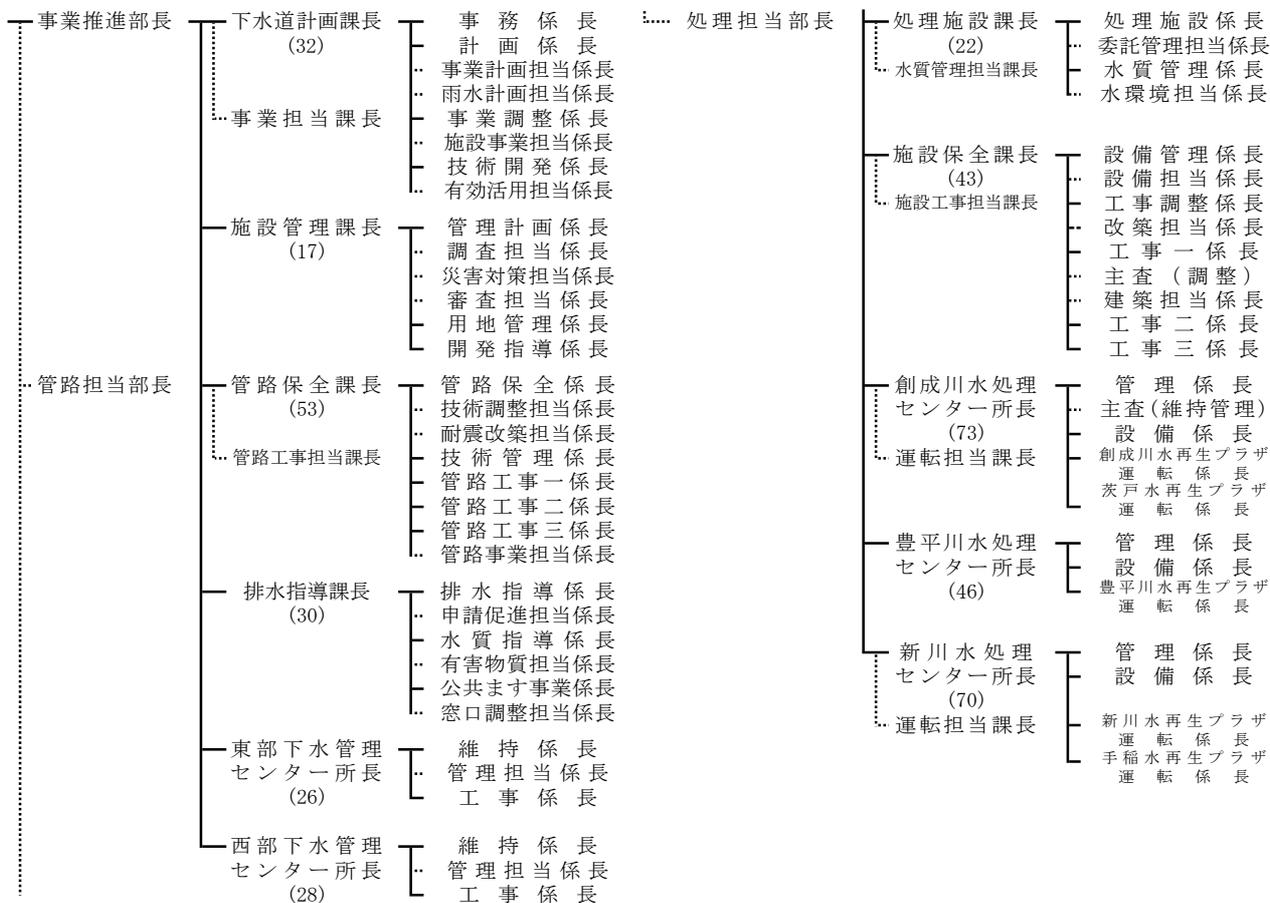
総括目次

1	維持管理体制	
	(1) 機構	1
	(2) 施設の運転管理体制	1
	(3) 職員の状況	2
2	年表	3
3	施設所在地	9
4	下水道計画概要図	11
5	施設及び設備の概要	
	(1) 水再生プラザ等施設能力の現況と計画	12
	(2) 水再生プラザ設備の現況	14
	(3) ポンプ場施設能力の現況と計画	22
	(4) ポンプ場設備の現況	24
	(5) その他施設の概要	28
6	処理実績調	
	(1) 処理水量等（水再生プラザ）	36
	(2) 汚泥処理等	38
	(3) 脱水汚泥量等	39
	(4) 焼却量等	39
	(5) 焼却灰等の再生利用・処分	39
	(6) 処理水のアメニティ事業、雪対策への利用	41
	(7) 水質検査結果等（水再生プラザ）	42
	(8) 揚水量等の実績（ポンプ場）	48
	(9) 主要機器の運転時間（ポンプ場）	50
7	管路管理実績調	51
8	決算状況調	
	(1) 処理区分別決算内訳	52
	(2) 処理単価	54
	(3) 使用量状況（水再生プラザ）	56
	(4) 使用量状況（ポンプ場）	62
	(5) 契約電力	64
	(6) 処理水の再利用状況	66
9	下水道施設の公園・スポーツ施設利用状況	68
10	参考資料	
	(1) 整備状況	69
	(2) 流入水量状況	70
	(3) 汚泥処理処分状況	71
	(4) 降水量	72
	(5) 水再生プラザと環境基準点	73
	(6) 環境基準点のBODと処理水アンモニア性窒素の推移	73
	(7) 電力使用状況	75
	(8) 各水再生プラザの日常試験・24時間試験の項目等について	76

1 維持管理体制

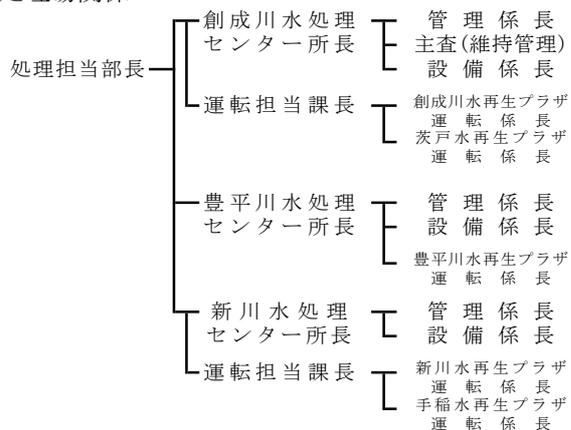
(1) 機構

令和5年3月31日現在

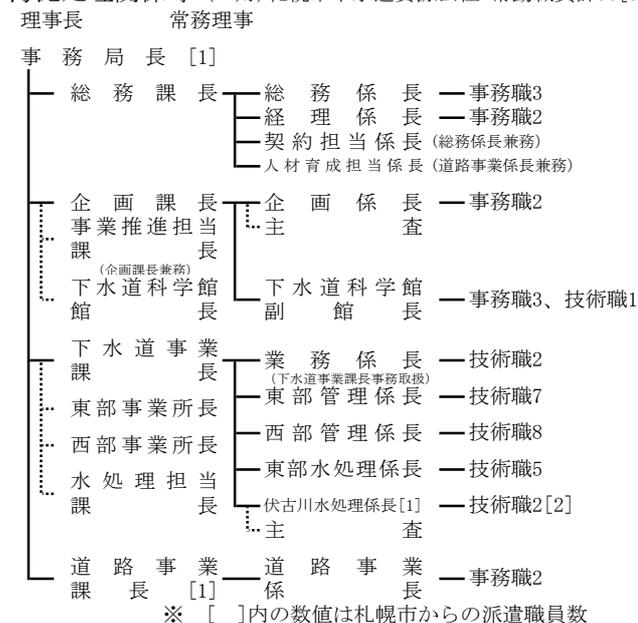


(2) 施設の運転管理体制

処理場関係



汚泥処理関係等 (一財)札幌市下水道資源公社 常勤職員計56[5]



※ []内の数値は札幌市からの派遣職員数

(3) 職員の状況

令和5年3月31日現在

課名	区分	合計	事務職員					技術職員										技能職員		
			計	部長	課長	係長	事務	計	部長	課長	係長	土木	機械	電気	衛生	衛生	建築	計	機械	管理
下水道計画課	定数	32	8			1	7	24	1	2	7	11			3			0		
	現員	32	8			1	7	24	1	2	7	13					1	0		
施設管理課	定数	17	3			1	2	14		1	5	7					1	0		
	現員	17	3			1	2	14		1	5	7					1	0		
管路保全課	定数	14	0					14	1	1	3	9						0		
	現員	14	0					14	1	1	3	9						0		
管路工事担当課長	定数	39	0					39		1	5	33						0		
	現員	39	0					39		1	5	33						0		
排水指導課	定数	30	0					30		1	6	17			4	2		0		
	現員	28	0					28		1	6	15				6		0		
東部下水管理センター	定数	26	1				1	16		1	3	12						9	9	
	現員	25	1				1	15		1	3	11						9	9	
西部下水管理センター	定数	28	1				1	17		1	3	13						10	10	
	現員	28	1				1	17		1	3	13						10	10	
処理施設課	定数	9	0					9	1	1	2		1	1	2	1		0		
	現員	9	0					9	1	1	2	1	1	1		2		0		
水質管理担当課長	定数	13	0					13		1	2				4	6		0		
	現員	13	0					13		1	2					10		0		
施設保全課	定数	12	0					12		1	2		5	4				0		
	現員	12	0					12		1	2		6	3				0		
施設建設担当課長	定数	31	0					31		1	6	4	8	8	1		3	0		
	現員	29	0					29		1	7	3	8	7		3	0			
創成川水処理センター	定数	23	2				2	21		1	2		5	5	5	3		0		
	現員	23	2				2	21		1	3	2	6	4		5		0		
運転担当課長	定数	50	0					3		1	2							47	47	
	現員	47	0					3		1	2							44	44	
豊平川水処理センター	定数	46	2				2	18		1	3		4	3	3	4		26	26	
	現員	44.5	2				2	18		1	3		3	4		7		24.5	24.5	
新川水処理センター	定数	21	2				2	19		1	2		5	5	3	3		0		
	現員	21	2				2	19		1	2	1	5	5	1	4		0		
運転担当課長	定数	49	0					3		1	2							46	46	
	現員	46	0					3		1	2							43	43	
合計	定数	440	19	0	0	2	17	283	3	17	55	106	28	26	25	20	3	138	138	0
	現員	427.5	19	0	0	2	17	278	3	17	57	108	29	24	1	36	3	130.5	130.5	0

※再任用職員のうち短時間勤務職員については、2名で1名分に換算して記載。

2 年表

大正15年度	第1期下水道築造5年計画事業着手。札幌市下水道条例公布
昭和16年度	第2次世界大戦。この頃までに第2期、第3期築造計画実施
26年度	第4期下水道築造5年計画事業着手
32年度	新拡張計画に基づく事業認可(3,352 ha)
33年度	新下水道法公布。下水道課の設置
34年度	新札幌市下水道条例公布、下水道使用量徴収開始
35年度	主要事業10年計画の実施(昭和44年度まで)、下水道事業費42億5,600万円
36年度	下水道特別会計設置、下水道部の設置(施設部下水道課→建設局下水道部) 真駒内処理場運転開始(北海道による)
39年度	創成川処理場及び創成川第2中継ポンプ場の建設に着手
40年度	建設6年計画の実施(昭和45年度まで)、下水道事業費120億4,700万円 野津幌川処理場及び創成川第1中継ポンプ場の建設に着手
41年度	伏古川処理場の建設に着手 創成川第1、第2中継ポンプ場運転開始 野津幌川処理場運転開始(処理能力 3,000 m ³ /日) 真駒内団地の下水道施設を道から引き継ぐ
42年度	建設5年計画の実施(昭和46年度まで)、下水道事業費220億300万円 創成川処理場運転開始(処理能力 54,000 m ³ /日)(4月)、汚泥処理開始(10月) 創成川第3中継ポンプ場の建設に着手
43年度	新都市計画法公布 伏古川処理場運転開始(処理能力 15,250 m ³ /日)(4月)、汚泥処理開始(6月) 創成川第3中継ポンプ場運転開始。豊平川、定山溪処理場の建設に着手
44年度	下水道管理事務所の設置 新川処理場及び定山溪中継ポンプ場の建設に着手 伏古川処理場(2系列目)運転開始(処理能力 30,500 m ³ /日)
45年度	豊平川処理場運転開始(処理能力 32,000 m ³ /日)(10月) 定山溪処理場運転開始(処理能力 3,300 m ³ /日)(10月) 豊平川及び藻岩下中継ポンプ場の建設に着手
46年度	札幌市長期総合計画第1次計画(下水道整備5年計画)の策定 下水道建設事業費479億8,800万円 定山溪中継ポンプ場運転開始 豊平川処理場汚泥処理運転開始 真駒内処理場廃止(豊平川処理場に統合) 伏古川処理場増設(3系列目)運転開始(処理能力 45,750 m ³ /日) 創成川処理場増設(3系列目)運転開始(処理能力 81,000 m ³ /日) 厚別処理場及び手稲中継ポンプ場の建設に着手 新川処理場簡易処理運転開始(処理能力 96,000 m ³ /日)(9月)
47年度	政令指定都市に移行 豊平川処理場増設(2系列目)運転開始(処理能力 64,000 m ³ /日) 藻岩下第1中継ポンプ場、豊平川中継ポンプ場運転開始 茨戸第1、第2中継ポンプ場の建設に着手

昭和48年度	<p>下水道局の設置（建設局下水道部→下水道局）</p> <p>下水道管理事務所係制に昇格（管理課下水道管理事務所）</p> <p>創成川処理場最終沈殿池増設</p> <p>新川処理場高級処理開始（処理能力 128,000 m³/日）</p> <p>新川処理場汚泥処理開始</p> <p>厚別処理場運転開始（処理能力 38,700 m³/日）（10月）</p>
49年度	<p>茨戸処理場及び手稲処理場の建設に着手</p> <p>伏古川処理場増設（4系列目）運転開始（処理能力 61,000 m³/日）</p> <p>手稲中継ポンプ場運転開始</p> <p>下水道管理事務所課に昇格（2係制へ東部事業係・西部事業係）</p>
50年度	<p>茨戸第1中継ポンプ場運転開始</p> <p>豊平川処理場・新川処理場汚泥処理民間委託</p> <p>厚別処理場汚泥処理開始（7月）</p>
51年度	<p>野津幌川処理場運転休止（厚別処理場に統合）</p> <p>札幌市長期総合計画第2次計画（下水道整備5年計画）の策定</p> <p>下水道建設事業費1,700億円</p> <p>豊平川処理場増設（3系列目）運転開始（処理能力 96,000 m³/日）</p> <p>豊平川処理場第2処理施設の建設に着手</p> <p>下水道条例の一部改正（接続負担金制度創設）</p> <p>茨戸第2中継ポンプ場運転開始、藻岩下第2中継ポンプ場の建設に着手</p> <p>茨戸第1、茨戸第2ポンプ場をそれぞれ茨戸西部、茨戸中部ポンプ場と名称変更</p> <p>下水道法の一部改正（特定事業場に対する排水制限等）</p>
52年度	<p>施設部の設置。札幌市石狩町茨戸下水処理場管理組合の設置</p> <p>下水道条例の一部改正（特定事業場の下水排除制限）</p> <p>茨戸処理場運転開始（処理能力 50,000 m³/日）、汚泥処理開始（8月）</p> <p>東部下水道管理事務所新設</p>
53年度	<p>手稲処理場運転開始（処理能力 44,000 m³/日）（6月）</p> <p>野津幌川処理場廃止、野津幌川処理区の厚別処理区への統合</p> <p>創成川処理場第2処理施設の建設に着手</p> <p>豊平川処理場雨水ポンプ施設運転開始、豊平川処理場特別高圧(66,000 V)受電開始</p> <p>茨戸中部中継ポンプ場茨戸処理場へ送水開始</p> <p>藻岩下第2中継ポンプ場運転開始（4月）</p> <p>手稲処理場汚泥処理開始（2月）</p>
54年度	<p>新川処理場第2処理施設の建設に着手</p> <p>西部下水管理事務所開所</p> <p>厚別処理場増設（2系列目）運転開始（処理能力 77,400m³/日）（10月）</p> <p>定山溪処理場増設（2系列目）運転開始（処理能力 6,600m³/日）</p> <p>茨戸処理場汚泥処理民間委託(10月)</p>
55年度	<p>第3次下水道整備5年計画の策定建設事業費1,991億円</p> <p>厚別処理場内に沈砂洗浄施設運転開始(8月)</p> <p>厚別処理場汚泥処理及び沈砂洗浄処理を民間委託(8月)</p> <p>豊平川処理場第2処理施設（1系列目）運転開始（処理能力 30,000 m³/日）</p> <p>月寒川雨水ポンプ場の建設に着手</p>
56年度	<p>拓北処理場、手稲下水汚泥焼却センター、藤野中継ポンプ場の建設に着手</p> <p>創成川処理場第2処理施設運転開始（処理能力 63,000 m³/日）</p> <p>新川処理場第2処理施設（1系列目、2系列目）運転開始（処理能力 77,000 m³/日）</p> <p>創成川処理場、新川処理場特別高圧(66,000 V)受電開始</p> <p>茨戸処理場第2期増設（処理能力 75,000 m³/日）</p> <p>月寒川雨水ポンプ場運転開始</p>

昭和57年度	<p>地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用（4月）</p> <p>厚別下水汚泥コンポスト工場の建設に着手</p> <p>茨戸東部中継ポンプ場運転開始</p> <p>東部下水管理事務所開所（5月、東部下水管理事務所を南部下水管理事務所と改称）</p> <p>厚別処理場増設（3系列目）運転開始（処理能力 116,100 m³/日）（2月）</p> <p>豊平川処理場第2処理施設（2系列目）運転開始（処理能力 60,000 m³/日）（2月）</p> <p>手稲処理場（2系列目）運転開始（処理能力 88,000 m³/日）（3月）</p>
58年度	<p>米里中継ポンプ場の建設に着手</p> <p>藤野中継ポンプ場運転開始</p> <p>財団法人札幌市下水道資源公社設立（4月）</p> <p>手稲下水汚泥焼却センター運転開始（焼却能力 100 t/日）</p> <p>処理次長・水質管理課の設置（6月）</p>
59年度	<p>第4次下水道整備5年計画の策定建設事業費1,310億円</p> <p>豊平川処理場第2処理施設増設（3系列目）運転開始（処理能力 90,000 m³/日）</p> <p>手稲処理場増設（3系列目）運転開始（処理能力 132,000 m³/日）</p> <p>北部下水管理事務所開所（6月）</p> <p>厚別下水汚泥コンポスト工場運転開始（処理能力 50 t/日）（7月）</p> <p>拓北処理場運転開始（処理能力 4,000 m³/日）（9月）</p>
60年度	<p>茨戸処理場増設（4系列目）運転開始（処理能力 100,000 m³/日）</p> <p>手稲下水汚泥焼却センター2号炉運転開始（処理能力 200 t/日）</p> <p>米里中継ポンプ場運転開始</p> <p>手稲処理区における石狩町、札幌市下水処理事務委託の締結（10月）</p> <p>新川処理場焼却炉増設（3炉目）運転開始（焼却能力 127.5 t/日）</p>
61年度	<p>野津幌川雨水ポンプ場の建設に着手</p> <p>定山溪処理場増設（3系列目）運転開始（処理能力 10,000 m³/日）</p>
62年度	<p>屯田地区第1、第2ポンプ場廃止</p> <p>川北ポンプ場建設に着手</p> <p>簾舞ポンプ場運転開始</p> <p>伏古川雨水ポンプ場運転開始</p> <p>コンポスト工場増設（3系列目）運転開始（処理能力 75 t/日）</p> <p>創成川処理場汚泥脱水方式を真空方式から加圧方式に変更</p> <p>創成川処理場汚泥処理民間委託（4月）</p>
63年度	<p>創成川第1中継ポンプ場廃止</p> <p>伏古川処理場最初沈殿池増設（雨天時処理能力 280,000 m³/日）</p> <p>豊平川処理場分離液単独処理施設運転開始（4月）</p> <p>豊平川処理場焼却炉増設（3炉目）運転開始（処理能力 90.0 t/日）（7月）</p> <p>茨戸処理場の雨水滞水池の建設に着手</p>
平成元年度	<p>野津幌川雨水ポンプ場運転開始（4月）</p> <p>川北中継ポンプ場運転開始（10月）</p> <p>もみじ台ポンプ場施設運転開始（10月）</p> <p>創成川処理場高度処理施設の建設に着手</p> <p>安春川流雪溝供用開始（1月）</p> <p>創成川処理場雨水ポンプ場施設運転開始（3月）</p> <p>手稲処理場汚泥処理施設増設（3系列目）運転開始（処理能力 62.3 t/日）</p>
2年度	<p>厚別川雨水ポンプ場の建設に着手</p> <p>厚別処理場の汚水調整池（大規模融雪槽）の建設に着手</p> <p>厚別コンポスト工場造粒施設運転開始（1月）</p> <p>厚別処理場増設（4系列目）運転開始（処理能力 154,800 m³/日）（3月）</p>

平成3年度	<p>茨戸処理場雨水滯水池運転開始(19,600 m³/日) (4月)</p> <p>創成川処理場高度処理施設(砂ろ過)運転開始(処理能力 48,000 m³/日)(11月)</p> <p>新琴似流雪溝供用開始(12月)</p>
4年度	<p>手稲沈砂洗浄センター運転開始(4月)</p> <p>安春川せせらぎ用水送水開始(5月)</p> <p>藻岩下第1中継ポンプ場廃止(9月)</p> <p>厚別処理場汚水調整池(大規模融雪槽)運転開始(1月)</p> <p>拓北処理場最初、最終沈殿池増設(処理能力 8,000 m³/日)</p> <p>創成川第2ポンプ場、無人化</p>
5年度	<p>厚別川雨水ポンプ場運転開始(4月)</p> <p>創成川処理場高度処理施設増設(処理能力 72,000 m³/日) (11月)</p> <p>手稲下水汚泥焼却センター3号炉運転開始(処理能力 300 t/日) (3月)</p>
6年度	<p>茨戸処理場の汚泥を手稲下水汚泥焼却センターへ搬入開始(4月)</p> <p>茨戸処理場池槽増設(処理能力 125,000 m³/日) (4月)</p> <p>手稲沈砂洗浄センター2系列目増設運転開始(4月)</p> <p>発寒流雪溝供用開始(12月)</p> <p>手稲処理場増設(4系列目) 運転開始(処理能力 176,000 m³/日) (3月)</p>
7年度	<p>厚別処理場汚泥処理施設増設(4系列目) 運転開始(処理能力 42.0 t/日)</p> <p>豊平川中継ポンプ場無人化(4月)</p> <p>新川処理場第2処理施設処理能力認可変更(処理能力 110,000 m³/日) (3月)</p> <p>手稲下水汚泥焼却センター4号炉運転開始(処理能力 400 t/日) (3月)</p> <p>伏古川処理場真空汚泥脱水機運転終了(3月)</p> <p>伏古川処理場汚泥を創成川処理場へ圧送開始(3月)</p>
8年度	<p>手稲下水汚泥焼却センターを西部スラッジセンターに名称変更(4月)</p> <p>創成川融雪管(雨水貯留管) 供用開始(1月)</p> <p>拓北処理場増設(2系列目) 運転開始(処理能力 16,000 m³/日) (3月)</p> <p>定山溪処理場増設(4系列目) 運転開始(処理能力 14,000 m³/日) (3月)</p> <p>大通下水道管投雪施設供用開始(3月)</p>
9年度	<p>下水道科学館オープン(5月)</p> <p>創成川処理場高度処理施設増設(処理能力 120,000 m³/日) (10月)</p> <p>創成東流雪溝供用開始(12月)</p>
10年度	<p>屯田地区小河川(屯田川、東屯田川、茨戸耕北川)へのせせらぎ用水送水開始(5月)</p> <p>下水道局庁舎完成移転(11月)</p> <p>茨戸中部中継ポンプ場電気室増設(3月)</p>
11年度	<p>手稲中継ポンプ場高段施設運転開始(4月)</p> <p>発寒下水道管投雪施設供用開始(1月)</p> <p>茨戸西部中継ポンプ場電気室増設(3月)</p> <p>西部スラッジセンター脱水施設運転開始(処理能力 3,600 m³/日) (3月)</p> <p>拓北処理場汚泥を創成川処理場へ圧送開始(3月)</p> <p>手稲処理場汚泥の一部を西部スラッジセンターへ圧送開始(3月)</p> <p>新川処理場汚泥の一部を西部スラッジセンターへ圧送開始(3月)</p> <p>新川処理場汚泥処理施設休止(3月)</p>
12年度	<p>4下水管理事務所を2下水管理センター体制に改編(4月)</p> <p>新川処理場汚泥の全量を西部スラッジセンターへ圧送開始(4月)</p> <p>伏古川処理場汚泥を新川処理場へ圧送開始(7月)</p> <p>西部スラッジセンター焼却施設5号炉運転開始(処理能力 550 t/日) (8月)</p> <p>創成川第3中継ポンプ場休止(11月)</p> <p>西部スラッジセンター焼却施設1～4号炉電気集塵機設備増設(3月)</p>

平成13年度	豊平川処理場特別高圧受電施設更新（屋外型に更新）（11月受電開始） 豊平川処理場第2処理施設電気室増設着手（3月）
14年度	8処理場を3水処理センターに組織改編（5月） 琴似流雪溝供用開始（1月） 八軒下水道管投雪施設供用開始（2月） 伏古川処理場No.1反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造。高度処理能力 12,250 m ³ /日） 札幌市石狩市茨戸下水処理場管理組合の解散（3月）
15年度	茨戸処理場の運転管理を札幌市が継承（石狩市の下水は事務委託により処理継続）（4月） 茨戸中部中継ポンプ場の無人化（4月） 伏古川融雪管（雨水貯留管）供用開始（4月） 北郷流雪溝供用開始（1月） 手稲処理場汚泥処理施設休止（1月） 手稲処理場汚泥の全量を西部スラッジセンターへ圧送開始（1月） 新川融雪槽供用開始（2月） 西部スラッジセンター定山溪脱水施設運転開始（3月） 西部スラッジセンター脱水施設No.4脱水機増設（3月） 伏古川処理場No.2反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造。高度処理能力 24,500 m ³ /日）
16年度	茨戸西部中継ポンプ場の無人化（4月） 創成川処理場汚泥脱水施設を休止し、新川処理場へ汚泥圧送開始（3月） 月寒公園地域密着型雪処理施設供用開始（3月） 伏古川処理場No.3反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造。高度処理能力 36,750 m ³ /日）
17年度	下水道局と建設局を統合し、建設局へ（下水道局施設部→建設局下水道施設部）（4月） 東部処理場供用開始（ステップ流入式硝化脱窒法、処理能力 40,000 m ³ /日）（4月） 拓北処理場、東部処理場の運転管理業務を民間に委託（4月） 茨戸処理場を創成川水処理センターに統合（4月） 茨戸西部中継ポンプ場雨水ポンプ施設運転開始（9月） 創成川第2中継ポンプ場休止（12月） 創成川融雪管第2投雪施設供用開始（1月） 伏古公園北地域密着型雪処理施設供用開始（2月） 伏古川処理場No.4反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造。 平成17年度で反応タンク全4池の改造終了。高度処理能力 49,000 m ³ /日）
18年度	手稲処理場増設（5系列目）運転開始（処理能力 220,000 m ³ /日）（4月） 手稲前田第2埋立施設 第6池 しゅん工（11月）
19年度	処理場を水再生プラザへ名称変更（4月） 豊平川、厚別（一部）、東部水再生プラザ汚泥を東部スラッジセンターへ圧送開始（9月） 東部スラッジセンター脱水施設供用開始（処理能力 3,600 m ³ /日）（9月） 東部スラッジセンター焼却施設供用開始（処理能力 150 t/日）（9月） 豊平川水再生プラザ汚泥処理施設（脱水・焼却施設）休止（9月） 琴似流雪溝圧送管からの引込配管を利用した西区民・保健センター暖房利用事業供用開始（12月） アクセスサッポロ地域密着型雪処理施設供用開始（1月） 処理施設課水質管理係試験室移転（創成川水再生プラザ旧汚泥脱水施設を改築）（2月）
20年度	茨戸西部中継ポンプ場送水全量を手稲水再生プラザへ切替開始（4月）
21年度	定山溪水再生プラザの運転管理業務を民間に委託（4月） 東部スラッジセンター焼却施設2号炉運転開始（処理能力 300 t/日）（9月） 豊平川雨水貯留施設の建設に着手（3月）

平成22年度	手稲中継ポンプ場の無人化（4月） 茨戸東部中継ポンプ場の無人化（4月） 厚別洗浄センター運転開始（4月） 新琴似北流雪溝供用開始（12月） 西部スラッジセンター脱水施設 No. 5～8濃縮槽増設（3月）
23年度	茨戸水再生プラザ汚泥脱水施設を休止し、西部スラッジセンターへ汚泥圧送開始（3月） 西部スラッジセンター脱水施設 No. 5・6脱水機増設（3月）
24年度	東部スラッジセンター焼却排水熱交換設備運転開始（4月） 厚別水再生プラザ汚泥脱水施設を休止し、東部スラッジセンターへ汚泥全量圧送開始（3月） 厚別コンポスト工場運転休止（3月） 新川水再生プラザ第2処理施設雨天時活性汚泥法工事しゅん工（3月）
25年度	厚別水再生プラザの運転管理業務を民間に委託（4月） 東雁来雨水ポンプ場の建設に着手（6月）
26年度	東部下水管理センター庁舎建替え（2月） 西部スラッジセンター焼却施設蒸気発電設備運転開始（3月）
27年度	豊平川雨水貯留施設供用開始（4月） 手稲水再生プラザ小水力発電設備運転開始（3月）
28年度	下水道河川局の設置（建設局→下水道河川局）（4月） 豊平川水再生プラザ汚泥前処理施設供用開始（3月）
29年度	下水道科学館リニューアルオープン（3月）
30年度	厚別・定山溪・東部水再生プラザの総括管理業務を下水道資源公社へ委託（4月） 拓北水再生プラザの汚泥圧送先を茨戸水再生プラザへ変更（4月） 東雁来雨水ポンプ場運転開始（5月） 茨戸水再生プラザNo. 5反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造）
令和元年度	伏古川水再生プラザの運転管理業務を民間に委託（4月） 茨戸水再生プラザNo. 4反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造）
2年度	茨戸水再生プラザNo. 3反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造）
3年度	拓北水再生プラザと伏古川水再生プラザの総括管理業務を下水道資源公社へ委託（4月） 西部スラッジセンター焼却施設1号炉更新（処理能力550t/日）（9月） 創成川第2、第3中継ポンプ場廃止（2月） 新川融雪槽の能力増強（2月） 茨戸水再生プラザNo. 2反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造）
4年度	茨戸水再生プラザNo. 1反応タンク改造（3月） （標準活性汚泥法からステップ流入式硝化脱窒法に改造） 西部スラッジセンター定山溪脱水施設更新（3月）

3 施設所在地

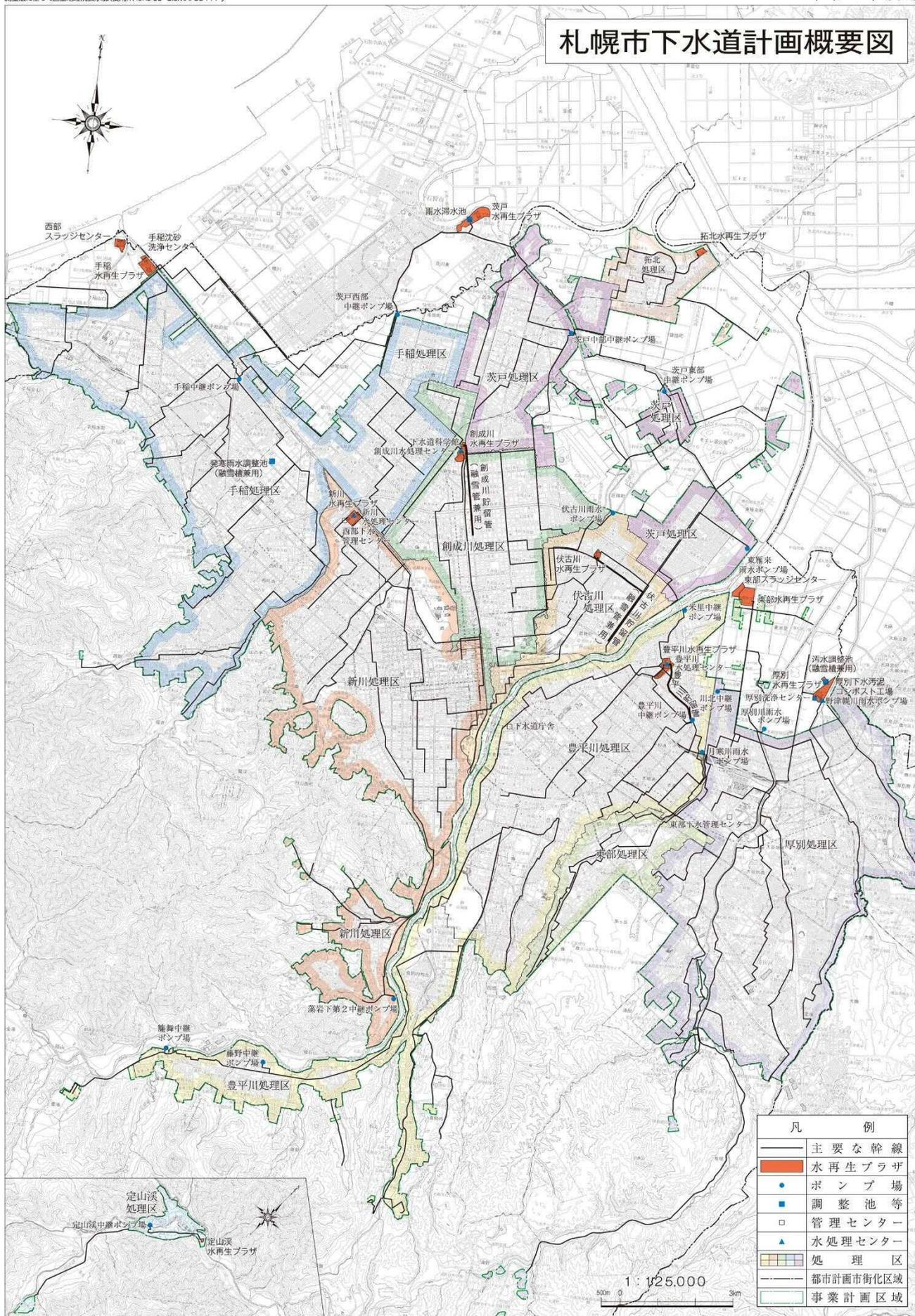
名称	所在地	電話	FAX	
下水道計画課	062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2番1号[下水道河川局庁舎内]	818-3441	812-5203	
施設管理課	062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2番1号[下水道河川局庁舎内]	818-3421	812-5216	
排水指導課	062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2番1号[下水道河川局庁舎内]	818-3422	818-3457	
管路保全課	062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2番1号[下水道河川局庁舎内]	818-3451	812-5216	
東部下水管理センター	003-0027 札幌市白石区本通20丁目北2番11号	865-7121	865-7124	
西部下水管理センター	063-0849 札幌市西区八軒9条西7丁目1番30号	641-8671	611-7721	
処理施設課	062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2番1号[下水道河川局庁舎内]	818-3431	812-5237	
処理施設課水質管理係	001-0045 札幌市北区麻生町8丁目1番15号	717-5829	717-5831	
施設保全課	062-8570 札幌市豊平区豊平6条3丁目2番1号[下水道河川局庁舎内]	818-3443	812-5237	
水 再 生 プ ラ ザ	創成川	001-0045 札幌市北区麻生町8丁目1番15号	736-6371	736-0750
	拓北	002-8074 札幌市北区あいの里4条10丁目1番1号	778-9793	778-9404
	伏古川	007-0868 札幌市東区伏古8条1丁目2番35号	781-2331	781-9861
	茨戸	061-3248 石狩市花川東1000番地	0133-74-4395	0133-74-4769
	豊平川	003-0828 札幌市白石区菊水元町8条3丁目5番1号	871-5121	871-4853
	厚別	004-0069 札幌市厚別区厚別町山本645番地18	891-4360	891-1979
	定山溪	061-2302 札幌市南区定山溪温泉東1丁目50番地	598-2820	598-2566
	東部	003-0876 札幌市白石区東米里2172番地1	874-2531	874-2538
	新川	063-0849 札幌市西区八軒9条西7丁目1番65号	611-5305	611-5360
	手稲	006-0860 札幌市手稲区手稲山口265番地8	683-1561	683-1290
ポ ン プ 場	茨戸中部	札幌市北区篠路4条10丁目12番15号	772-0470	-
	茨戸東部	札幌市東区北丘珠6条4丁目1番1号	791-0426	791-6385
	東雁来雨水	札幌市東区東雁来12条4丁目1番1号	-	-
	伏古川雨水	札幌市東区北37条東27丁目8番15号	786-2449	-
	豊平川	札幌市白石区北郷5条7丁目2番25号	-	-
	米里	札幌市白石区米里2条1丁目1番1号	-	-
	月寒川雨水	札幌市白石区北郷1条10丁目5番20号	-	-
	野津幌川雨水	札幌市厚別区厚別町山本645番地18	-	-
	川北	札幌市白石区川北4条1丁目1番1号	-	-
	厚別川雨水	札幌市厚別区厚別西770番地	-	-
場	定山溪	札幌市南区定山溪温泉西3丁目393番地	-	-
	藤野	札幌市南区藤野1条5丁目1番33号	-	-
	簾舞	札幌市南区簾舞575番地122	-	-
	藻岩下第2	札幌市南区川沿11条1丁目1828番地	-	-
	手稲	札幌市手稲区新発寒7条11丁目1番1号	682-6528	685-0886
	茨戸西部	札幌市北区屯田9条12丁目6番15号	772-0393	-
西部スラッジセンター	006-0860 札幌市手稲区手稲山口322番地	694-6291	694-6565	
東部スラッジセンター	003-0876 札幌市白石区東米里776番地18	879-2500	871-3833	
厚別コンポスト工場	004-0069 札幌市厚別区厚別町山本645番地20	-	-	
手稲沈砂洗浄センター	006-0860 札幌市手稲区手稲山口271番地5	684-9057	684-1933	
厚別洗浄センター	004-0069 札幌市厚別区厚別町山本711番地	375-0663	375-0664	

※札幌市内の局番は(011)

4 下水道計画概要図

令和5年度版

測量法に基づく国土院院承取(使用)R4.JHs 53-GISMAP55444号



5 施設及び設備の概要

(1) 水再生プラザ等施設能力の現状と計画

令和5年3月31日現在

区分 施設名	処 理 面 積 (ha)						総 人 口 (千人)	処 理 人 口 (千人)	水 洗 化 人 口 (千人)
	計 画			現 在					
	合 流	分 流	全 体	合 流	分 流	全 体			
創成川	2,069	-	(汚)2,069 (雨)2,069	2,067	-	(汚)2,067 (雨)2,067	246.4	246.3 (100.0%)	246.3 (100.0%)
拓北	-	(汚)470 (雨)451	(汚)470 (雨)451	-	(汚)455 (雨)438	(汚)455 (雨)438	20.0	20.0 (100.0%)	20.0 (100.0%)
伏古川	1,117	-	(汚)1,117 (雨)1,117	1,108	-	(汚)1,108 (雨)1,108	89.2	89.2 (100.0%)	89.2 (100.0%)
茨戸	2,017	(汚)134 -	(汚)2,151 (雨)2,017	1,981	(汚)115 -	(汚)2,096 (雨)1,981	131.8	131.2 (99.5%)	130.9 (99.8%)
豊平川	2,778	(汚)2,122 (雨)2,088	(汚)4,900 (雨)4,866	2,773	(汚)2,060 (雨)2,022	(汚)4,833 (雨)4,795	427.6	426.7 (99.8%)	426.4 (99.9%)
厚別	-	(汚)4,653 (雨)4,612	(汚)4,653 (雨)4,612	-	(汚)4,480 (雨)4,419	(汚)4,480 (雨)4,419	282.9	282.1 (99.7%)	282.0 (100.0%)
定山溪	-	(汚)132 (雨)117	(汚)132 (雨)117	-	(汚)96 (雨)56	(汚)96 (雨)56	1.1	1.1 (100.0%)	1.1 (100.0%)
東部	-	(汚)779 (雨)751	(汚)779 (雨)751	-	(汚)703 (雨)686	(汚)703 (雨)686	56.0	55.9 (99.8%)	55.8 (99.8%)
新川	2,911	(汚)879 (雨)860	(汚)3,790 (雨)3,771	2,905	(汚)831 (雨)808	(汚)3,736 (雨)3,713	350.6	349.9 (99.8%)	349.7 (99.9%)
手稲	4,800	(汚)589 (雨)585	(汚)5,389 (雨)5,385	4,659	(汚)585 (雨)581	(汚)5,244 (雨)5,240	367.4	367.0 (99.9%)	366.8 (99.9%)
西部 スラッジ センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東部 スラッジ センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	15,692 [62%]	(汚)9,758 (雨)9,464 [38%]	(汚)25,450 (雨)25,156 [100%]	15,493 [62%]	(汚)9,325 (雨)9,010 [38%]	(汚)24,818 (雨)24,503 [100%]	1,973.0	1,969.4 (99.8%)	1,968.2 (99.9%)

- 注：1 茨戸水再生プラザは、札幌市分のみ。
2 計画は現状の東部処理区切替部分のみ反映
3 「処理人口」欄の()は、総人口普及率。 処理人口／総人口
4 「水洗化人口」欄の()は、水洗化率。 水洗化人口／処理人口
5 「合計」欄の[]は、汚水ベースの分合流比

令和5年3月31日現在

施設名	処理能力 (千m ³ /日)		排除方式	処理方式	脱水能力 (m ³ /時)				焼却能力 (t/日)	脱方水式	放流先 環境基準 類型	敷地面積 (m ²)	運 転 開 始 年 月
	計画	現在			計画	現在	計画	現在					
創成川	144.0	144.0	合流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				創成川	70,854 (14,815)	第1: 昭和42年4月 第2: 昭和56年4月 平成3年11月		
[高度処理]	[144.0]	[120.0]		急速砂ろ過法								B	
拓北	16.0	16.0	分流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				石狩川	32,122	昭和59年9月		
									B				
伏古川	49.0	49.0	合流	ステップ 流入式硝化 脱窒法	発生汚泥を圧送				伏籠川	30,682	昭和43年4月 平成15年3月		
[高度処理]	[49.0]	[49.0]							-				
茨戸 (札幌+石狩)	85.2 (95.0)	85.2 (95.0)	合流	ステップ 流入式硝化 脱窒法	発生汚泥を圧送				茨戸川	169,952	昭和52年8月 令和5年4月		
[高度処理] (札幌+石狩)	[85.2] (95.0)	[85.2] (95.0)		(一部 分流)					B				
豊平川	186.0	186.0	合流 (一部 分流)	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				望月寒川	93,873 (6,810)	第1: 昭和45年10月 第2: 昭和55年9月		
								B					
厚別	154.8	154.8	分流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				野津幌川	92,479 (汚水調整 池を含む)	昭和48年10月		
								B					
定山溪	14.0	14.0	分流	標準 活性汚泥法	濃縮汚泥を搬出				豊平川	13,181	昭和45年10月		
									A				
東部	40.0	40.0	分流	ステップ 流入式硝化 脱窒法	発生汚泥を圧送				豊平川	158,711	平成17年4月		
[高度処理]	[40.0]	[40.0]							B				
新川	238.0	238.0	合流 (一部 分流)	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				琴似川	100,289	第1: 昭和46年9月 第2: 昭和56年4月		
								D					
手稲	220.0	220.0	合流 (一部 分流)	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				新川	103,272	昭和53年6月		
									D				
西部 スラッジ センター	-	-	-	-	300.0	300.0	550.0	550.0	遠心 脱水 圧入式 スクリュ プレス	-	86,913	脱水: 平成12年3月 (定山溪:平成16年3月) 焼却: 昭和58年4月	
				定山溪脱水	4.80	2.56							
東部 スラッジ センター	-	-	-	-	150.0	150.0	300.0	300.0	遠心 脱水	-	40,196	脱水: 平成19年9月 焼却: 平成19年9月	
合計	1,147.0 (1,156.8)	1,147.0 (1,156.8)	-	-	454.8	452.6	850.0	850.0	-	-	992,524	-	

- 注: 1 創成川水再生プラザの高度処理施設は、重力式上向流固定床方式による急速砂ろ過法であり、処理能力の内数である。
2 脱水能力は、給泥量表示である。
3 焼却能力は、脱水ケーキ量表示である。
4 敷地面積は、地積測量図の地積。()内数値は占用部分で内数
5 茨戸水再生プラザの処理能力は札幌市分のみである。なお()内数値は施設全体能力で、石狩市の認可分を含む。

(2) 水再生プラザ設備の現況

沈砂池設備

令和5年3月31日現在

区分 施設名	沈 池										
	用途	池数	容量 (m ³ /池)	型式	除 塵 設 備					除 砂 設 備	
					方 式	台数	付 属 設 備	方 式	台数	付 属 設 備	
創 成 川	第 2	汚水	1 2	137 76	矩形平行流 曝気式	細目スクリーン	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	6	バケットコンベヤ トラフコンベヤ バケットエレベータ
		雨水	2	137	矩形 平行流	細目 "	2		"	4	バケットエレベータ
	雨 P 融 雪 管	雨水	3	269	"	細目 "	3	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	"	6	バケットコンベヤ トラフコンベヤ
		融雪	1	-	-	細目 "	1	自動バースクリーン	混気ジェット ポンプ	1	空気混入式 ジェットポンプ
拓北	汚水	2	24.6	曝気式	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	揚砂ポンプ	2	スクリュウ式掻寄機 サンドポンプ スクリュウ式分離機 バケットエレベータ	
伏古川	汚水	低段 2	33	曝気式	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ ベルトコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	2		
	雨水	低段 2	51	矩形 平行流	細目 "	2		揚砂ポンプ	2	スクリュウ式分離機 トラフコンベヤ バケットエレベータ	
	汚水	高段 2	112	矩形 平行流	細目 "	2		"	2	バケットエレベータ	
	融雪	1	-	-	粗目 "	1	自動バースクリーン	混気ジェット ポンプ	1	空気混入式 ジェットポンプ	
茨戸	汚水	5	115.5	曝気式	細目 "	5	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	5	トラフコンベヤ バケットエレベータ	
	雨水	3	138	矩形 平行流	細目 "	3		"	3		
豊 平 川	第 1	汚水	高段2 低段1	135.7	曝気式 "	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	2	バケットコンベヤ トラフコンベヤ バケットエレベータ
		汚水	低低段 2	79.2	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ バケットエレベータ	"	4	バケットエレベータ
	第 2	雨水	高段4 低段2	133.9	" "	粗目 " 細目 "	4 8		"	4	ベルトコンベヤ グリッドコレクタ
		汚水	2	85.2	"	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ バケットエレベータ	"	4	トラフコンベヤ バケットエレベータ
厚別	雨水	3	108.7	"	細目 "	3		混気ジェット ポンプ	3		
厚別	汚水	4	132	曝気式	細目 "	4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ Vバケットコンベヤ スクリュウコンベヤ	機械掻揚	4	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ スクリュウコンベヤ	
定山溪	汚水	2	8.7	矩形 平行流	粗目 " 細目 "	2 2	(粗目スクリーン人力掻揚) 自動バースクリーン 流水トラフ	"	2	ベルトコンベヤ 沈砂搬出機 スキップエレベータ 流水トラフ	
東部	汚水	2	64.2	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ Vバケットエレベータ	"	2	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ Vバケットエレベータ	
新 川	第 1	汚水	4	151.2	曝気式	粗目 " 細目 "	4 4	自動バースクリーン	"	4	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ
		雨水	2	105.6	矩形 平行流	粗目 " 細目 "	4 4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	混気ジェット ポンプ	2	ベルトコンベヤ グリッドコレクタ
	第 2	汚水	3	232	曝気式 旋回式	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	3	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ
		汚水	3	94	矩形 平行流	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	"	3	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ
手稲	雨水	2	400	矩形 平行流	細目 "	2		混気ジェット ポンプ	2		

池槽施設

令和5年3月31日現在

区分	施設名	数量 (池、槽)	容量 (m ³ /池、槽)	水面積 (m ² /池)	有効深 (m)	せき長 (m/池)	構造・形式	備考	
汚水調整池	厚別	4	4,000	—	6.5	—		冬期間は2池を融雪槽として使用	
	東部	1	2,460	—	2.0	—			
雨水滞水池	茨戸	6	3,267	544	6.0	141	平行流式長方形		
予備エアレーションタンク	茨戸	1	656	—	4.0	—	スパーージャ方式	従来の4池は汚泥圧送設備に変更	
	厚別	1	1,722	—	4.5	—	ディスクディフューザ方式	従来の1池は汚泥圧送設備に変更	
最	創成川	第1	3	1,050	420	2.5	58	平行流式長方形	
		第2	2	3,350	957	3.5	194	〃	
初	拓北		2	622	194	3.2	72	〃	
			4	763	332	2.2	65	放射流式正方形	
	伏古川	2	1,404	360	3.9	115	平行流式長方形		
沈	茨戸		5	2,398	624	3.7	136	〃	
			6	1,008	422	2.4	95	〃	
	豊平川	第1	2	2,849	730	3.9	278	〃	
殿	豊平川	第2	3	2,356	620	3.8	208	〃	
		厚別	12	761	324	2.5	66	放射流式正方形	
	定山溪	—	—	—	—	—	—		
池	東部	2	1,500	500	3.0	83	平行流式長方形		
	新川	第1	4	2,000	800	2.5	182	平行流式長方形	
		第2	3	2,253	593	3.8	172	〃	
	手稲	10	1,800	450	4.0	206	〃		
反	創成川	第1	3	6,768	—	4.7	—	微細気泡方式	
		第2	2	7,610	—	6.0	—	散気板方式	
応	拓北	2	2,740	—	6.0	—	〃		
	伏古川	4	4,560	—	4.0	—	微細気泡方式		
	茨戸		1	6,739	—	5.2	—	散気板方式	
		4	6,290	—	5.2	—	微細気泡方式	2系はR4.3月に更新	
タ	豊平川	第1	3	10,200	—	4.5	—	〃	
		第2	3	7,678	—	6.0	—	微細気泡方式	
ン	厚別	4	9,084	—	4.0	—	散気板、微細気泡方式		
	定山溪		3	726	—	4.0	—	散気筒方式	
			1	870	—	4.0	—	散気板方式	
ク	東部	2	9,000	—	5.8	—	微細気泡方式		
	新川	第1	4	9,900	—	4.5	—	微細気泡方式	
		第2	2	14,900	—	5.0	—	微細気泡方式	
	手稲		3	13,188	—	5.5	—	微細気泡方式	
		2	13,104	—	5.2	—	微細気泡方式		

区分	施設名		数量 (池、槽)	容量 (m ³ /池、槽)	水面積 (m ² /池)	有効深 (m)	せき長 (m/池)	構造・形式	備考
最 終 沈 殿 池	創成川	第1	3	2,245	774	2.9	168	平行流式長方形	
			2	1,685	581	2.9	126	〃	
		第2	2	3,450	1,160	3.0	240	〃	
		拓北	2	1,166	388	3.0	80	〃	
		伏古川	4	1,600	483	3.3	132	〃	
		茨戸	5	3,318	1,037	3.2	216	〃	
	豊平川	第1	6	1,675	578	2.9	196	〃	
		第2	3	3,200	1,000	3.2	304	〃	
		厚別	8	2,002	626	3.2	164	〃	
	定山溪		6	297	106	2.8	34	〃	
			2	362	129	2.8	36	〃	
		東部	2	4,680	1,340	3.5	219	〃	
新川	第1	8	1,710	570	3.0	108	〃		
		4	2,838	860	3.3	264	〃		
	第2	10	3,105	900	3.45	222	〃		
ろ過池	創成川	高度処理	10	ろ過面積：50 m ² /池 ろ過速度：240 m ³ /m ² ・日			重力式上向流 固定床型	支持砂利：0.9 m厚(径4~50 mm) 下砂：0.5 m厚(径2.1 mm) 上砂：1.0 m厚(径1.2 mm)	
接 触 タ ン ク	創成川	第1	1	900	—	2.5	—		12%次亜塩素酸ナトリウムを使用
		第2	1	1,616	—	4.5	—		
		拓北	1	420	—	3.0	—		〃
	伏古川		1	795	—	3.0	—		〃
			1	730	—	4.0	—		〃
		茨戸	1	2,686	—	4.0	—		〃
	豊平川	第1	1	2,935	—	4.2	—		〃
		第2	1	1,700	—	5.0	—		〃
		厚別	1	1,896	—	4.2	—		〃
	定山溪		1	180	—	1.8	—		〃
			1	1,060	—	2.0	—		〃
	新川	第1	1	1,664	—	4.0	—		〃
			1	4,425	—	6.0	—		〃
		第2	1	5,391	—	3.3	—		〃
	手稲	1	2,179	—	4.0	—		〃	

貯留管施設

区分	施設名	貯留量 (m ³)	管径φ (mm)	延長 (m)	備考
雨水 貯留管	創成川	46,400	5,000	2,495	冬期間は融雪管として使用
	伏古川	32,000	4,200	2,210	〃
			3,000	690	
豊平川	24,000	4,250	1,900	浸水対策及び合流改善として使用	

汚水ポンプ・雨水ポンプ

令和5年3月31日現在

区分	施設名		型式	口径 (mm)	揚水量 (m ³ /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)	種類	備考	
汚水ポンプ	創成川 水再生 プラザ	第1	立軸斜流	800	73.0	16.7	280	2	M		
			第2	1次立軸斜流	400	21.0	10.0	55	2	M	
				〃	700	63.0	10.0	155	2	M	
				〃	800	87.0	10.0	210	2	M	
		2次立軸斜流		400	21.0	8.0	45	2	M		
		〃	700	63.0	7.5	115	1	M			
		〃	700	63.0	8.5	130	1	M			
		〃	800	87.0	8.6	180	2	M			
	拓北水再生プラザ		立軸渦巻斜流	250	6.4	19.0	37	3	M		
			〃	400	18.6	19.0	90	2	M		
	伏古川水再生プラザ		立軸渦巻	350	13.0	20.0	75	2	M		
			〃	600	48.0	20.0	250	2	M		
			脱着式水中ポンプ	300	11.0	10.5	30	3	M		
	茨戸水再生プラザ		立軸斜流	500	30.0	17.0	120	3	M		
			〃	900	100.0	17.0	400	4	M		
	豊平川 水再生 プラザ	第1	立軸渦巻斜流	400	22.5	8.1	45	3	M		
			〃	600	45.0	7.6	80	2	M		
			立軸斜流	800	75.0	9.0	180	2	M		
		第2	〃	800	80.0	14.0	270	3	M		
			立軸斜流	500	30.0	12.7	95	2	M		
〃			800	86.0	12.9	265	3	M			
厚別水再生プラザ		立軸斜流	450	25.0	13.0	85	4	M			
		〃	450	35.0	13.5	120	1	M			
		〃	800	87.0	12.6	250	3	M			
東部水再生プラザ		立軸斜流	500	35.0	22.0	190	2	M			
		〃	700	70.0	22.0	370	1	M			
新川 水再生 プラザ	第1	立軸斜流	600	44.5	12.0	125	3	M			
		〃	800	89.0	12.0	290	2	M			
	第2	立軸斜流	600	45.0	12.0	140	3	M			
		〃	1,000	130.0	12.0	370	2	M			
手稲水再生プラザ		立軸斜流	600	45.0	14.1	150	2	M			
		〃	1,000	130.0	13.8	420	1	M			
		〃	1,000	130.0	14.1	420	1	M			
		〃	1,350	250.0	13.8	810	2	M			
雨水ポンプ	創成川 水再生 プラザ	第2 雨水 ポンプ 施設	立軸斜流	1,800	420.0	12.5	1,800PS	3	D		
			立軸斜流	2,200	660.0	11.5	2,600PS	3	D		
	伏古川水再生プラザ		立軸斜流	500	35.0	6.0	50	2	M		
			横軸斜流	1,200	180.0	7.5	450PS	2	D		
	茨戸水再生プラザ		立軸斜流	1,000	140.0	10.9	370	2	M		
			〃	1,500	320.0	11.2	1,300PS	1	D		
			〃	1,800	420.0	14.0	2,100PS	1	D		
	豊平川 水再生 プラザ	第1	横軸斜流	1,500	330.0	3.8	400PS	3	D		
			第2	立軸斜流	700	69.0	9.0	150	2	M	
		〃		1,350	243.0	7.8	620PS	3	D		
	新川 水再生 プラザ	第1	立軸斜流	900	110.0	6.0	150	2	M		
			横軸斜流	1,350	260.0	7.0	600PS	3	D		
手稲水再生プラザ		立軸斜流	1,350	250.0	10.7	620	1	M			
		〃	2,600	930.0	8.7	2,600PS	2	D			

1 ポンプの種類は、Mが電動、Dがディーゼル

2 電動機の出力はkW、ディーゼルはPSで表示

返送汚泥ポンプ

令和5年3月31日現在

区分	施設名		型式	口径 (mm)	揚水量 (m^3 /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)	種類	備考
返送汚泥ポンプ	創成川 水再生プラザ	第1	吸込スクリー汚泥ポンプ	300	7.5	6.1	22	6	M	
		第2	吸込スクリー汚泥ポンプ	300	8.0	12.0	30	4	M	
	拓北水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	125	2.2	5.0	5.5	2	M	
			〃	250	3.1	4.0	5.5	2	M	
	伏古川水再生プラザ		吸込スクリー水中ポンプ	150	5.4	12.0	30	4	M	予備2台
	茨戸水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	300	18.0	8.3	55	4	M	
			〃	250	9.0	10.0	37	2	M	
	豊平川 水再生プラザ	第1	吸込スクリー汚泥ポンプ	250	8.0	10.0	30	6	M	
		第2	〃	250	10.6	12.0	37	6	M	
	厚別水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	250	13.4	6.5	37	4	M	
			〃	300	18.0	7.0	37	2	M	
	定山溪水再生プラザ		吸込スクリー水中ポンプ	100	1.2	2.6	1.5	6	M	予備2台
			〃	100	1.4	7.0	3.7	2	M	予備2台
	東部水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	300	14.3	8.3	37	2	M	
	新川 水再生プラザ	第1	吸込スクリー水中ポンプ	150	8.1	17.6	45	4	M	予備3台
吸込スクリー汚泥ポンプ			300	9.5	3.5	11	4	M	1、2系のみ更新	
第2	吸込スクリー汚泥ポンプ	300	12.9	9.1	37	4	M			
	吸込スクリー汚泥ポンプ	300	13.6	11.0	45	6	M			
手稲水再生プラザ		〃	250	13.6	11.0	45	2	M		
		〃	300	13.6	9.5	45	2	M		

その他ポンプ設備

令和5年3月31日現在

施設名	用途	型式	口径 (mm)	揚水量 (m^3 /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)	種類	備考	
創成川 水再生プラザ	高度処理	原水揚水	立軸斜流	500	34.0	13.0	120	4	M	
	雨水貯留管	雨水返送	立軸スクリー付渦巻斜流	500	30.0	22.0	150	3	M	
	新琴似流雪溝	送水	立軸渦巻	400	18.0	12.1	55	1	M	
	創成東流雪溝	送水	立軸渦巻	300	10.2	15.0	45	2	M	
	新琴似北流雪溝	送水	片吸込横軸渦巻	250	9.0	8.0	18.5	2	M	昼用
			〃	100	2.4	7.0	5.5	1	M	夜用
	安春川流雪溝	送水	立軸渦巻	400	15.0	12.2	45	2	M	
せせらぎ	送水	横軸渦巻	200	4.2	7.0	7.5	2	M		
伏古川 水再生プラザ	雨水貯留管	雨水返送	吸込スクリー 水中ポンプ	350	12.6	20.0	75	4	M	
豊平川 水再生プラザ	雨水貯留管	雨水返送	水中汚水ポンプ (フライホイール付)	350	13.0	25.0	110	3	M	
	北郷流雪溝	送水	横軸渦巻	300	18.0	48.0	210	1	M	昼用
〃			150	2.4	9.5	5.5	1	M	夜用	
厚別 水再生プラザ	汚水調整池	消泡水	横軸渦巻	50	0.7	24.0	7.5	2	M	
		排水	横軸渦巻	125	1.7	15.0	11	2	M	
		汚泥引抜	片吸込み渦巻	200	3.0	9.0	7.5	2	M	
		池洗浄	槽外形横軸渦巻	80	2.2	30.0	18.5	2	M	
東部 水再生プラザ	高度処理	原水揚水	横軸渦巻	80	1.25	16.0	7.5	4	M	
	汚水調整池	返送水	横軸吸込スクリー渦巻	150	3.3	14.0	18.5	2	M	
	排水処理	冷却水送水	片吸込み渦巻	200	2.7	19.0	15	3	M	
新川 水再生プラザ	発寒流雪溝	送水	横軸渦巻	300	9.0	35.0	110	2	M	昼用
			〃	150	2.4	27.0	18.5	1	M	夜用
	琴似流雪溝	送水	横軸渦巻	300	9.0	34.0	75	2	M	昼用
			〃	150	2.4	26.0	18.5	1	M	夜用
新川融雪槽	送水	横軸渦巻	500	30.0	6.2	45	3	M		

1 ポンプの種類Mは電動をあらわす。

ブロワ設備

令和5年3月31日現在

区分	施設名		型式	送風機	吐出圧力	出力	台数	備考	
				(Nm ³ /分・台)	(mmAq)	(kW)	(台)		
主ブロワ	創成川 水再生プラザ	第1	片吸込8段ターボブロワ	110	6,300	180	4		
		第2	片吸込単段増速ターボブロワ	124	5,500	220	3		
	拓北水再生プラザ		片吸込8段ターボブロワ	50	5,500	90	3		
	伏古川水再生プラザ		片吸込8段ターボブロワ	110	5,700	170	4		
	茨戸水再生プラザ		片吸込8段ターボブロワ		160	5,800	280	3	
				片吸込8段ターボブロワ	160	5,800	240	2	
	豊平川 水再生プラザ		第1	片吸込5段ターボブロワ	165	5,500	270	4	
			第2	片吸込高速電動機直結型単段ターボブロワ	140	6,630	230	4	
	厚別水再生プラザ		片吸込5段ターボブロワ	151	5,500	270	5		
	定山溪水再生プラザ		ルーツブロワ	28	4,898	45	3		
	東部水再生プラザ		片吸込多段ブロワ	167	7,000	290	2		
	新川 水再生プラザ		第1	片吸込5段ターボブロワ	168	5,530	270	5	
			第2	片吸込高速電動機直結型単段ターボブロワ	180	6,300	240	3	
	手稲水再生プラザ		片吸込5段ターボブロワ		215	5,800	360	3	
片吸込5段ターボブロワ				215	5,600	340	2		
その他	創成川	高度処理施設	片吸込多段ターボブロワ	50	4,400	70	2	洗浄用	
	厚別	汚水調整池	片吸込8段ターボブロワ	110	6,000	180	3		
	新川	融雪槽	ルーツブロワ	20	4,690	30	4		

脱水施設

令和5年3月31日現在

施設名	生污泥濃縮槽		脱水機			備考
	槽数 (槽)	容量 (m ³ /槽)	型式	処理能力 (m ³ /時)	台数 (台)	
西部スラッジセンター	8	1,018	横軸高効率遠心型	50	6	能力は3%濃度時
			圧入式スクリーンプレス	1.28	2	能力は3%濃度時
東部スラッジセンター	4	1,021	横軸高効率遠心型	50	3	能力は3%濃度時

焼却施設

令和5年3月31日現在

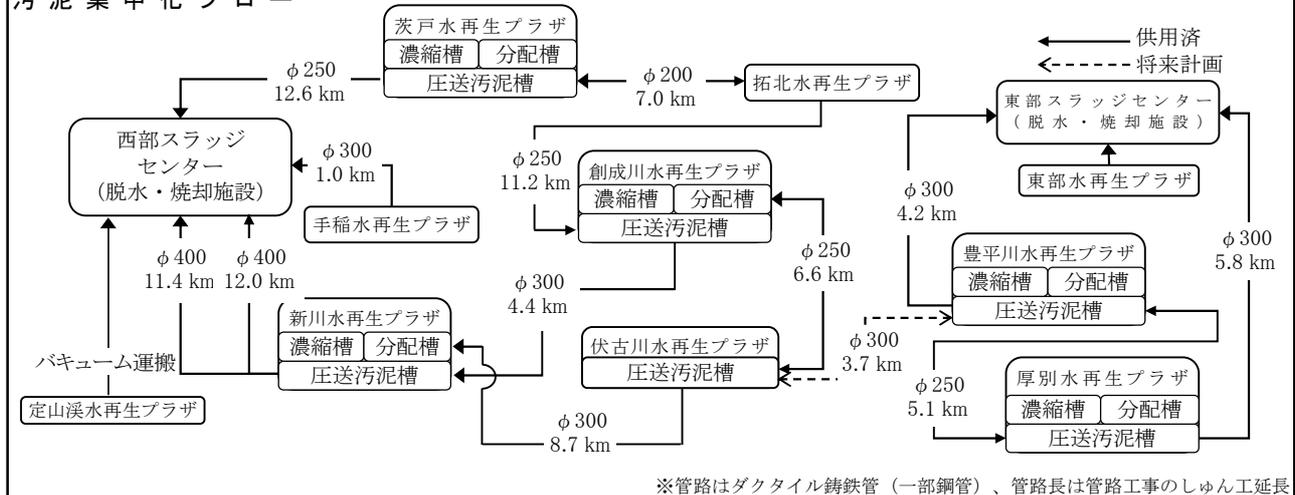
施設名	焼却炉				排ガス処理	備考
	型式	焼却能力 (kg/h)	火床面積 (m ²)	炉数 (炉)		
西部スラッジセンター	階段式ストーカ炉	1,882	23.53	1	マルチサイクロン、電気集じん機	能力は乾燥脱水汚泥量 (含水率40%)
		2,083	17.00	1		
		2,430	22.00	2		
		3,050	40.00	1		
東部スラッジセンター	循環式流動炉	6,250	2.46	1	バグフィルタ	1号炉
		6,250	4.52	1	バグフィルタ	2号炉

汚泥圧送

施設名	汚泥濃度調整槽		圧送汚泥槽		汚泥圧送ポンプ（電動）					
	槽数 (槽)	容量 (m ³ /槽)	槽数 (槽)	容量 (m ³ /槽)	型式	口径 (mm)	揚水量 (m ³ /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
創成川水再生プラザ	4	333	2	673	吸込スクリー式	200×150	4.3	32.0	37	2
	1	666								
拓北水再生プラザ	2	112	2	80	横軸渦巻	150×125	3.0	37.5	45	2
						150×150				
伏古川水再生プラザ	—	—	3	204	吸込スクリー式	200×150	3.0	41.0	45	2
茨戸水再生プラザ	2	600	1	430	吸込スクリー式	150×100	2.6	37.5	37	2
			1	470	吸込スクリー式	150×100	2.6	37.5	45	2
豊平川水再生プラザ	4	589	2	150	吸込スクリー式	200×150	4.2	37.0	55	2
厚別水再生プラザ	4	565	2	535	吸込スクリー式	200×150	4.2	55.0	75	2
東部水再生プラザ	—	—	—	—	横軸吸込スクリー渦巻	125×100	1.5	36.0	22	2
	—	—	—	—	吸込スクリー式	100×80	0.76	13.0	5.5	2
新川水再生プラザ	3	733	2	588	吸込スクリー式	250×150	7.5	80.0	180	2
手稲水再生プラザ	3	724	2	320	片吸込渦巻	250×125	3.7	40.0	55	2

汚泥集中化フロー

※拓北・茨戸水再生プラザの汚泥圧送ポンプは2台直列で使用



※管路はダクタイル鋳鉄管（一部鋼管）、管路長は管路工事のしゅん工延長

水質監視用計測器

(台)

	設置場所	創成川 水再生プラザ	拓北 水再生プラザ	伏古川 水再生プラザ	茨戸 水再生プラザ
DO計	反応タンク	14	4	12	9
MLSS計	反応タンク	5	2	8	9
濁度計	最終沈殿池	7	1	1	1
汚泥 界面計	最終沈殿池	7	2	4	5
	濃縮槽	—	—	—	—
ORP計	反応タンク	10	4	16	1
アンモニア計	最終沈殿池	1	1	1	—

(台)

	設置場所	豊平川 水再生プラザ	厚別 水再生プラザ	定山溪 水再生プラザ	東部 水再生プラザ	新川 水再生プラザ	手稲 水再生プラザ
DO計	反応タンク	13	8	4	4	14	16
MLSS計	反応タンク	6	4	4	4	8	5
濁度計	最終沈殿池	2	1	1	1	3	1
汚泥 界面計	最終沈殿池	6	4	1	2	8	5
	濃縮槽	—	—	2	—	3	—
ORP計	反応タンク	11	8	—	4	8	6
アンモニア計	最終沈殿池	—	1	—	1	1	—

(3) ポンプ場施設能力の現況と計画

令和5年3月31日現在

区分 ポンプ場名	排水面積 (ha)						排水人口 (千人)
	計			現 在			
	合 流	分 流	全 体	合 流	分 流	全 体	
茨戸中部	(汚) (1,736) 809	(汚) (159) 30	(汚) (1,895) 839	(汚) (1,563) 790	(汚) (114) 31	(汚) (1,677) 821	(102) 58
	(雨) (1,670) 1,173	—	(雨) (1,670) 1,173	(雨) (1,649) 1,152	—	(雨) (1,649) 1,152	
茨戸東部	(汚) 927	(汚) 129	(汚) 1,056	(汚) 773	(汚) 84	(汚) 857	44
	(雨) 497		(雨) 497	(雨) 497		(雨) 497	
東雁来雨水	—	—	—	—	—	—	—
	(雨) 409		(雨) 409	(雨) 409		(雨) 409	
伏古川雨水	—	—	—	—	—	—	—
	(雨) 316		(雨) 316	(雨) 316		(雨) 316	
豊平川	—	—	—	—	—	—	—
	(雨) 202		(雨) 202	(雨) 202		(雨) 202	
米里	(汚) 161	—	(汚) 161	(汚) 160	—	(汚) 160	2
	(雨) 161		(雨) 161	(雨) 160		(雨) 160	
月寒川雨水	—	—	—	—	—	—	—
	(雨) 106		(雨) 106	(雨) 106		(雨) 106	
野津幌川雨水	—	—	—	—	—	—	—
		(雨) 259	(雨) 259		(雨) 251	(雨) 251	
川北	—	(汚) 76	(汚) 76	—	(汚) 72	(汚) 72	6
		(雨) 164	(雨) 164		(雨) 160	(雨) 160	
厚別川雨水	—	—	—	—	—	—	—
		(雨) 365	(雨) 365		(雨) 363	(雨) 363	
定山溪	—	(汚) 27	(汚) 27	—	(汚) 26	(汚) 26	1
		—	—		—	—	
藤野	—	(汚) 77	(汚) 77	—	(汚) 76	(汚) 76	4
		—	—		—	—	
簾舞	—	(汚) 95	(汚) 95	—	(汚) 80	(汚) 80	2
		—	—		—	—	
藻岩下第2	—	(汚) 8	(汚) 8	—	(汚) 8	(汚) 8	1
		—	—		—	—	
手稲	(汚) 2,417	(汚) 577	(汚) 2,994	(汚) 2,321	(汚) 570	(汚) 2,891	205
	(雨) 2,417	—	(雨) 2,417	(雨) 2,321	—	(雨) 2,321	
茨戸西部	(汚) 1,190	(汚) 22	(汚) 1,212	(汚) 1,137	(汚) 22	(汚) 1,159	88
	(雨) 1,190	(雨) 20	(雨) 1,210	(雨) 1,137	(雨) 20	(雨) 1,157	
計	(汚) 5,504	(汚) 1,041	(汚) 6,545	(汚) 5,181	(汚) 969	(汚) 6,150	411
	(雨) 6,471	(雨) 808	(雨) 7,279	(雨) 6,300	(雨) 794	(雨) 7,094	

1 茨戸東部の排水は茨戸中部を経て排水される。()内の数値は茨戸中部+茨戸東部

2 東雁来雨水と茨戸東部の雨水の計画排水面積は一部(133ha)が重なり、両ポンプ場に計上している。

令和5年3月31日現在

区分 ポンプ場名	揚水能力 (m ³ /分)				排除方式	放流先	敷地面積 (m ²)	運転開始 年月
	汚水ポンプ		雨水ポンプ					
	計画	現在	計画	現在				
茨戸中部	171.0	171.0	2,959.0	2,470.0	合流	伏籠川	12,597	昭和51年11月
茨戸東部	95.0	95.0	1,009.0	739.0	合流	篠路新川	9,489	昭和57年4月
東雁来雨水	—	—	636.0	636.0	合流	豊平川	11,000	平成30年5月
伏古川雨水	—	—	767.0	767.0	合流	伏籠川	5,048	昭和62年4月
豊平川	—	—	672.0	672.0	合流	月寒川	2,350	昭和47年6月
米里	39.4	25.4	492.0	316.0	合流	豊平川	6,747	昭和60年4月
月寒川雨水	—	—	230.0	230.0	合流	月寒川	813	昭和56年8月
野津幌川雨水	—	—	558.0	558.0	分流	野津幌川	(水再生プラザ敷地内) 3,210	平成元年4月
川北	8.6	4.3	420.0	280.0	分流	月寒川	3,713	平成元年10月
厚別川雨水	—	—	1,200.0	720.0	分流	厚別川	6,167	平成5年4月
定山溪	13.0	13.0	—	—	分流	—	630 (150)	昭和46年4月
藤野	5.3	5.3	—	—	分流	—	1,335	昭和58年4月
簾舞	6.6	6.6	—	—	分流	—	1,500	昭和62年4月
藻岩下第2	1.0	1.0	—	—	分流	—	(占用) 98	昭和53年4月
手稲	397.8	397.8	4,668.0	3,720.0	合流 (一部分流)	新川	13,171	昭和49年4月
茨戸西部	151.0	150.0	2,224.0	2,564.0	合流	発寒川	12,870	昭和50年7月
計	888.7	869.4	15,835.0	13,672.0	—	—	90,738	—

注：敷地面積は、地積測量図の地積。()内数値は占用部分で内数

(4) ポンプ場設備の現況

ポンプ設備

令和5年3月31日現在

区分 ポンプ場名	汚 水 ポ ン プ						
	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m ³ /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台 数	種 類
茨戸中部	立軸斜流	700	64	8.4	130	2	M
	〃	900	107	8.4	215	2	M
茨戸東部	立軸斜流	450	23	10.3	65	2	M
	〃	600	49	10.3	130	2(内1台※)	M
東雁来雨水	-	-	-	-	-	-	-
伏古川雨水	-	-	-	-	-	-	-
豊平川	-	-	-	-	-	-	-
米里	立軸渦巻斜流	200	4.2	10	15	2	M
	〃	350	17.0	11	55	2	M
月寒川雨水	-	-	-	-	-	-	-
野津幌川雨水	-	-	-	-	-	-	-
川北	水中ポンプ(渦巻) (無閉塞スクリュー式)	200	4.3	30	45	2	M
厚別川雨水	-	-	-	-	-	-	-
定山溪	立軸スクリュー式	200	4.33	38	60	4	M
藤野	水中ポンプ(渦巻)	200	4.75	30.5	45	3	M
簾舞	水中ポンプ(渦巻)	250	4.0	50	75	2	M
藻岩下第2	水中ポンプ(渦巻)	100	1.5	11.5	5.5	2	M
	〃	200	3.3	19.4	21	1	M
手稲	立軸斜流	600	39	13.8	130	1	M
	〃	1,000	138	14.1	445	2	M
	〃	1,350	221	9.3	465	2	M
茨戸西部	立軸斜流	500	43	9.5	110	2	M
	〃	600	64	9.8	170	2	M

1 ポンプ種別でMは電動、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

2 電動機出力はkW、ディーゼル・ガスタービンはPSで表示

3 ※は、汚水と雨水の兼用を示す。

令和5年3月31日現在

区分 ポンプ場名	雨 水 ポ ンプ						
	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m ³ /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台 数	種 類
茨戸中部	立軸斜流	1,350	245	7.8	465	2	M
	〃	2,200	660	7	1,650 PS	4	D
茨戸東部	立軸斜流	1,000	150	9.1	320	1	M
	〃	1,500	270	9.1	850 PS	3	D
東雁来雨水	立軸斜流	800	90	18.5	400	2	M
	〃	1,350	228	18.5	1360PS	3	GT
伏古川雨水	立軸斜流	500	35	14	120	1	M
	〃	1,000	120	11	300	1	M
	〃	1,350	204	11	800 PS	4	D
豊平川	立軸斜流	700	60	8.2	115	1	M
	〃	1,200	204	8.5	600 PS	3	GT
米里	立軸斜流	500	36	11.5	110	1	M
	〃	1,000	140	11.0	550 PS	2	D
月寒川雨水	立軸斜流	1,350	230	4.8	370 PS	2	D
野津幌川雨水	立軸斜流	800	75	14	250	2	M
	〃	1,350	204	12.5	900 PS	3	D
川北	立軸斜流	1,000	140	11.5	360	3	M
厚別川雨水	立軸斜流	1,000	120	13.7	400	2	M
	〃	2,000	480	13.7	2,300 PS	2	D
定山溪	-	-	-	-	-	-	-
藤野	-	-	-	-	-	-	-
簾舞	-	-	-	-	-	-	-
藻岩下第2	-	-	-	-	-	-	-
手稲	立軸斜流	2,600	930	11.3	3,370 PS	3	D
					3,536 PS	1	GT
茨戸西部	立軸斜流	1,000	139	6.1	210	2	M
	〃	2,000	572	5.7	1,100 PS	3	D
	〃	2,000	570	13.7	1,890	1	GT

1 ポンプ種別でMは電動、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

2 電動機出力はkW、ディーゼル・ガスタービンはPSで表示

3 ※は、汚水と雨水の兼用を示す。

沈砂池設備

令和5年3月31日現在

区分 ポンプ場名	沈 砂 池										
	用途	池数	容量 (m ³ /池)	型式	除 じ ん 設 備			除 砂 設 備			
					方 式	台 数	付 属 設 備	方 式	台 数	付 属 設 備	
茨戸中部	汚水	4	300	矩形 平行流	細目	〃	4	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	4	トラフコンベヤ
	雨水	4	300	〃	細目	〃	4	バケットコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	4	バケットコンベヤ
茨戸東部	汚水	3	230	矩形 平行流	細目	〃	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	3	トラフコンベヤ
	雨水	3	470	〃	細目	〃	3	バケットコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	3	スクリュウコンベヤ
東雁来雨水	雨水	3	132	矩形 平行流	細目	〃	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	真空揚砂装置	3	沈砂分離機
伏古川雨水	雨水	3	360	矩形 平行流	細目	〃	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	3	トラフコンベヤ バケットエレベータ
豊平川	雨水	2	85.6	〃	細目	〃	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	混気ジェット ポンプ	2	トラフコンベヤ
米里	汚水	2	15.3	矩形 平行流	細目	〃	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	2	トラフコンベヤ
	雨水	2	88.0	〃	細目	〃	1	バケットエレベータ		2	バケットエレベータ
月寒川雨水	雨水	1	-	-	粗目	〃	2	自動バースクリーン	-	-	-
野津幌川雨水	雨水	3	240	矩形 平行流	粗目	〃	3	自動バースクリーン バケットエレベータ	機械掻揚	6	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目	〃	3	ベルトコンベヤ			
川北	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	人力掻揚	-	-	-
	雨水	2	107.5	矩形 平行流	粗目	〃	2	自動バースクリーン	機械掻揚 (埋没防止型)	2	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目	〃	2	ベルトコンベヤ			
厚別川雨水	雨水	2	156	矩形 平行流	粗目	〃	2	自動バースクリーン	機械掻揚 (埋没防止型)	4	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目	〃	2	ベルトコンベヤ			
定山溪	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	コミュニーター (人力掻揚)	-	-	-
藤野	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	スミカッター (人力掻揚)	-	-	-
簾舞	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	スミカッター (人力掻揚)	-	-	-
藻岩下第2	-	1	-	-	細目	〃	1	(人力掻揚)	-	-	-
手稲	汚水	4	120	矩形	細目	〃	4		機械掻揚 (埋没防止型)	4	トラフコンベヤ
		2	191	平行流	細目	〃	2	自動バースクリーン			
	雨水	3	260	〃	細目	〃	3	ベルトコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	3	バケットエレベータ 混気ジェットポンプ
茨戸西部	汚水 雨水 共通	4	58	矩形 平行流	細目	〃	4	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	4	トラフコンベヤ バケットコンベヤ
	雨水	1	378	〃	細目	〃	2				

電気設備

令和5年3月31日現在

区分 ポンプ場名	受電 電圧 [V]	契約 電力 [kW]	設備 容量 [kW]	自家発電設備					変圧器				コンデンサ 調相容量 [kVA]
				電圧 [V]	容量 [kVA]	種別	台数	種類	相数	電圧 1次[V]/2次[V]	容量 [kVA]	台数	
茨戸中部	6,600	970	2,530	6,600	1,500	非常用	1	D	3 1	6,600/420 6,600/210-105	1,000 100	2 1	450
茨戸東部	6,600	700	1,318	6,600	800	非常用	1	D	3 1	6,600/415 6,600/200-105	500 100	2 1	210
東雁来雨水	6,600	800	1,919	6,600	1,000	非常用	1	D	3 1	6,600/420 6,600/210-105	500 75	2 1	175
伏古川雨水	6,600	347	958	6,600	400	非常用	1	D	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 50	2 1	350
豊平川	6,600	179~172	622	6,600	625	非常用	1	GT	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 30	2 1	190
米里	6,600	219~220	615	6,600	500	非常用	1	GT	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 50	2 1	125
月寒川雨水	200 100	電力39 電灯7	46	200	100	非常用	1	D	-	-	-	-	-
野津幌川	6,600 (処理場 から送 電)	350 (処理場 に含む)	899	-	-	-	-	-	3 3 3 1	6,600/3,300 6,600/3,300 3,300/400 3,300/200-100	1,500 500 300 75	1 1 2 1	-
川北	6,600	429	1,693	6,600	1,250	常用	2	D	3 1	6,600/400 6,600/200-100	300 50	2 1	450
厚別川雨水	6,600	413~432	1,306	6,600	625	常用	1	D	3	6,600/420 6,600/200-100	500 75	2 1	320
定山溪	6,600	71	373	420	500	非常用	1	GT	3	6,600/420	750	1	60
藤野	6,600	117~132	154	200	200	非常用	1	GT	3	6,600/210	300	1	30
簾舞	6,600	86~89	264	420	400	非常用	1	D	3	6,600/420	300	1	60
藻岩下第2	200 100	電力26 電灯20A	37	200 (100)	89	非常用	1	D	-	-	-	-	-
手稲	6,600	1,400	3,727	6,600	2,000	非常用	1	D	3 3 1	6,600/400 6,600/200 6,600/200-100	750 100 300	2 1 1	1,820
茨戸西部	6,600	900	1,885	6,600	1,000	非常用	1	GT	3 1 1	6,600/420 6,600/210-105 6,600/210-105	750 75 50	2 1 1	425

自家発電機の種類で、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

(5) その他施設の概要

西部スラッジセンター

敷地面積 86,913 m²

①脱水施設

- 1) 運転開始 平成12年3月
- 2) 脱水機能力 50 m³/時・台×6台
- 3) 脱水方式 遠心脱水方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
濃縮設備	分配槽	鋼板製×1槽(可動堰2門)、RC製×2槽(可動堰各4門)	3槽
	濃縮槽	RC製重力式、18mφ、1,018 m ³ 、掻寄機：中央駆動支柱型	8槽
脱水設備	遠心脱水機	No. 1～4：横軸高効率遠心型50 m ³ /時、主：132 kW、油圧：45 kW No. 5・6：低動力型高効率遠心型50 m ³ /時、主：132 kW、差速：37 kW	6台
	分配ホッパ	供給装置付立形円筒鋼板製ホッパ、No. 1・2：3.5 mφ×2.6 mH、No. 3：3.2 mφ×2.0 mH、20 m ³ /時	3基
	脱水ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、No. 1～4：19.2 m ³ /時、150φ、132 kW、No. 5・6：20 m ³ /時、230φ、132 kW	6台
	計量ホッパ	鋼板製角型ホッパ、2 m ³ 、20 m ³ /時	2基
	ケーキ移送中継ポンプ	ダブルシリンダ式ピストンポンプ、19.2 m ³ /時、150φ、132 kW	2台
	ポリマーサイロ	鋼板製円筒下部円錐槽、2.7 mφ×7.5 mH、有効27 m ³	1基
	ポリマー溶解槽	攪拌機付自動溶解槽、3.9 mφ×3.3 mH、有効27 m ³ 、15 kW	4基
返流水設備	排水槽	RC製、17 mW×19 mL×5 mH、有効1,130 m ³	2槽
	急速攪拌槽	RC製、2.5 mW×7 mL×4 mH、有効52.5 m ³ 、攪拌機：立軸パドル式ミキサー	2槽
	緩速攪拌槽	RC製、7 mW×7 mL×4 mH、有効147 m ³ 、攪拌機：立軸パドル式ミキサー	2槽
	凝集沈殿池	RC製重力式、18 mφ、1,018 m ³ 、掻寄機：中央駆動支柱型	2槽
	返水槽	RC製、17 mW×14 mL(19 mL)×5 mH、有効1,130 m ³ ×1槽、833 m ³ ×1槽	2槽
	返水ポンプ	横軸渦巻形、200A×150A、4.9 m ³ /分、24.5m、37 kW	5台
用水設備	生物膜ろ過槽	RC製、1.9 mW×2.5 mL×6 mH×4槽、4,320 m ³ /日、ろ速120 m/日	1槽
	通気ブロワ	ルーツ形、40 A、0.57 Nm ³ /分、5,500 mmAq、2.2 kW	2台
	空洗ブロワ	ルーツ形、100 A、4.8 m ³ /分、5,500 mmAq、11 kW	2台
脱臭設備	濃縮棟脱臭塔	立形直投2塔式、200 m ³ /分、100 mmAq	1基
	濃縮棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、100 m ³ /分、250 mmAq、11 kW	2台
	脱水棟脱臭塔	立形直投2塔式、200 m ³ /分、100 mmAq	1基
	脱水棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、47 m ³ /分、220 mmAq、5.5 kW	1台
電気設備	特別高圧受変電設備	66,000 V 7,500 kVA	2台
	高圧変電設備	6,600 V 1,500 kVA(脱水棟動力用)	2台
		6,600 V 1,000 kVA(濃縮棟動力用)	2台
		6,600 V 75 kVA(付帯動力用)	1台
		6,600 V 200 kVA(電灯用)	2台
		非常用発電設備	6,600 V 750 kVA

②定山溪脱水施設

- 1) 運転開始 平成16年3月
- 2) 脱水機能力 1.28 m³/時・台×2台
- 3) 脱水方式 圧入式スクリュープレス
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
受入設備	汚泥貯留槽	円筒立形攪拌槽 26 m ³ 攪拌機 5.5 kW	2槽
脱水設備	脱水機	圧入式スクリュープレス 1.28 m ³ /時 2.1 kW	2台
	脱水機ろ液分離槽	上部円筒下部円錐型 4.4m ³ 0.6kW	2槽
薬注設備	ポリマー溶解槽/貯留槽	立形攪拌槽 1.2 m ³ 攪拌機0.75 kW / 立形円筒貯留槽 3 m ³	各2槽
	消石灰サイロ	上部円筒下部円錐型サイロ 3.75 m ³ 0.1kW	2台
	消石灰溶解槽/貯留槽	立形攪拌槽 0.4 m ³ 0.2 kW	各2槽
	消石灰混練機	不等速2軸パドル式 3.7kW	2基
搬出設備	ケーキコンベヤ	スクリュース式(無軸) 1.0m ³ /時 (2.2 kW、3.7 kW、2.25 kW)	3台
	ケーキホッパ	カットゲート開閉式 10 m ³ 2.2 kW	2台
用水設備	ろ過水槽	角型パネル槽 15 m ³	2槽
排水設備	排水槽	鋼板製水槽 18 m ³ 4.4kW	1槽
脱臭設備	脱臭ファン	5 m ³ /分 0.4 kW	1台

③焼却施設

- 1) 運転開始 1系列(100 t/日) 令和3年9月 4系列(100 t/日) 平成8年3月
2系列(100 t/日) 昭和60年4月 5系列(150 t/日) 平成12年8月
3系列(100 t/日) 平成6年3月
- 2) 焼却能力 脱水ケーキ 550 t/日
- 3) 焼却方式 燃焼回収熱を利用した汚泥間接乾燥焼却方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
汚泥	汚泥タンク	500 m ³ 、円筒形下部搔寄せ出式(1系)	1基
	汚泥ピット	1,000 m ³ 、2 t×13.5 mクラブバケット 電動天井クレーン(3・4・5系)	3基
	乾燥機	伝熱面積 180 m ² /基(1・2系、5系×2基) 200 m ² /基(3・4系)	6基
	汚泥焼却炉	階段式ストーカ炉 焼却能力 100 t/日 150 t/日(5系のみ)	5基
乾燥	廃熱ボイラ	蒸気発生量 6,200 kg/時、伝熱面積 414 m ² (1系) 常用1.72MPa、最大1.96MPa	1基
		蒸気発生量 5,000 kg/時、伝熱面積 334 m ² (2系)	1基
		蒸気発生量 6,000 kg/時、伝熱面積 414 m ² (3・4系)	2基
		蒸気発生量 9,000 kg/時、伝熱面積 530 m ² (5系)	1基
焼却	マルチサイクロン	処理ガス量 10,000 Nm ³ /時(1系)、16,000 Nm ³ /時(2・5系)、13,500 Nm ³ /時(3・4系)	5基
	汚泥アッシュバンカ	油圧開閉式 15m ³ 、油圧ユニット 11kW 及び22kW	13基
	排ガス洗浄塔	水噴霧及びアルカリ噴霧の2段式	5基
250℃ 200℃(1系のみ) 10,000 Nm ³ /時(1・2系)、13,500 Nm ³ /時(3・4系)、16,000 Nm ³ /時(5系)			
備	電気集じん機	湿式電気集じん機 出口ばいじん濃度≤0.1 g/Nm ³	5基
		処理ガス量 9,000 Nm ³ /時(1系)、10,000 Nm ³ /時(2系)、12,000 Nm ³ /時(3・4系)、13,500 Nm ³ /時(5系)	
電気設備	高圧変電設備	6,600 V 2,000 kVA(5系動力用)2台、1,500 kVA(1,2系動力用)2台、1,000 kVA(3,4系動力用)2台、200 kVA(電灯用1,2,3系各1台の計3台)	9台
	非常用発電設備	6,600 V 500 kVA 875 kVA	2台
	蒸気発電設備	400 V 140kW(1台) 160kW(1台)、400V 50~60kW(バイナリ発電機)(1台)	3台

東部スラッジセンター

敷地面積 40,196 m²

①脱水施設

- 1) 運転開始 平成19年9月
- 2) 脱水機能力 50 m³/時・台×3台
- 3) 脱水方式 遠心脱水方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
濃縮設備	汚泥受槽	R C製、有効容量683 m ³ 、攪拌機：立軸パドル式	1槽
	濃縮タンク投入ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、10.6 m ³ /分×15 m、75 kW、VVVF	2台
	汚泥分配槽	R C製4分割型、有効容量9.9 m ³ 、可動堰 900 mmW×500 mmH×4門	1槽
	濃縮汚泥破碎機	二軸せん断式、φ200×1.3 m ³ /分	4台
	濃縮タンク	R C製重力式、18 mφ、有効容量1,021 m ³ 、掻寄機：中央駆動支柱型	4槽
	濃縮汚泥引抜ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、1.3 m ³ /分×5 m、3.7 kW、VVVF	4台
	ピグ受槽	R C製、有効容量20 m ³	1槽
脱水・ケーキ移送・ケーキ貯留設備	汚泥貯留タンク	R C製、攪拌機：立軸パドル式	2槽
	汚泥貯留タンク引抜破碎機	二軸せん断式、φ300×6.3 m ³ /分	1台
	脱水機給泥ポンプ	吸込みスクリー付汚泥ポンプ、1.3 m ³ /分×20 m、11 kW、VVVF	3台
	遠心脱水機	横型遠心脱水機 50 m ³ /時(25~75 m ³ /時) 主：180 kW、差速：55 kW	3台
	処理水槽	R C製、8.4 mW×8.05 mL×6.8 mH、有効360 m ³	2槽
	ろ過水槽	R C製、6.55 mW×8.0 mL×6.8 mH、有効300 m ³	2槽
	返流水槽	R C製、13 mW×12 mL×6.8 mH、有効870 m ³	2槽
	凝集剤貯留ホッパ	鋼板製円筒下部円錐型、1.8 mφ×4.0 mH、有効6 m ³ 、0.9 kW	2台
	凝集剤定量供給機	一連式定量フィーダ、5 L/分、0.4 kW	3台
	凝集剤溶解槽	鋼板製立型攪拌槽、4.0 mφ×2.0 mH、有効20 m ³ 、11 kW	3基
	脱水ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8m ³ /時、75 kW	3台
	ケーキ貯留ホッパ	鋼板製円筒型下部掻寄式、6.2 mφ×16.5 mH、有効400 m ³ 、8.8 t/時、11 kW	2基
	貯留ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8 t/時、30 kW	2台
	ケーキ受入ホッパ	鋼板製角槽形下部切出多軸スクリー式、12.5 m ³ 、11 m ³ /時、7.5 kW×2	1基
受入ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8 m ³ /時、45 kW	2台	
ケーキ搬出ホッパ	鋼板製カットゲート開閉式両開きホッパ 12.5 m ³	1基	
脱臭設備	水洗浄塔	角型充てん式 230 m ³ /分	1基
	充てん式生物脱臭塔	角型充てん式生物脱臭塔 230 m ³ /分	1基
	脱臭ファン	F R P製片吸込ターボファン、115 m ³ /分、15 kW、3.4 kPa	2台
	活性炭吸着塔	カートリッジ式角形活性炭吸着式 230 m ³ /分	1基
電気設備	特別高圧受変電設備	Tr 66,000 V 6,000 kVA(東部水再生プラザ側に設置)	2台
	高圧変電設備	Tr 6,600 V/420 V 1,500 kVA(濃縮・脱水系動力用)	2台
		Tr 6,600 V/420 V 750 kVA(ケーキ貯留系動力用)	1台
		Tr 6,600 V/210-105 V 200 kVA(濃縮・脱水・ケーキ貯留系照明用)	1台
		非常用発電設備	Tr 6,600 V 3Φ 2,500 kVA(東部水再生プラザ側に設置)

②焼却施設

- 1) 運転開始 1号汚泥焼却炉 (150 t/日) 平成19年9月
2号汚泥焼却炉 (150 t/日) 平成21年9月
- 2) 焼却能力 300t/日
- 3) 焼却方式 循環式流動焼却方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台 数
ケ ー キ 供 給	ケーキ供給ホッパ	鋼板製角槽式下部切出多軸スクリー式、25 m ³ 、8.8 t/時、11 kW×2	4基
	スクリーンかすホッパ	鋼板製円筒式 3.5m ³	2基
・ 焼 却 ・	ケーキスクリーンかす混合機	二軸スクリーパドル式 8.8t/h	2基
	ケーキ供給ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、6.25 t/時、37 kW	4台
排 ガ ス 処 理 ・	汚泥焼却炉	循環式流動焼却炉、焼却能力150 t/日	2基
	砂選別機	振動式、1.0 t/時、0.85 kW×2	2台
排 水 処 理 ・	砂ホッパ	鋼板製密閉型円筒下部吐出式、8m ³ ・0.2kW (1号炉)、10m ³ ・0.4kW (2号炉) 1.0 t/時	2基
	きょう雑物ホッパ	鋼板製密閉型円筒下部吐出式、2 m ³ 、0.75 kW	2基
灰 搬 出 設 備	二次燃焼空気予熱器	ガスーガス熱交換式 2,200 MJ/時(1号炉) 2,370 MJ/時(2号炉)	2基
	一次燃焼空気予熱器	ガスーガス熱交換式 5,000 MJ/時(1号炉) 4,740 MJ/時(2号炉)	2基
電 気 設 備	結露防止空気予熱器	ガスーガス熱交換式 5,300 MJ/時(1号炉) 5,196 MJ/時(2号炉)	2基
	排ガス冷却塔	立形円筒スプレー式、出口温度200℃以下、17,000 Nm ³ /時	2基
電 気 設 備	排ガス除じん装置	パルス空気洗浄式バグフィルタ、0.02 g/Nm ³ 、19,000 Nm ³ /時、34 kW	2基
	排ガス処理塔	湿式洗浄冷却脱硫塔、出口温度40℃、19,000 Nm ³ /時	2基
電 気 設 備	誘引ファン	プレート式、270 Nm ³ /分、170 kW	2基
	排水ポンプ	渦巻ポンプ、3.1 m ³ /分×30 m、30 kW	4台
電 気 設 備	排水槽	SUS鋼板製、3.0 mW×3.3 mL×3.3 mH、有効容量22 m ³	2槽
	洗煙排水ポンプ	渦巻ポンプ、3.1 m ³ /分×24 m、22 kW	3台
電 気 設 備	洗煙排水槽	SUS鋼板製、3.3 mW×2.85 mL×6.55 mH、有効容量33 m ³	1槽
	灰ホッパ	鋼板製密閉式、貯留量65 m ³	2基
電 気 設 備	灰加湿装置	二軸パドル式、10 t/時、11 kW	2基
	高圧変電設備	Tr 6,600 V/420 V 1,500 kVA(焼却系動力用) Tr 6,600 V/210-105 V 75 kVA(焼却系照明用)	2台 1台

厚別洗浄センター

- 1) 運転開始 平成22年4月
- 2) 敷地面積 厚別水再生プラザ敷地内 8,516 m²
床面積 地上2階・地下1階 RC構造 3,429.72 m²
- 3) 洗浄能力 2.0m³/時・系 3,000 m³/年
- 4) 設備概要
処理設備

	名 称	仕 様	台 数
処 理 設 備	スクリーンかす供給機	ダブルチェーン式レーキスクリーン 2.0 m ³ /h	2
	スクリーンかすほぐし機	ボールミル方式 (ゴムライニング) 2.0 m ³ /h	2
	スクリーンかす洗浄機	機械攪拌式 2.0 m ³	2
	鉄選別機	永久磁石吊下型 1.6 m ³ /h	2
	スクリーンかす粗破碎機	横置二軸回転式 1.6 m ³ /h	2
	スクリーンかす脱水機	スクリュウ式 1.6 m ³ /h	2
	スクリーンかす細破碎機	横置二軸回転式 1.3 m ³ /h	2
	アルミ選別機	磁界式 1.3 m ³ /h	2
	スクリーンかす搬出機	垂直バケットコンベヤ 1.3 m ³	2
	スクリーンかすホッパ	切出装置付 (スクリュウ) 貯留量7.0 m ³	2
	不燃物搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ 搬送能力1.0 m ³ /h	2
共 通 設 備	共通不燃物排出機	垂直バケットコンベア 3.0 m ³ /h	1
	不燃物ホッパ	電動カットゲート (床置) 貯留量10 m ³	1
	スカム除去装置	裏搔式連続自動スクリーン 目巾2.5 mm	1
	スカム脱水機	二軸対向型スクリュウ式 240 L/h	1
	スカム搬出機	無軸式スクリュウコンベヤ 搬送能力0.49 m ³ /h	2

	名 称	仕 様	台 数
そ の 他 設 備	処理水給水装置	圧力タンク式（横軸渦巻ポンプ） 3.7 m ³ /min×30 m タンク8.0 m ³	1
	井水給水装置	圧力タンク式（横軸渦巻ポンプ） 0.6 m ³ /min×35 m タンク3.0 m ³	1
	処理水送水ポンプ	水中渦巻きポンプ 2.3 m ³ /min×10 m	2
	井水送水ポンプ	水中渦巻きポンプ 0.14 m ³ /min×23 m	2
	排水ポンプ(200)	着脱式吸込SC水中ポンプ 4.3 m ³ /min×1.0m	2
	床排水ポンプ(65)	着脱式汚水汚物水中ポンプ 0.3 m ³ /min×10 m	3
	空気圧縮機	パッケージ空気圧縮機(165 L/min) 0.93 MPa	2
脱 臭 設 備	活性炭吸着塔	立形カートリッジ式活性炭 150 m ³ /min	1
	脱臭用排気ファン	搬入室・処理設備（片吸込） 75 m ³ /min×2.0 kPa	各1
	脱臭用給気ファン	搬入室・処理設備（片吸込） 75 m ³ /min×0.2 kPa	各1

手稲沈砂洗浄センター

- 1) 運転開始 平成4年4月
 2) 敷地面積 5,200 m²
 3) 洗浄能力 8 m³/時
 4) 設備概要

	名 称	仕 様	台 数
受 入 設 備	計量器	ロードセル型ピット式トラックスケール 25 t	1
	沈砂貯留ホッパー	貯留量 30 m ³ 沈砂量 15 m ³	2
	定量供給機	2条式スクリーコンベヤ 4 m ³ /時	2
	破碎機	衝撃式破碎機 4 m ³ /時	1
洗 砂 設 備	洗砂機	ドラム回転式 4 m ³ /時	1
		気水混合噴射型単一レーキ式除じん機 4 m ³ /時	1
	洗砂分離機	洗浄槽付きトラフコンベヤ 6 m ³ /時	2
	洗砂ホッパー	貯留量 10 m ³	2
除 じ ん 設 備	スカム分離機	3面移行式除じん機幅 500 mm×目幅3 mm	1
	スカム脱水機	スクリー式 0.3 m ³ /時	1
	スクリーンかすホッパー	貯留量 10 m ³	1

手稲山口埋立施設（手稲区手稲山口322番地）

- 1) 埋立期間 昭和56年3月～昭和57年1月
 2) 敷地面積 36,510 m²（埋立面積 11,100 m²）
 3) 埋立全容積 33,200 m³
 4) 構造概要 底面：アスファルト舗装6 cm、提内法面：アスファルトマット10 mm、
 提外法面：土木用シート2.0 mm
 5) 埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす

手稲前田埋立施設（手稲区手稲前田448番地1）

- 1)埋立期間 昭和57年1月～平成12年11月
 2)敷地面積 91,774 m²
 3)埋立全容積 369,000 m³
 4)構造概要 底面：アスファルト舗装（2層）6 cm、側面：遮水シート厚 1.5 mm
 5)施設概要

	総計	内 訳			
		No. 1～4	No. 5	No. 6	No. 1～6 上部
表面積 (m ²)	—	36,000 (9,000×4池)	12,000	12,000	53,000
底面積 (m ²)	46,200	29,200 (7,300×4池)	8,500	8,500	48,000
深 さ (m)	7.0	4.5	4.5	4.5	2.5
容 積 (m ³)	369,000	150,000 (37,500×4池)	46,500	46,500	126,000
使用開始年月	—	昭和56年12月新設 昭和57年1月	昭和60年12月増設 昭和61年1月	昭和63年12月増設 平成2年7月	平成7年10月増設 平成7年11月

- 6)埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす、下水汚泥焼却灰、西部スラッジセンター工事掘削物

手稲前田第2埋立施設（手稲区手稲前田623番地 他）

- 1)埋立期間 平成4年12月～
 2)敷地面積 63,223 m²
 3)埋立全容積 205,344 m³ (No. 1～No. 6)
 4)構造概要 底面：アスファルト舗装（2層）10 cm、側面：遮水シート 厚1.5 mm (No. 1～4)
 全面：二重遮水シート 厚1.5 mm (No. 5、No. 6)
 5)施設概要

	総計	内 訳					
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
表面積 (m ²)	44,994	7,513	7,513	7,513	7,513	7,471	7,471
底面積 (m ²)	22,880	4,005	4,005	4,005	4,005	3,430	3,430
深 さ (m)	—	6.0	6.0	6.0	6.0	6.8	6.8
容 積 (m ³)	205,344	34,271	34,271	34,271	34,271	34,130	34,130
使用開始年月	—	平成3年1月新設 平成4年12月	平成6年8月増設 平成6年8月	平成7年9月増設 平成7年12月	平成10年2月増設 平成12年9月	平成17年3月増設 平成17年5月	平成18年11月増設 令和3年8月

- 6)埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす、下水汚泥焼却灰

6 処理実績調

(1) 処理水量等

区分 施設名	総流入下水量		雨水放流量		処 理 水 量 (m ³)						
	(m ³)		(m ³)		簡易処理		高級処理		総処理		
	年量	日量	年量	日量	年量	日量	年量	日量	年量	日量	
創成川 水再生プラザ (高度処理水)	41,028,620	112,410	2,541,700	6,960	1,549,480	4,250	36,937,440	101,200	38,486,920	105,450	
第1処理 施設	20,644,010	56,560	1,226,200	3,360	622,780	1,710	18,795,030	51,490	19,417,810	53,200	
第2処理 施設	20,384,610	55,850	1,315,500	3,600	926,700	2,540	18,142,410	49,710	19,069,110	52,250	
拓北 水再生プラザ	3,042,020	8,330	0	0	0	0	3,042,020	8,330	3,042,020	8,330	
伏古川 水再生プラザ (高度処理水)	16,044,790	43,960	63,310	170	1,522,420	4,170	14,459,060	39,620	15,981,480	43,790	
茨戸 水再生プラザ	37,849,790	103,700	0	0	3,073,290	8,420	34,776,500	95,280	37,849,790	103,700	
札幌市分	35,160,500	96,330	0	0	3,036,340	8,320	32,124,160	88,010	35,160,500	96,330	
石狩市分	2,689,290	7,370	0	0	36,950	100	2,652,340	7,270	2,689,290	7,370	
豊平川 水再生プラザ	61,621,650	168,830	1,024,980	2,810	5,414,130	14,830	55,182,540	151,190	60,596,670	166,020	
第1処理 施設	33,945,700	93,000	708,000	1,940	2,540,570	6,960	30,697,130	84,100	33,237,700	91,060	
第2処理 施設	27,675,950	75,830	316,980	870	2,873,560	7,870	24,485,410	67,090	27,358,970	74,960	
厚別 水再生プラザ	37,781,860	103,510	0	0	442,760	1,210	37,339,100	102,300	37,781,860	103,510	
定山溪 水再生プラザ	2,576,090	7,060	0	0	0	0	2,576,090	7,060	2,576,090	7,060	
東部 水再生プラザ (高度処理水)	11,104,750	30,420	0	0	560	0	11,104,190	30,420	11,104,750	30,420	
新川 水再生プラザ	67,909,640	186,050	1,378,830	3,780	2,502,110	6,860	64,028,700	175,410	66,530,810	182,270	
第1処理 施設	35,291,440	96,690	1,378,830	3,780	453,210	1,240	33,459,400	91,670	33,912,610	92,910	
第2処理 施設	32,618,200	89,360	0	0	2,048,900	5,620	30,569,300	83,740	32,618,200	89,360	
手稲 水再生プラザ	80,020,160	219,230	588,010	1,610	11,092,540	30,390	68,339,610	187,230	79,432,150	217,620	
札幌市分	77,788,990	213,120	588,010	1,610	11,092,540	30,390	66,108,440	181,120	77,200,980	211,510	
石狩市分	2,231,170	6,110	0	0	0	0	2,231,170	6,110	2,231,170	6,110	
合計	札幌+石狩	358,979,370	983,510	5,596,830	15,330	25,597,290	70,130	327,785,250	898,040	353,382,540	968,170
	札幌市分	354,058,910	970,020	5,596,830	15,330	25,560,340	70,030	322,901,740	884,660	348,462,080	954,690

* 年間降水量:1028.5 mm

区分 施設名	晴天時汚水量 (m ³)		処理雨水量 (m ³)		沈砂・スクリーンかす (m ³)					
	年量	日量	年量	日量	沈砂量	スクリーンかす量			合計	
						水処理系	汚泥処理系	計		
創成川 水再生プラザ (高度処理水)	31,494,390	86,290	6,992,530	19,160	※ 398.5	73.4	145.6	219.0	617.5	
第1処理施設	16,374,490	44,860	3,043,320	8,340	-	-	-	-	-	
第2処理施設	15,119,900	41,430	3,949,210	10,820	-	-	-	-	-	
拓北 水再生プラザ	2,639,210	7,230	402,810	1,100	15.9	10.1	1.2	11.3	27.2	
伏古川 水再生プラザ (高度処理水)	11,561,740	31,680	4,419,740	12,110	86.9	105.3	-	105.3	192.2	
茨戸 水再生プラザ	25,665,570	70,320	12,184,220	33,380	107.8	40.4	104.3	144.7	252.5	
札幌市分	23,133,580	63,380	12,026,920	32,950	100.1	37.5	95.8	133.3	233.4	
石狩市分	2,531,990	6,940	157,300	430	7.7	2.9	8.5	11.4	19.1	
豊平川 水再生プラザ	48,616,020	133,190	11,980,650	32,830	537.9	109.3	479.8	589.1	1,127.0	
第1処理施設	27,372,540	74,990	5,865,160	16,070	311.7	47.7	-	47.7	-	
第2処理施設	21,243,480	58,200	6,115,490	16,760	226.2	61.6	-	61.6	-	
厚別 水再生プラザ	34,248,460	93,830	3,533,400	9,680	264.8	84.9	686.8	771.7	1,036.5	
定山溪 水再生プラザ	2,409,830	6,600	166,260	460	0.0	6.8	-	6.8	6.8	
東部 水再生プラザ (高度処理水)	10,351,460	28,360	753,290	2,060	64.9	7.4	-	7.4	72.3	
新川 水再生プラザ	54,052,100	148,090	12,478,710	34,180	379.0	114.8	747.1	861.9	1,240.9	
第1処理施設	28,614,830	78,400	5,297,780	14,510	207.0	54.6	-	54.6	261.6	
第2処理施設	25,437,270	69,690	7,180,930	19,670	172.0	60.2	-	60.2	232.2	
手稲 水再生プラザ	59,670,620	163,480	19,761,530	54,140	186.3	101.1	310.6	411.7	598.0	
札幌市分	57,439,450	157,370	19,761,530	54,140	181.1	98.3	299.5	397.8	578.9	
石狩市分	2,231,170	6,110	0	0	5.2	2.8	11.1	13.9	19.1	
合計	札幌+石狩	280,709,400	769,070	72,673,140	199,100	2,042.0	653.5	2,475.4	3,128.9	5,170.9
	札幌市分	275,946,240	756,020	72,515,840	198,670	2,029.1	647.8	2,455.8	3,103.6	5,132.7

※ 創成川水再生プラザの沈砂量は工事分208m³を含む

(2) 汚泥処理等

区分 施設名	発生汚泥量				汚泥圧送（送泥）				
	初沈汚泥 (m ³)	余剰汚泥 (m ³)	合計 (m ³)	固形物量 (t)	汚泥量 (m ³)	固形物量 (t)	汚泥濃度 (%)	送泥先	
創成川 水再生プラザ	1,462,924	533,053	1,995,977	5,656.9	*1 658,886	6,678.2	1.0	新川	
拓北 水再生プラザ	27,748	64,376	92,124	537.7	98,746	537.7	0.5	創成川 茨戸	
伏古川 水再生プラザ	363,325	209,064	572,389	2,081.2	620,487	2,081.2	0.3	創成川	
茨戸 水再生プラザ	*2 760,835	354,941	1,115,776	4,649.5	*3 531,856	4,671.7	0.9	西部S C 拓北	
札幌市分	706,583	327,870	1,034,453	4,269.6	488,606	4,291.8	-		
石狩市分	54,252	27,071	81,323	379.9	43,250	379.9	-		
豊平川 水再生プラザ	2,640,357	1,103,966	3,744,323	9,090.9	1,074,357	9,090.9	0.8	東部S C	
厚別 水再生プラザ	707,476	643,013	1,350,489	7,144.4	1,048,527	7,144.4	0.7	東部S C	
定山溪 水再生プラザ	-	62,904	62,904	210.8	7,788	210.8	2.7	*4 西部S C 定山溪 脱水施設	
東部 水再生プラザ	185,283	218,136	403,419	2,313.4	406,900	2,313.4	0.6	東部S C	
新川 水再生プラザ	2,726,040	1,020,370	3,746,410	9,564.8	*5 2,084,582	17,818.4	0.9	西部S C	
手稲 水再生プラザ	1,382,087	1,153,606	2,535,693	11,037.1	1,042,764	11,037.1	1.1	西部S C	
札幌市分	1,343,266	1,115,943	2,459,209	10,641.3	1,005,370	10,641.3	-		
石狩市分	38,821	37,663	76,484	395.8	37,394	395.8	-		
合計	札幌 +石狩	10,256,075	5,363,429	15,619,504	52,286.7	西部S C *6 3,659,202 東部S C 2,529,784	西部S C *6 33,527.2 東部S C 18,548.7	-	-
	札幌市分	10,163,002	5,298,695	15,461,697	51,511.0	西部S C *6 3,578,558 東部S C 2,529,784	西部S C *6 32,751.5 東部S C 18,548.7	-	-

*1 創成川水再生プラザ圧送汚泥量には、伏古川水再生プラザ及び拓北水再生プラザからの受泥分を含む。

*2 茨戸水再生プラザ初沈汚泥量には、滞水池排泥量を含む。

*3 茨戸水再生プラザ圧送汚泥量には、拓北水再生プラザからの受泥分を含む。

*4 定山溪水再生プラザからの送泥は、バキューム車運搬によるもの。

*5 新川水再生プラザ送泥汚泥量には、創成系（創成川、伏古川水再生プラザ）からの受泥分を含む。

*6 汚泥圧送の合計（西部S C）には、定山溪水再生プラザ分は含まない。

(3) 脱水汚泥量等

施設名	区分	処理汚泥（脱水機供給）			脱水汚泥		
		汚泥量 (m ³)	処理固形物量 (t)	濃縮汚泥濃度 (%)	汚泥量 (t)	純固形物量* (t)	含水率 (%)
西部 スラッジセンター		1,098,243	33,527.2	3.1	134,421.70	32,969.3	74.8
	札幌市分	1,072,834	32,751.5	-	131,311.66	32,206.5	-
	石狩市分	25,409	775.7	-	3,110.04	762.8	-
東部 スラッジセンター		633,980	18,548.7	2.9	69,010.72	18,274.1	75.2
西部 S C 定山溪脱水施設		8,590	210.8	2.5	1,195.26	205.3	74.1
合計	札幌 +石狩	1,740,813	52,286.7	-	204,627.68	51,448.7	-
	札幌市分	1,715,404	51,511.0	-	201,517.64	50,685.9	-

* 純固形物量は、添加薬品分を除いた固形物量

(4) 焼却量等

施設名	区分	焼却量 (t)				調査・その他 脱水汚泥 (t)	焼却灰 発生量 (t)	
		脱水汚泥			スクリーン かす等*			合計
		西部 S C	東部 S C	その他				
西部 スラッジセンター		134,360.91	4,577.36	105.70	2,480.51	141,524.48	0.00	
	札幌市分	131,250.87	4,577.36	0.00	2,460.87	138,289.10	0.00	
	石狩市分	3,110.04	0.00	105.70	19.64	3,235.38	0.00	
東部 スラッジセンター		60.79	64,433.36	0.00	202.30	64,696.45	0.00	
合計	札幌 +石狩	134,421.70	69,010.72	105.70	2,682.81	206,220.93	0.00	
	札幌市分	131,311.66	69,010.72	0.00	2,663.17	202,985.55	0.00	

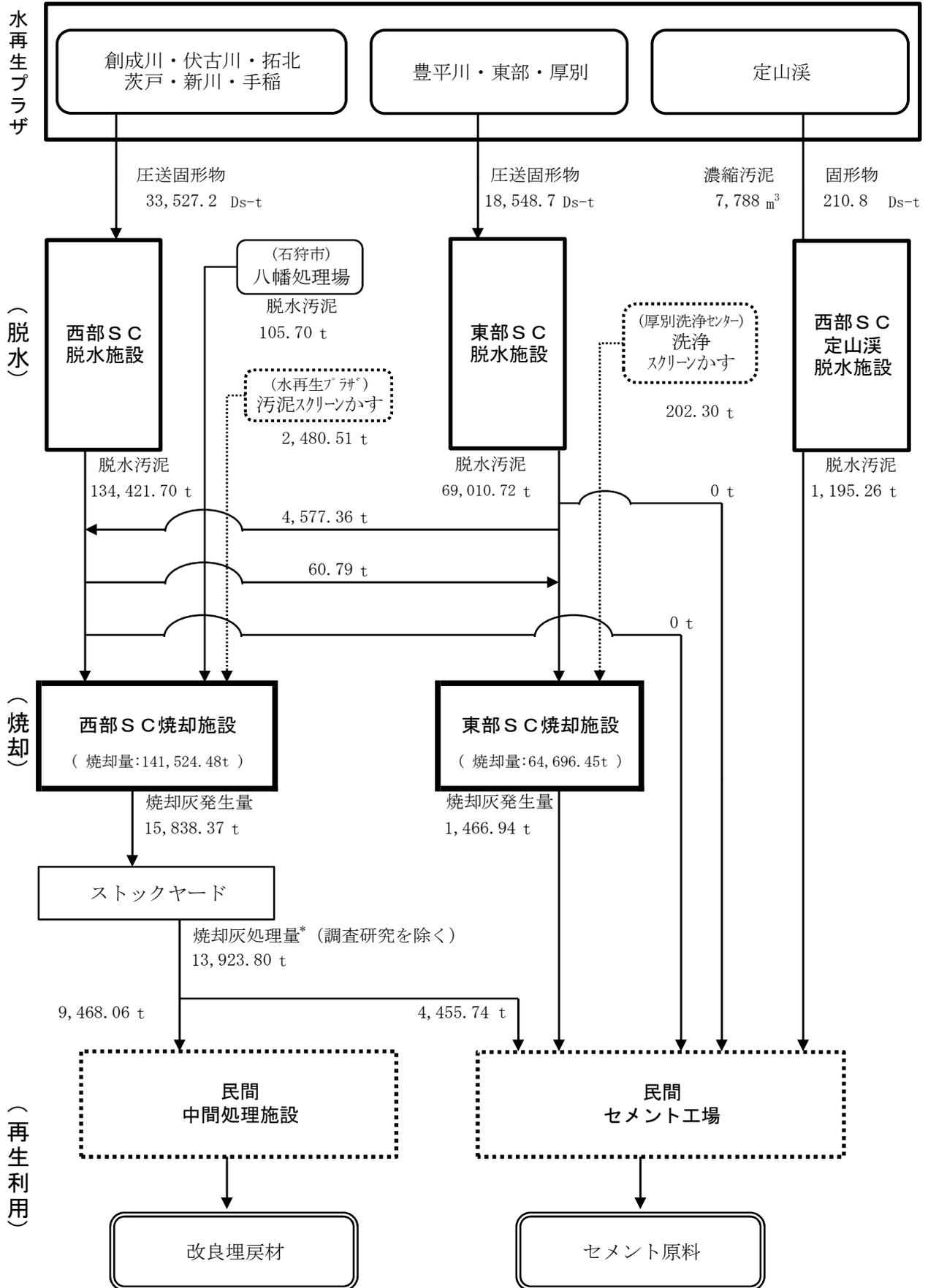
* スクリーンかす及び洗砂（スラッジセンター焼却分）

(5) 焼却灰等の再生利用・処分

施設名	処理量 (t)	再生利用 (t)				最終処分 (t) (埋立)
		改良埋戻材	セメント化	調査研究		
西部 スラッジセンター 【焼却灰】	*13,923.84	13,923.84	9,468.06	4,455.74	0.04	0.00
東部 スラッジセンター 【焼却灰】	1,466.94	1,466.94	0.00	1,466.94	0.00	0.00
西部 スラッジセンター 【脱水汚泥】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
東部 スラッジセンター 【脱水汚泥】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
西部 S C 定山溪脱水施設 【脱水汚泥】	1,195.26	1,195.26	0.00	1,195.26	0.00	0.00

* 西部スラッジセンター焼却灰処理量＝ストックヤード搬出量（当年度発生量＋前年度繰越分－翌年度繰越分）

汚泥処理フロー



* 西部スラッジセンター焼却灰処理量=ストックヤード搬出量 (当年度発生量+前年度繰越分-翌年度繰越分)

(6) 処理水のアメニティ事業、雪対策への利用

施設名	目的	用途	供給日数 (準備期間も含む)	水量 (m ³)	
				年量	日量 ^{*1}
創成川	高度処理水 (砂ろ過水)	—	通年	26,007,330	71,250
	アメニティ・雪対策事業	—	—	12,644,720	34,640
	安春川せせらぎ ^{*2}	河川送水	192 (5/9~11/16)	1,094,150	5,700
	屯田地区せせらぎ (4か所)	河川送水	192 (5/9~11/16)	4,247,210	22,120
	安春川流雪溝	雪対策	136 (11/16~3/31)	1,281,780	9,420
	新琴似流雪溝	雪対策	118 (11/16~3/13)	2,269,610	19,230
	創成川融雪管	雪対策	121 (11/10~3/13)	3,751,970	31,010
	道路清掃用 ^{*3}	道路清掃	0	0	0
	創成東流雪溝 ^{*4}	雪対策	116 (11/18~3/13)	2,861,300	24,670
	新琴似北流雪溝 ^{*4}	雪対策	118 (11/16~3/13)	1,947,790	16,510
伏古川	伏古川融雪管 (高度処理水)	雪対策	78 (12/19~3/6)	2,446,820	31,370
豊平川	北郷流雪溝 (二次処理水)	雪対策	126 (11/18~3/23)	1,875,860	14,890
厚別	厚別融雪槽 (二次処理水)	雪対策	85 (12/19~3/13)	8,321,190	97,900
東部	白石清掃工場 (高度処理水)	再利用水	50 (4/1~3/31)	1,603	30
新川	発寒流雪溝 (二次処理水)	雪対策	105 (11/17~3/13)	1,603,670	15,270
	琴似流雪溝 (二次処理水)	雪対策	105 (11/17~3/13)	1,702,590	16,220
	新川融雪槽 (二次処理水)	雪対策	68 (12/15~3/17)	2,763,680	40,640
合計	処理水の有効利用 ^{*5}			31,360,133	—
	アメニティ事業 (せせらぎ用水)			5,341,360	—
	雪対策事業 ^{*6}			26,017,170 (30,826,260)	—
	その他			1,603	—

*1 各日量は、年量を供給日数で除して算出

*2 安春川せせらぎには、切り替え期間 (雪対策→せせらぎ) の水量を含む。

*3 道路清掃用供給日数は実際に供給を行った延べ日数

*4 創成東・新琴似北流雪溝用水は融雪管に送水された高度処理水を循環させたもの。

*5 雪対策事業の循環利用分 (創成東・新琴似北流雪溝用水) は含まない。

*6 () 内の数値は、循環利用分を含む。

(7) 水質検査結果等

水質運転管理状況

区分 水再生 プラザ名		最 初 沈 殿 池			反 応 タ ン ク				
		沈殿時間 (h)	水 面 積 負 荷 ($\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$)	せき負荷 ($\text{m}^3/\text{m} \cdot \text{日}$)	滞留時間 (返送含む) (h)	HRT (h)	空気倍率 (倍)	BOD-SS 負 荷 ($\text{kg}/\text{kg} \cdot \text{日}$)	BOD容積 負 荷 ($\text{kg}/\text{m}^3 \cdot \text{日}$)
創成川	第1	1.5	42	306	6.9	9.8	9.0	0.17	0.32
	第2	3.4	27	135	5.3	7.8	6.2	0.16	0.27
拓 北		1.1	75	202	10.7	16.5	7.0	0.11	0.16
伏古川		3.7	21	89	8.1	11.8	4.6	0.11	0.21
茨戸		3.2	34	154	5.2	8.0	3.4	0.10	0.22
豊平川	第1	2.3	35	128	5.0	9.0	3.2	0.12	0.24
	第2	2.5	40	120	4.5	8.6	3.9	0.14	0.31
厚 別		2.2	27	131	4.2	7.7	7.2	0.13	0.32
定山溪		—	—	—	3.1	4.7	1.9	0.12	0.17
東 部		2.4	31	187	9.8	14.5	4.6	0.16	0.26
新 川	第1	1.8	36	159	6.3	10.9	6.3	0.13	0.21
	第2	2.0	50	174	5.4	9.1	2.8	0.16	0.27
手 稻		2.2	50	108	4.5	7.3	4.6	0.21	0.42

区分 水再生 プラザ名		反 応 タ ン ク					最 終 沈 殿 池		
		返 送 率 (%)	汚 泥 日 令 (日)	MLSS (mg/L)	SVI (-)	MLVSS /MLSS (%)	沈 殿 時 間 (h)	水 面 積 負 荷 (m ³ /m ² ・日)	せ き 負 荷 (m ³ /m・日)
創 成 川	第 1	42	12.1	1,910	145	82	4.1	18	82
	第 2	47	12.2	1,760	129	82	3.5	22	105
拓 北		55	21.2	1,430	132	83	6.8	11	55
伏 古 川		46	15.6	1,900	148	78	3.6	24	89
茨 戸		54	17.5	2,240	108	73	3.9	22	106
豊 平 川	第 1	81	23.4	2,010	266	87	3.0	24	72
	第 2	89	18.3	2,230	247	85	3.6	22	74
厚 別		84	13.9	2,410	144	85	3.4	23	89
定 山 溪		52	8.7	1,430	137	51	3.9	18	56
東 部		48	15.9	1,610	209	82	7.4	12	71
新 川	第 1	71	18.0	1,720	152	86	3.7	20	107
	第 2	69	13.5	1,780	145	87	3.4	25	82
手 稻		64	6.8	1,960	101	77	3.1	28	112

水質検査結果—その1 (季節別)

検体・項目 水再生プラザ名		流入水					初沈出水				
		水温 (°C)	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	水温 (°C)	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)
創成川 第1 処理施設	春	15.3	7.4	170	170	15	15.5	7.1	150	100	15
	夏	21.9	7.5	150	110	18	21.9	7.1	130	63	17
	秋	20.3	7.4	170	150	19	20.6	7.0	130	58	19
	冬	14.5	7.6	160	140	17	15.0	7.2	130	62	16
	年間平均	18.0	7.5	160	140	17	18.2	7.1	140	71	17
創成川 第2 処理施設	春	15.3	7.4	190	200	16	15.0	7.3	77	51	16
	夏	21.9	7.5	160	170	18	21.8	7.2	81	47	17
	秋	21.0	7.5	160	200	19	20.7	7.3	81	43	19
	冬	14.9	7.5	170	140	18	14.8	7.3	97	49	17
	年間平均	18.3	7.5	170	180	18	18.1	7.3	84	48	17
拓北	春	14.6	7.5	150	150	16	14.4	7.5	110	44	15
	夏	21.3	7.5	170	180	17	21.2	7.5	100	46	17
	秋	20.7	7.6	190	170	19	20.7	7.5	110	46	19
	冬	15.0	7.8	190	170	20	14.9	7.6	120	52	20
	年間平均	17.9	7.6	170	170	18	17.8	7.5	110	47	18
伏古川	春	14.2	7.0	190	160	14	13.7	7.0	120	73	14
	夏	20.6	6.9	170	160	15	20.4	6.9	120	64	16
	秋	19.3	7.0	150	160	15	19.1	7.0	110	60	17
	冬	12.9	7.1	150	150	18	12.9	7.0	99	70	16
	年間平均	16.8	7.0	160	160	15	16.5	7.0	110	67	16
茨戸	春	11.9	7.3	120	120	14	13.5	7.2	68	43	14
	夏	18.0	7.2	120	130	14	19.4	7.1	70	55	13
	秋	17.0	7.2	120	120	14	18.4	7.2	80	49	15
	冬	11.9	7.3	140	120	16	13.7	7.2	88	46	15
	年間平均	14.7	7.3	120	120	14	16.3	7.2	77	48	14
豊平川 第1 処理施設	春	14.0	7.5	170	190	19	13.3	7.3	90	35	19
	夏	20.5	7.5	180	220	20	20.0	7.3	89	35	19
	秋	19.1	7.4	170	210	20	18.7	7.1	82	29	20
	冬	13.7	7.5	190	210	22	13.4	7.2	100	44	21
	年間平均	16.8	7.5	180	210	20	16.4	7.2	91	36	20
豊平川 第2 処理施設	春	14.7	7.5	240	370	19	14.3	7.4	120	48	20
	夏	21.0	7.6	230	350	24	20.6	7.6	110	48	21
	秋	20.0	7.6	190	280	20	19.7	7.5	110	47	21
	冬	14.3	7.6	250	320	21	14.0	7.4	110	48	22
	年間平均	17.5	7.6	230	330	21	17.2	7.5	110	48	21

1 季節の区分は次による。 春： 3-5月 夏： 6-8月 秋： 9-11月 冬： 12-2月

2 検査結果値は、水温、pH、大腸菌群数はスポット値、それ以外は1日のコンポジット値。平均値は年間単純平均

3 創成川水再生プラザ第1処理施設の放流水は高度処理水でコンポジットデータ、
第2処理施設の放流水は高度処理水+一部終沈出水でスポットデータ

検体・項目 水再生プラザ名		終 沈 出 水							放 流 水			
		水温 (°C)	pH	BOD(mg/L)		SS (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	大腸菌 群数 (個/cm ³)	T-BOD (mg/L)	SS (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	大腸菌 群数 (個/cm ³)
				T-BOD	C-BOD							
創成川 第1 処理施設	春	16.3	6.7	10	7.3	14	0.7	120	2.7	<2	0.3	24
	夏	23.3	6.6	7.2	4.4	8	0.6	220	2.7	<2	0.4	310
	秋	21.4	6.7	8.5	5.6	8	0.9	570	2.3	<2	0.3	75
	冬	15.5	6.7	11	6.8	12	0.7	290	3.0	<2	0.4	40
	年間平均	19.1	6.7	9.3	6.0	10	0.7	300	2.7	<2	0.4	120
創成川 第2 処理施設	春	15.1	6.5	7.0	4.0	9	0.5	110	2.2	2	0.2	24
	夏	22.0	6.4	4.6	2.8	5	0.4	460	2.3	<2	<0.1	53
	秋	20.7	6.6	6.6	3.7	5	0.6	970	2.9	<2	0.1	350
	冬	15.3	6.7	5.9	3.2	4	0.5	470	1.7	<2	<0.1	38
	年間平均	18.3	6.6	6.0	3.4	6	0.5	510	2.3	<2	<0.1	120
拓 北	春	15.3	6.6	3.6	2.5	2	0.2	86	3.3	3	0.2	75
	夏	22.2	6.7	1.8	1.5	<2	<0.1	350	2.2	<2	<0.1	110
	秋	21.3	6.7	1.3	1.1	<2	0.1	190	1.5	<2	0.1	89
	冬	15.9	6.6	2.6	2.1	<2	0.1	95	2.1	<2	0.1	25
	年間平均	18.7	6.7	2.3	1.8	<2	0.1	180	2.3	<2	0.1	74
伏古川	春	14.7	6.9	3.7	1.7	2	0.4	200	1.6	2	0.4	0
	夏	21.3	6.9	2.7	1.4	2	<0.1	480	1.7	3	<0.1	1
	秋	20.3	7.0	1.6	1.1	2	<0.1	320	1.6	<2	<0.1	0
	冬	14.0	6.8	2.8	1.7	<2	0.1	110	1.7	<2	0.1	0
	年間平均	17.6	6.9	2.7	1.5	2	0.1	280	1.6	<2	0.1	0
茨 戸	春	12.9	6.7	3.2	2.6	4	<0.1	87	3.4	3	<0.1	3
	夏	19.2	6.7	2.1	1.6	2	0.2	210	2.7	2	0.3	6
	秋	18.3	6.7	3.3	1.5	<2	0.3	270	3.7	<2	0.4	100
	冬	12.7	6.8	4.7	3.0	5	0.4	95	4.4	4	0.4	31
	年間平均	15.8	6.7	3.3	2.2	3	0.2	170	3.6	3	0.3	36
豊平川 第1 処理施設	春	14.8	6.2	22	11	6	3.7	1,300	11	14	2.2	1,000
	夏	21.0	6.1	15	7.1	8	1.1	900	7.6	6	0.4	1,000
	秋	19.9	6.2	13	5.8	15	0.9	590	7.9	11	0.5	490
	冬	15.0	6.1	31	16	49	1.2	410	12	15	0.5	320
	年間平均	17.7	6.1	21	10	20	1.7	790	9.7	11	0.9	710
豊平川 第2 処理施設	春	15.5	6.4	11	3.8	6	1.7	910	5.8	4	0.5	620
	夏	21.8	6.5	9.0	4.3	3	1.1	1,100	4.7	3	0.2	990
	秋	20.8	6.5	8.6	3.1	5	1.1	490	4.2	4	0.8	490
	冬	14.8	6.4	8.3	3.0	4	0.8	600	4.8	5	0.1	590
	年間平均	18.2	6.5	9.1	3.6	4	1.2	770	4.9	3	0.3	680

1 季節の区分は次による。 春： 3-5月 夏： 6-8月 秋： 9-11月 冬： 12-2月

2 検査結果値は、水温、pH、大腸菌群数はスポット値、それ以外は1日のコンポジット値。平均値は年間単純平均

3 創成川水再生プラザ第1処理施設の放流水は高度処理水でコンポジットデータ、
第2処理施設の放流水は高度処理水+一部終沈出水でスポットデータ

水質検査結果—その2（季節別）

検体・項目 水再生プラザ名	流入水					初沈出水					
	水温 (°C)	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	水温 (°C)	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	
厚別	春	15.2	7.3	200	200	19	14.7	7.1	93	63	21
	夏	20.5	7.3	270	270	20	20.3	7.1	110	68	21
	秋	20.0	7.3	210	220	21	19.7	7.1	95	53	21
	冬	14.6	7.4	240	250	23	15.1	7.1	100	53	23
	年間平均	17.6	7.3	230	240	21	17.5	7.1	100	59	22
定山溪	春	28.4	7.6	28	33	1.7	—	—	—	—	—
	夏	34.7	7.7	32	36	2.4	—	—	—	—	—
	秋	32.3	7.8	30	37	2.6	—	—	—	—	—
	冬	27.6	7.7	42	42	2.7	—	—	—	—	—
	年間平均	30.8	7.7	33	37	2.3	—	—	—	—	—
東部	春	17.8	7.0	320	230	19	18.7	6.9	140	54	19
	夏	23.1	6.8	370	300	21	23.8	6.8	180	75	21
	秋	22.6	6.9	320	250	19	23.0	6.8	160	66	20
	冬	18.2	7.0	390	240	21	18.4	7.0	160	63	21
	年間平均	20.4	6.9	350	260	20	21.0	6.9	160	64	20
新川 第1 処理施設	春	15.3	7.5	170	210	17	14.5	7.4	89	50	17
	夏	21.4	7.5	190	170	19	20.6	7.4	100	54	19
	秋	19.8	7.6	190	170	18	19.7	7.5	110	43	20
	冬	14.7	7.7	200	170	19	14.7	7.5	100	48	20
	年間平均	17.8	7.6	190	180	18	17.4	7.4	100	49	19
新川 第2 処理施設	春	14.6	7.5	160	180	13	14.2	7.3	97	54	13
	夏	21.0	7.5	220	230	17	20.8	7.2	100	55	17
	秋	20.0	7.6	190	180	16	19.6	7.3	120	74	16
	冬	14.3	7.5	190	170	17	14.1	7.4	99	55	17
	年間平均	17.5	7.5	190	190	16	17.2	7.3	100	59	16
手稲	春	15.0	7.6	170	200	18	14.7	7.4	120	110	18
	夏	20.7	7.2	200	180	21	21.4	7.3	150	110	20
	秋	19.8	7.4	160	140	18	20.1	7.4	120	97	17
	冬	14.9	7.5	170	140	20	15.1	7.5	150	97	19
	年間平均	17.6	7.4	170	160	19	17.8	7.4	130	100	19
全施設の平均	18.6	7.4	180	180	17	17.6	7.2	110	58	18	

1 季節の区分は次による。 春： 3-5月 夏： 6-8月 秋： 9-11月 冬： 12-2月

2 検査結果値は、水温、pH、大腸菌群数はスポット値、それ以外は1日のコンポジット値。平均値は年間単純平均

検体・項目 水再生プラザ名		終 沈 出 水							放 流 水			
		水温 (°C)	pH	BOD(mg/L)		S S (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	大腸菌 群 数 (個/cm ³)	T-BOD (mg/L)	S S (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	大腸菌 群 数 (個/cm ³)
				T-BOD	C-BOD							
厚 別	春	16.0	6.5	7.6	2.7	3	0.9	200	6.9	4	1.0	83
	夏	21.7	6.5	10	3.6	5	1.4	710	6.2	4	1.4	140
	秋	20.8	6.4	8.5	2.8	4	1.2	280	4.9	3	1.2	27
	冬	15.7	6.4	7.1	2.7	2	1.0	220	6.7	4	0.8	49
	年間平均	18.6	6.5	8.4	2.9	4	1.1	350	6.2	4	1.1	76
定 山 溪	春	30.3	6.8	2.5	—	3	<0.1	320	2.5	3	<0.1	0
	夏	35.7	6.9	1.5	—	<2	<0.1	450	1.5	<2	<0.1	3
	秋	33.8	6.9	1.1	—	<2	<0.1	380	1.1	<2	<0.1	1
	冬	30.5	6.8	1.4	—	2	<0.1	360	1.4	2	<0.1	1
	年間平均	32.6	6.9	1.6	—	<2	<0.1	380	1.6	<2	<0.1	1
東 部	春	19.7	6.3	2.6	2.0	<2	<0.1	560	2.6	<2	<0.1	240
	夏	25.1	6.4	6.2	3.8	3	0.5	1,800	5.0	3	0.6	950
	秋	25.4	6.4	4.5	3.7	<2	0.2	430	3.9	<2	0.2	310
	冬	21.1	6.3	2.7	2.1	<2	<0.1	290	2.9	2	<0.1	180
	年間平均	22.8	6.3	4.0	2.9	<2	0.2	770	3.6	<2	0.2	420
新 川 第 1 処理施設	春	15.5	6.5	8.3	3.9	6	0.9	340	8.1	6	0.9	40
	夏	21.5	6.4	9.4	4.3	8	1.0	770	9.0	8	1.0	10
	秋	20.0	6.5	6.6	2.8	5	0.8	510	7.9	5	0.8	150
	冬	15.1	6.5	8.6	3.8	5	1.1	470	9.0	5	1.1	320
	年間平均	18.0	6.5	8.2	3.7	6	0.9	520	8.5	6	0.9	130
新 川 第 2 処理施設	春	14.8	6.3	7.8	4.0	5	0.9	400	7.8	5	0.9	40
	夏	21.1	6.2	5.6	3.4	6	0.7	940	4.7	6	0.7	0
	秋	20.2	6.4	5.8	2.6	4	0.9	900	6.1	4	0.9	80
	冬	14.1	6.4	8.3	3.2	4	1.4	780	8.5	4	1.4	230
	年間平均	17.5	6.3	6.9	3.3	5	1.0	750	6.8	5	1.0	88
手 稲	春	15.2	6.5	6.9	4.4	5	0.7	190	5.2	5	0.7	20
	夏	21.9	6.6	6.5	4.7	5	0.4	680	5.4	5	0.4	50
	秋	20.1	6.7	4.7	3.0	3	0.2	520	4.6	3	0.2	170
	冬	14.4	6.7	7.5	4.6	5	0.7	340	7.0	5	0.7	280
	年間平均	17.9	6.6	6.4	4.2	5	0.5	430	5.6	5	0.5	130
全施設の平均		19.4	6.6	6.9	3.8	5	0.6	480	4.6	3	0.4	200

1 季節の区分は次による。 春： 3-5月 夏： 6-8月 秋： 9-11月 冬： 12-2月

2 検査結果値は、水温、pH、大腸菌群数はスポット値、それ以外は1日のコンポジット値。平均値は年間単純平均

(8) 揚水量等の実績

区分 ポンプ場名	総揚水量 (m^3)		雨水放流量 (m^3) (雨水ポンプ揚水)		
	年量	日量	年量	日量	
茨戸中部	33,725,130	92,400	1,672,590	4,580	
茨戸東部	12,916,890	35,390	1,105,240	3,030	
東雁来雨水	247,750	680	219,630	600	
伏古川雨水	590,780	1,620	537,090	1,470	
豊平川	902,690	2,470	864,200	2,370	
米里	1,561,860	4,280	169,330	460	
月寒川雨水	18,940	50	18,940	50	
野津幌川雨水	1,744,020	4,780	675,980	1,850	
川北	1,437,380	3,940	398,760	1,090	
厚別川雨水	1,802,210	4,940	1,082,600	2,970	
定山溪	1,161,900	3,180	0	0	
藤野	491,420	1,350	0	0	
簾舞	380,550	1,040	0	0	
藻岩下第2	51,190	140	0	0	
手稲	43,853,460	120,150	2,311,140	6,330	
札幌分	41,622,290	114,040	2,311,140	6,330	
石狩分	2,231,170	6,110	0	0	
茨戸西部	19,827,550	54,320	2,026,310	5,550	
合計	札幌+石狩	120,713,720	330,720	11,081,810	30,360
	札幌市分	118,482,550	324,610	11,081,810	30,360

区分 ポンプ 場名	送 水 量 (m ³)						沈 砂 量 スクリーンかす量			
	汚水量(晴天時)		雨 水 量		計		(m ³)			
	年 量	日 量	年 量	日 量	年 量	日 量	沈砂	スクリーン かす	計	
茨戸中部	20,590,120	56,410	11,462,420	31,410	32,052,540	87,820	224.9	36.3	261.2	
茨戸東部	7,119,260	19,500	4,692,390	12,860	11,811,650	32,360	68.3	10.7	79.0	
東雁来雨水	0	0	28,120	80	28,120	80	11.2	0.0	11.2	
伏古川雨水	0	0	53,690	150	53,690	150	36.8	0.0	36.8	
豊平川	0	0	38,490	100	38,490	100	5.3	0.2	5.5	
米里	767,410	2,100	625,120	1,720	1,392,530	3,820	17.5	3.0	20.5	
月寒川雨水	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
野津幌川 雨水	0	0	1,068,040	2,930	1,068,040	2,930	19.9	0.0	19.9	
川北	474,860	1,300	563,760	1,550	1,038,620	2,850	4.8	0.0	4.8	
厚別川雨水	0	0	719,610	1,970	719,610	1,970	19.6	0.0	19.6	
定山溪	1,116,910	3,060	44,990	120	1,161,900	3,180	0.0	0.0	0.0	
藤野	415,610	1,140	75,810	210	491,420	1,350	0.0	0.0	0.0	
簾舞	294,460	810	86,090	230	380,550	1,040	0.0	0.0	0.0	
藻岩下第2	21,900	60	29,290	80	51,190	140	0.0	0.0	0.0	
手稲	28,983,580	79,410	12,558,740	34,410	41,542,320	113,820	214.9	61.3	276.2	
札幌市分	26,752,410	73,290	12,558,740	34,410	39,311,150	107,700	-	-	-	
石狩市分	2,231,170	6,120	0	0	2,231,170	6,120	-	-	-	
茨戸西部	12,533,350	34,340	5,267,890	14,430	17,801,240	48,770	82.2	21.9	104.1	
合計	札幌+ 石狩	72,317,460	198,130	37,314,450	102,230	109,631,910	300,360	705.4	133.4	838.8
	札幌市分	70,086,290	192,020	37,314,450	102,230	107,400,740	294,250			

(9) 主要機器の運転時間

(単位：時間/年)

ポンプ場名	機器 汚水ポンプ	雨水ポンプ				自動バースクリーン		沈砂掻揚機		自家発電機	
		電動		エンジン		汚水	雨水	汚水	雨水	試運転	実運転
		試運転	実運転	試運転	実運転						
茨戸部 中	8,970.8	0.0	72.5	11.6	33.9	細目 809.8	細目 389.9	1,077.2	78.5	2.3	3.5
茨戸部 東	7,002.5	0.0	78.6	12.3	44.6	細目 587.2	細目 259.0	597.4	42.4	3.8	0.0
東雁来 雨水	—	0.6	20.4	9.1	9.1	—	細目 70.9	—	(真) 88.6	3.1	0.0
伏古川 雨水	—	0.0	197.8	16.5	36.2	—	細目 280.7	—	575.0	3.9	0.0
豊平川	396.7	0.0	4.3	17.3	122.7	—	細目 251.2	—	(混) 132.0	6.3	0.0
米里	5,091.3	0.0	42.0	12.0	22.2	細目 368.5	細目 178.1	368.5	356.3	2.3	0.3
月寒川 雨水	—	—	—	9.6	5.5	—	5.5	—	—	0.5	0.1
野津幌川 雨水	—	0.0	92.1	8.7	40.7	—	粗目 375.8 細目 376.9	—	766.6	—	—
川北	3,551.0	0.0	48.3	—	—	—	粗目 156.0 細目 155.6	—	155.9	4.7	2.1
厚別川 雨水	—	0.0	165.5	5.3	38.6	—	粗目 450.8 細目 451.0	—	204.8	1.2	0.0
定山溪	7,273.4	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	2.2
藤野	1,604.5	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	0.3
簾舞	850.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	0.0
藻岩下 第2	587.7	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	0.0
手稲	8,903.5	—	—	12.3	59.8	細目 1,495.6	細目 78.6	794.4	11.7	4.0	0.0
茨戸部 西	9,591.2	0.0	197.6	13.8	53.5	細目 1,653.9	細目 384.1	2,143.2	—	6.0	0.0

※ 沈砂掻揚機の欄中の(真)は真空揚砂装置の、(混)は混気ジェットポンプの運転時間を示す。

7 管路管理実績調

(1) 管理区域

センター名	所在地	所管区域
東部下水管理センター	白石区本通20丁目北2番11号	白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区
西部下水管理センター	西区八軒9条西7丁目1番30号	中央区、北区、東区、西区、手稲区

(2) 管路施設の規模

項目	単位	数	量
管路管理延長	km	8,309.0	
管理(処理)面積	ha	24,796	
マンホール	か所	217,025	
内 訳	一般人孔	か所	216,514
	雨水吐室	か所	274
	分水人孔	か所	145
	マンホールポンプ人孔	か所	92
公共汚水ます	か所	368,004	
公共宅地雨水ます	か所	71,590	
吐口	か所	487	
河川横断制水ゲート	か所	21	

(3) 業務実績

項目	単位	管路保全課	東部下水管理センター	西部下水管理センター	計	
		数 量				
本管簡易調査(目視)	m	—	906,105	745,624	1,651,729	
本管詳細調査(テレビカメラ)	m	219,810	—	—	219,810	
管路清掃	m	—	29,910	26,567	56,477	
市民要望対応	平常時対応	件	—	1,700	2,124	3,824
	災害時対応	件	—	5	7	12
	計	件	0	1,705	2,131	3,836
修繕	本管	か所	1,375	6	5	1,386
	マンホール	か所	—	448	336	784
	公共ます取付管	か所	—	601	868	1,469
	吐口	か所	—	—	—	0
	計	か所	1,375	1,055	1,209	3,639

8 決算状況調

(1) 処理区分別決算内訳

(単位：円)

項目	処理場費							
	管理費	水処理費	汚泥処理 処分費	小計*1	比率	高度 処理費	アメニティ費	雪対策費
職員数	35人	131人	5人	171人		1人	0人	0人
報酬	7,558,140	0	0	7,558,140	0.1%	0	0	0
給料	127,174,853	461,125,526	17,621,940	605,922,319	5.2%	3,612,654	0	0
手当等*2	73,304,641	302,762,058	10,121,476	386,188,175	3.3%	2,140,865	0	0
法定福利費*2	43,799,595	156,574,966	5,989,988	206,364,549	1.8%	1,246,106	0	0
人件費計	251,837,229	920,462,550	33,733,404	1,206,033,183	10.4%	6,999,625	0	0
旅費	354,020	0	0	354,020	0.0%	0	0	0
報償費	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
被服費	3,396,140	0	0	3,396,140	0.0%	0	0	0
備消耗品費	12,361,184	12,881,780	0	25,242,964	0.2%	0	0	0
光熱水費	230,097,631	0	0	230,097,631	2.0%	0	0	2,698,036
印刷製本費	103,400	0	0	103,400	0.0%	0	0	0
通信運搬費	8,615,080	0	0	8,615,080	0.1%	0	0	0
賃借料	10,144,646	0	0	10,144,646	0.1%	0	0	0
手数料	1,361,463	0	0	1,361,463	0.0%	0	0	0
委託料	328,458,195	1,394,679,161	3,065,834,127	4,788,971,483	41.3%	0	0	3,357,603
修繕費	375,472,238	1,044,734,720	60,288,250	1,480,495,208	12.8%	0	0	19,270,818
広告宣伝費	18,150	0	0	18,150	0.0%	0	0	0
動力費	0	2,645,357,352	1,024,869,120	3,670,226,472	31.6%	64,756,418	7,143,039	76,729,285
研修費	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
補償費	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
薬品費	3,449,292	132,354,565	0	135,803,857	1.2%	0	2,925,523	0
損害保険料	509,461	0	0	509,461	0.0%	0	0	0
負担金	1,835,688	0	0	1,835,688	0.0%	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
燃料費	38,705,647	0	0	38,705,647	0.3%	0	0	0
自動車重量税	31,500	0	0	31,500	0.0%	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
経費計	1,014,913,735	5,230,007,578	4,150,991,497	10,395,912,810	89.6%	64,756,418	10,068,562	102,055,742
合計	1,266,750,964	6,150,470,128	4,184,724,901	11,601,945,993	100.0%	71,756,043	10,068,562	102,055,742
比率	10.4%	50.4%	34.3%	-	-	0.6%	0.1%	0.8%

*1 西部・東部スラッジセンター、厚別洗浄センター、手稲沈砂洗浄センター、埋立施設に係る経費を含む。

*2 手当等及び法定福利費は、実際の支給額で計上。

(単位：円)

項目	処 理 場 費			ポ ン プ 場 費				合 計	
	間 接 事 業 ^{*3}	合 計	比 率	管 理 費	水 処 理 費	計	比 率	計	比 率
職 員 数	43 人	215 人	-	0 人	11 人	11 人	-	226 人	-
報 酬	1,511,628	9,069,768	0.0%	0	0	0	0.0%	9,069,768	0.1%
給 料	161,107,960	770,642,933	6.3%	0	45,229,940	45,229,940	4.4%	815,872,873	6.2%
手 当 等 ^{*2}	110,029,817	498,358,857	4.1%	0	30,649,510	30,649,510	3.0%	529,008,367	4.0%
法定福利費 ^{*2}	57,322,315	264,932,970	2.2%	0	16,038,784	16,038,784	1.6%	280,971,754	2.1%
人 件 費 計	329,971,720	1,543,004,528	12.6%	0	91,918,234	91,918,234	9.0%	1,634,922,762	12.4%
旅 費	1,533,706	1,887,726	0.0%	0	0	0	0.0%	1,887,726	0.0%
報 償 費	53,454	53,454	0.0%	0	0	0	0.0%	53,454	0.0%
被 服 費	489,291	3,885,431	0.0%	0	0	0	0.0%	3,885,431	0.0%
備 消 耗 品 費	9,018,697	34,261,661	0.3%	0	0	0	0.0%	34,261,661	0.3%
光 熱 水 費	0	232,795,667	1.9%	66,000	0	66,000	0.0%	232,861,667	1.8%
印 刷 製 本 費	769,126	872,526	0.0%	0	0	0	0.0%	872,526	0.0%
通 信 運 搬 費	1,533,171	10,148,251	0.1%	2,999,500	0	2,999,500	0.3%	13,147,751	0.1%
賃 借 料	38,950,408	49,095,054	0.4%	0	0	0	0.0%	49,095,054	0.4%
手 数 料	415,969	1,777,432	0.0%	0	0	0	0.0%	1,777,432	0.0%
委 託 料	21,683,669	4,814,012,755	39.7%	0	44,444,089	44,444,089	4.4%	4,858,456,844	36.7%
修 繕 費	3,005,189	1,502,771,215	12.3%	123,189,825	401,110,094	524,299,919	51.5%	2,027,071,134	15.3%
広 告 宣 伝 費	0	18,150	0.0%	0	0	0	0.0%	18,150	0.0%
動 力 費	0	3,818,855,214	31.3%	0	354,729,885	354,729,885	34.8%	4,173,585,099	31.7%
研 修 費	2,923,830	2,923,830	0.0%	0	0	0	0.0%	2,923,830	0.0%
補 償 費	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%
薬 品 費	0	138,729,380	1.1%	0	0	0	0.0%	138,729,380	1.0%
損 害 保 険 料	2,364,235	2,873,696	0.0%	0	0	0	0.0%	2,873,696	0.0%
負 担 金	2,831,714	4,667,402	0.0%	0	0	0	0.0%	4,667,402	0.0%
会 議 費	10,000	10,000	0.0%	0	0	0	0.0%	10,000	0.0%
燃 料 費	1,626,817	40,332,464	0.3%	0	0	0	0.0%	40,332,464	0.3%
自 動 車 重 量 税	0	31,500	0.0%	0	0	0	0.0%	31,500	0.0%
雑 費	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%
経 費 計	87,209,276	10,660,002,808	87.4%	126,255,325	800,284,068	926,539,393	91.0%	11,586,542,201	87.6%
合 計	417,180,996	12,203,007,336	100.0%	126,255,325	892,202,302	1,018,457,627	100.0%	13,221,464,963	100.0%
比 率	3.4%	100.0%	-	12.4%	87.6%	100.0%	-	100.0%	-

*3 間接事業費は下水道計画課（事業推進部長を含む）、施設管理課、処理施設課（処理担当部長及び水質管理係含む。）及び施設保全課等に係る経費である。

(2) 処理単価

総費用単価、水処理単価

費用の区分	単価の区分	平均単価	水再生プラザ別										
			内 訳										
			創成川	拓北	伏古川	茨戸	豊平川	厚別	定山溪	東部	新川	手稲	
総費用	総流入下水道量 当たり単価 (円/m ³)	人件費	3.36	6.83	4.61	0.87	4.66	4.15	0.34	5.04	1.17	3.40	2.46
		経費	28.96	16.82	113.06	25.71	16.50	14.21	20.99	127.28	33.41	12.78	10.17
		計	32.32	23.65	117.67	26.58	21.16	18.36	21.33	132.32	34.58	16.18	12.63
	総流入下水道量 当たり単価 (円/m ³)	管理費	3.53	3.55	28.27	1.57	7.81	3.07	1.31	6.54	2.02	2.38	1.03
		水処理費	17.13	19.18	87.20	24.62	12.62	14.71	19.50	82.54	32.56	13.33	10.99
		汚泥処理費	11.66	0.92	2.20	0.39	0.73	0.58	0.52	43.24	0.00	0.47	0.61
	晴天時汚水量 当たり単価 (円/m ³)	人件費	4.30	8.89	5.32	1.21	6.87	5.26	0.37	5.39	1.25	4.27	3.30
		経費	37.03	21.91	130.31	35.67	24.33	18.02	23.15	136.06	74.82	16.05	13.63
		計	41.33	30.80	135.63	36.88	31.20	23.28	23.52	141.45	76.07	20.32	16.93
水処理費	総流入下水道量 当たり単価 (円/m ³)	人件費	2.56	5.35	2.30	0.44	3.67	3.16	0.17	2.52	0.58	2.67	1.91
		経費	14.57	13.83	84.90	24.19	8.94	11.54	19.33	80.02	31.98	10.66	9.07
		計	17.13	19.18	87.20	24.63	12.61	14.70	19.50	82.54	32.56	13.33	10.98
	晴天時汚水量 当たり単価 (円/m ³)	人件費	3.28	6.96	2.65	0.61	5.42	4.01	0.19	2.69	0.63	3.35	2.56
		経費	18.63	18.02	97.86	33.57	13.18	14.63	21.32	85.54	34.31	13.39	12.17
		計	21.91	24.98	100.51	34.18	18.60	18.64	21.51	88.23	34.94	16.74	14.73

- 1 平均単価には西部・東部スラッジセンター、厚別洗浄センター、手稲沈砂洗浄センター及び埋立施設に係る経費を含む。
- 2 高度処理・アメニティ・雪対策・間接事業に係る経費は含まない。
- 3 茨戸水再生プラザは、平成15年度から石狩市分の下水を事務委託により処理しており、処理場単価及び平均単価には石狩市分を含む。
- 4 定山溪水再生プラザの汚泥処理費には、脱水業務等の経費を含む。

汚泥処理・処分単価

費用の区分	単価の区分	平均単価	脱水			焼却		埋立
			圧入式スクリーン ^レ レス	遠心脱水		西部SC	東部SC	手稲前田埋立施設
				西部SC	東部SC			
汚泥処理・処分	処理固形物量当たり脱水単価(円/t)	38,494	193,837	24,997	33,511	-	-	-
	脱水汚泥量当たり処分単価(円/t)	10,161	-	-	-	9,353	11,931	-
	埋立物量当たり処分単価(円/m ³)	64,941	-	-	-	-	-	64,941

- 1 脱水単価には、脱水汚泥の焼却施設への運搬経費を含む。
- 2 焼却施設の処分量には、スクリーンかすを含む。

ポンプ場

単価の区分	総揚水量当り (円/m ³)			総揚水量当り (円/m ³)			晴天時汚水量当り (円/m ³)			
	内 訳	人件費	経費	計	管理費	水処理費	計	人件費	経費	計
平均単価		0.76	7.68	8.44	1.05	7.39	8.44	1.27	12.81	14.08
ポンプ場別	茨戸中部	0.50	3.50	4.00	0.00	4.00	4.00	0.83	5.74	6.57
	茨戸東部	1.32	3.57	4.89	0.00	4.89	4.89	2.39	6.48	8.87
	東雁来	-	86.59	86.59	0.00	86.59	86.59	-	-	-
	伏古川	-	103.49	103.49	0.00	103.49	103.49	-	-	-
	豊平川	6.17	32.73	38.90	19.07	19.83	38.90	-	-	-
	米里	-	85.65	85.65	66.10	19.55	85.65	-	174.33	174.33
	月寒川	-	216.73	216.73	43.56	173.17	216.73	-	-	-
	野津幌川	-	57.15	57.15	0.00	57.15	57.15	-	-	-
	川北	-	37.20	37.20	0.00	37.20	37.20	-	112.61	112.61
	厚別川	-	17.02	17.02	0.00	17.02	17.02	-	-	-
	定山溪	-	8.17	8.17	0.00	8.17	8.17	-	8.49	8.49
	藤野	-	9.59	9.59	0.00	9.59	9.59	-	11.33	11.33
	簾舞	-	37.56	37.56	0.00	37.56	37.56	-	48.54	48.54
	藻岩第2	-	8.23	8.23	0.00	8.23	8.23	-	19.24	19.24
	手稲*	0.80	4.23	5.03	0.03	5.00	5.03	1.20	6.40	7.60
茨戸西部	0.88	2.58	3.46	0.02	3.44	3.46	1.39	4.08	5.47	

* 手稲中継ポンプ場は石狩市分も含む。

(3) 使用量状況（水再生プラザ）

電力

項目		施設名		創成川	拓北	伏古川	茨戸	豊平川	厚別	定山溪	東部	新川	手稲	
		水量	m ³											
動力	水揚	水量	m ³	38,486,920	3,042,020	15,981,480	37,863,850	60,596,670	40,718,530	-	11,104,750	66,530,810	73,519,080	
		買電電力量	kWh	3,091,700	260,170	1,016,638	2,726,310	2,814,378	2,229,930	-	1,194,140	3,663,350	3,707,680	
		発電電力量	kWh	0	0	0	0	0	0	-	0	1,330	95,820	
		使用量／水量		0.0803	0.0855	0.0636	0.0720	0.0464	0.0548	-	0.1075	0.0551	0.0517	
	水処	水量	m ³	-	-	* 12,140	250,090	131,390	-	-	-	-	434,860	349,860
		買電電力量	kWh	-	-	* 303	9,220	4,155	-	-	-	-	10,040	0
		発電電力量	kWh	-	-	0	0	0	-	-	-	-	0	10,130
		使用量／水量		-	-	0.0250	0.0369	0.0316	-	-	-	-	0.0231	0.0290
	理	プロワ	水量	m ³	36,937,440	3,042,020	14,459,060	34,776,500	55,182,540	37,339,100	2,759,980	11,104,190	64,028,700	68,339,610
			買電電力量	kWh	7,336,080	708,280	2,360,950	2,718,910	5,322,948	6,193,630	131,213	1,872,400	6,984,095	7,886,680
			発電電力量	kWh	21,000	90	42,810	0	52,000	23,950	44	0	129,760	62,250
			使用量／水量		0.1992	0.2329	0.1662	0.0782	0.0974	0.1665	0.0476	0.1686	0.1111	0.1163
	他	その他	買電電力量	kWh	2,250,668	254,245	1,104,893	1,685,181	4,004,149	1,643,418	252,683	954,854	3,155,755	4,634,968
			発電電力量	kWh	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	-	1,520.0	127,685
	小計	買電電力量	kWh	12,678,448	1,222,695	4,482,784	7,139,621	12,145,630	10,066,978	383,896	4,021,394	13,813,240	16,229,328	
		発電電力量	kWh	21,000	90	42,810	0	52,000	23,950	44	0	132,610	295,885	
汚泥処理	買電電力量	kWh	12,699,448	1,222,785	4,525,594	7,139,621	12,197,630	10,090,928	383,940	4,021,394	13,945,850	16,525,213		
	使用量計	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高度処理	水量	m ³	26,007,330	-	14,459,060	-	-	-	-	-	11,104,190	-	-	
	買電電力量	kWh	1,232,420	-	(181,390)	-	-	-	-	-	648,240	-	-	
	使用量／水量		0.0474	-	0.0125	-	-	-	-	-	0.0584	-	-	
その他	せせらぎ	買電電力量	kWh	260,659	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		買電電力量	kWh	405,212	-	-	-	214,220	-	-	-	-	460,329	
	融雪槽	買電電力量	kWh	502,459	-	194,999	-	-	138,510	-	-	-	138,017	
		買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	6,797	-	-	-	-	
合計	買電電力量	kWh	15,385,598	1,428,485	4,856,203	7,697,261	13,125,838	10,683,635	383,896	4,669,634	15,142,856	16,576,708		
	発電電力量	kWh	21,000	90	42,810	0	52,000	23,950	44	0	132,850	295,885		
光熱水	水処理	買電電力量	kWh	15,406,598	1,428,575	4,899,013	7,697,261	13,177,838	10,707,585	383,940	4,669,634	15,275,706	16,872,593	
		買電電力量	kWh	882,523	84,430	346,160	528,353	366,600	270,030	122,328	181,590	595,158	359,250	
		買電電力量	kWh	128,600	-	-	36,451	212,714	26,070	-	-	25,776	9,590	
		買電電力量	kWh	67,275	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	買電電力量	kWh	304,688	0	224	0	0	15,370	0	0	34,294	0	
合計	使用量計	kWh	1,383,086	84,430	346,384	564,804	579,314	311,470	122,328	181,590	655,228	368,840		
使用量合計	買電電力量	kWh	16,768,684	1,512,915	5,202,587	8,262,065	13,705,152	10,995,105	506,224	4,851,224	15,798,084	16,945,548		
	発電電力量	kWh	21,000	90	42,810	0	52,000	23,950	44	0	132,850	295,885		
	合計	kWh	16,789,684	1,513,005	5,245,397	8,262,065	13,757,152	11,019,055	506,268	4,851,224	15,930,934	17,241,433		

1 自家発電使用量は、非常用及び常用の使用量（実負荷運転分）で試運転を含む。

* 2段揚水分は除く

2 伏古川水再生プラザの高度処理動力量は、水処理プロワ動力費の内数。

3 汚泥処理電力量は、汚泥圧送に係るものを含む。

水再生プラザ

項目			施設名		西部スラッジセンター			東部スラッジセンター		厚別コンポスト工場	沈砂洗浄センター	厚別洗浄センター	手稲前田埋立施設	計	
					脱水施設	定山溪脱水施設	焼却施設	脱水施設	焼却施設						
動	水	揚水ポンプ	水量	m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	-	347,844,110	
			買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,704,296
			発電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97,150
			使用量/水量		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0598
		雨水ポンプ	水量	m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,178,340
			買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23,718
			発電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,130
			使用量/水量		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0287
		プロウ	水量	m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	327,969,140
			買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41,515,186
			発電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	331,904
			使用量/水量		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1276
	その他	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19,940,814	
		発電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	129,205	
	小計	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82,184,014	
		発電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	568,389	
		使用量計	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82,752,403	
	力	汚泥処理	処理固形物	t	33,527.2	210.8	[34,100.6]	18,548.7	[17,142.8]	-	-	-	-	52,286.7	
			買電電力量	kWh	5,154,897	151,261	9,781,168	3,754,040	8,255,390	-	-	-	-	30,660,994	
			発電電力量	kWh	60	0	1,318,199	0	0	-	-	-	-	1,318,499	
		高度処理	水量	m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51,570,580
買電電力量			kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,880,660	
使用量/水量				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0365	
その他		せせらぎ	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260,659	
		流雪溝	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,079,761	
		融雪槽	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	973,985	
		その他	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	109,218	353,022	27,849	496,886	
			発電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	10	-	-	10	
合計		買電電力量	kWh	5,154,897	151,261	9,781,168	3,754,040	8,255,390	-	109,218	353,022	27,849	117,536,959		
	発電電力量	kWh	60	0	1,318,199	0	0	-	10	0	0	1,886,898			
	使用量計	kWh	5,154,957	151,261	11,099,367	3,754,040	8,255,390	-	109,228	353,022	27,849	119,423,857			
光熱水	水処理	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,736,422		
	汚泥処理	買電電力量	kWh	1,511,796	焼却施設に含む	919,140	170,460	86,910	-	-	-	-	3,127,507		
	高度処理	買電電力量	kWh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67,275		
	その他	買電電力量	kWh	0	0	0	0	0	-	29,300	50,462	0	434,338		
		使用量計	kWh	1,511,796	0	919,140	170,460	86,910	-	29,300	50,462	0	7,365,542		
使用量合計	買電電力量	kWh	6,666,633	151,261	10,700,308	3,924,500	8,342,300	-	138,518	403,484	27,849	124,902,441			
	発電電力量	kWh	60	0	1,318,199	0	0	-	10	0	0	1,886,898			
	合計	kWh	6,666,693	151,261	12,018,507	3,924,500	8,342,300	-	138,528	403,484	27,849	126,789,339			

4 []は、西部・東部スラッジセンター焼却施設の搬入固形物量（添加薬品分を除く）で外数。

重油・灯油

水再生プラザ

施設名 項目			創成川	拓北	伏古川	茨戸	豊平川	厚別	定山溪	東部	新川	
			重油	動力	水量 (m ³)	2,541,700	—	51,170	103,980	893,590	—	—
雨水揚水	使用量 (L)	25,441 (3,218)			—	687 (204)	3,890 (1,094)	7,553 (1,571)	—	—	—	6,970 (542)
使用量/ 水量	0.0087	—			0.0094	0.0269	0.0067	—	—	—	0.0068	
力	汚泥焼却	処理固形物 量(t)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	使用量 (L)	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	使用量/ 処理固形物量	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
自家用 発電機	使用量 (L)	5,208 (2,578)		615 (588)	11,766 (154)	367 (367)	14,689 (1,503)	6,425 (1,510)	31 (31)	180 (180)	9,777 (4,106)	
計	(L)	30,649 (5,796)		615 (588)	12,453 (358)	4,257 (1,461)	22,242 (3,074)	6,425 (1,510)	31 (31)	180 (180)	16,747 (4,648)	
その他	使用量 (L)	66,319		34,206	52,796	13,735	72,088	10,834	0	24,333	72,455	
使用量合計	(L)	96,968 (5,796)		34,821 (588)	65,249 (358)	17,992 (1,461)	94,330 (3,074)	17,259 (1,510)	31 (31)	24,513 (180)	89,202 (4,648)	
灯油	動力	自家用 発電機	使用量 (L)	—	—	—	—	—	—	—	74,989 (6,226)	
	計	(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	74,989 (6,226)	

1 () は、試運転に用いた量で内数。

2 単位使用量(使用量/水量)は、試運転を除いた値。

その他

水再生プラザ

設名 項目			創成川	拓北	伏古川	茨戸	豊平川	厚別	定山溪	東部	新川
			油類	白灯油	使用量 (L)	310	0	0	0	0	125
ガソリン	使用量 (L)	1,596		—	—	745	719	0	—	—	1,596
軽油	使用量 (L)	0		—	—	245	185	0	—	—	247
用水	水道	使用量 (m ³)	3,687	1,006	342	2,454	3,285	1,269	361	1,113	3,353
	井水	使用量 (m ³)	61,055	—	33,587	54,755	56,146	16,880	—	—	80,173
	処理水	使用量 (m ³)	14,883,783	363,207	3,602,648	709,263	3,672,768	9,529,036	298,130	1,583,025	10,727,340
ガス	使用量 (m ³)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1 厚別水再生プラザの各使用量には、汚水調整槽と融雪槽等を含む。

2 処理水の使用量は、各施設における場内利用分+アメニティ・雪対策分+有価売却分。

3 処理水の使用量には、砂ろ過水分を含む。

4 東部水再生プラザの処理水使用量は場内利用分と白石清掃工場への送水分。

重油・灯油

水再生プラザ

施設名 項目			手 稲	西部スラッジセンター			東部スラッジセンター		厚 別 コンポスト 工 場	沈砂洗浄 センター	厚別洗浄 センター	計
				脱水施設	定山溪 脱水施設	焼却施設	脱水施設	焼却施設				
重 油	動 力	水量 (m ³)	238,150	—	—	—	—	—	—	—	—	4,772,560
		雨水揚水 使用量 (L)	4,050 (1,691)	—	—	—	—	—	—	—	—	48,591 (8,320)
		使用量/ 水量	0.0099	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0084
	汚 泥 焼 却	処理固形 物量(t)	—	—	—	[34,100.6]	—	[17,142.8]	—	—	—	51,243.4
		使用量 (L)	—	—	—	26,082	—	600,145	—	—	—	626,227
		使用量/ 処理固形物量	—	—	—	0.8	—	35.0	—	—	—	12.2
	自家用 発電機	使用量 (L)	46,634 (1,103)	425 (291)	—	166 (166)	—	—	—	42 (42)	—	96,325 (12,619)
	計	使用量 (L)	50,684 (2,794)	425 (291)	—	26,248 (166)	—	600,145	—	42 (42)	—	771,143 (20,939)
	その他	使用量 (L)	80,702	0	—	—	19,059	0	—	11,779	—	458,306
	使用量合計	使用量 (L)	131,386 (2,794)	425 (291)	—	26,248 (166)	19,059	600,145	—	11,821 (42)	—	1,229,449 (20,939)
灯 油	動力 自家用 発電機	使用量 (L)	—	—	—	—	—	—	—	—	74,989 (6,226)	
	使用量合計	使用量 (L)	—	—	—	—	—	—	—	—	74,989 (6,226)	

1 []は、西部・東部スラッジセンター焼却施設の搬入固形物量（添加薬品分を除く）で外数。

その他

水再生プラザ

設 名 項目			手 稲	西部スラッジセンター			東部スラッジセンター		厚 別 コンポスト 工 場	沈砂洗浄 センター	厚別洗浄 センター	計
				脱水施設	定山溪 脱水施設	焼却施設	脱水施設	焼却施設				
油 類	白灯油	使用量 (L)	200	0	9,864	0	0	0	—	0	0	13,679
	ガソリン	使用量 (L)	366	—	—	—	—	—	—	—	—	5,022
	軽油	使用量 (L)	379	—	—	—	—	—	—	—	—	1,056
用 水	水道	使用量 (m ³)	3,122	3,998	49,281	—	2,185	—	—	436	320	76,212
	井水	使用量 (m ³)	—	—	—	—	—	—	—	—	6,321	308,917
	処理水	使用量 (m ³)	448,950	521,478	4,572	5,160,268	395,121	1,887,765	—	121,420	103,547	54,012,321
ガ ス	使用量 (m ³)	—	—	—	5.9	—	32.9	—	—	—	38.8	

処理薬品

水再生プラザ

施設名			水再生プラザ									
			創成川	拓北	伏古川	茨戸	豊平川	厚別	定山溪	東部	新川	
項目	施設名		水再生プラザ									
	項目		創成川	拓北	伏古川	茨戸	豊平川	厚別	定山溪	東部	新川	
汚泥処理	塩化第二鉄	処理固形物量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		使用量 / 処理固形物量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消石灰	処理固形物量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		使用量 / 処理固形物量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	工業用	カーバイド	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	
		かす	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	高分子凝集剤	処理固形物量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		使用量 / 処理固形物量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	水処理	次亜塩素酸ナトリウム	処理水量 (m ³)	38,486,920	3,042,020	15,981,480	38,151,640	55,115,530	36,684,600	2,576,090	11,104,750	66,753,400
使用量 (kg)			22,937	968	9,266	19,283	14,157	29,502	1,659	5,209	52,929	
使用量 / 処理水量			0.0006	0.0003	0.0006	0.0005	0.0003	0.0008	0.0006	0.0005	0.0008	
塩化第二鉄		処理水量 (m ³)	-	-	-	-	-	-	2,759,980	-	-	
		使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	104,295	-	-	
		使用量 / 処理水量	-	-	-	-	-	-	0.0378	-	-	
高分子凝集剤		使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水酸化ナトリウム		使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
井水消毒用 処理水消毒(再利用)用 次亜塩素酸ナトリウム		水量 (m ³)	-	37,931	-	-	-	-	-	669,030	80,173	
	使用量 (kg)	-	117	-	-	-	-	-	556	211		
臭気処理	活性炭	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-		
	水酸化ナトリウム	使用量 (kg)	-	-	-	105	-	-	-	-		
	次亜塩素酸ナトリウム	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-		
	硫酸	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-		
	塩酸	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-		
排ガス処理 水酸化ナトリウム	使用量 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

1 使用量は、固形又は有効換算量。

2 排ガス処理水酸化ナトリウムは、純水装置用水酸化ナトリウムを含む。

水再生プラザ

施設名 項目		手 稲	西部スラッジセンター			東部スラッジセンター		厚別 コンボ 工場	創成川 高度処理施設		計
			脱水施設	定山溪 脱水施設	焼却施設	脱水施設	焼却施設		原水用	せせらぎ用	
汚 泥 処 理	塩化第二鉄	処理固形物量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		使用量 / 処理固形物量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	消石灰	処理固形物量 (kg)	—	—	210,770 [34,100,600]	—	—	—	—	—	34,311,370
		使用量 (kg)	—	—	163,240	4,394,450	—	—	—	—	4,557,690
		使用量 / 処理固形物量	—	—	0.7745	0.1289	—	—	—	—	0.1328
	工業用	使用量 (kg)	—	—	163,240	4,394,450	—	—	—	—	4,557,690
		カーバイド かす	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	0
	高分子凝集剤	処理固形物量 (kg)	—	33,527,200	210,770	—	18,548,700	—	—	—	52,286,670
		使用量 (kg)	—	101,690	2,040	—	55,997	—	—	—	159,727
使用量 / 処理固形物量		—	0.0030	0.0097	—	0.0030	—	—	—	0.0031	
水 処 理	次亜塩素酸 ナトリウム	処理水量 (m ³)	79,432,170	—	—	5,151,170	—	—	0	3,024,515	355,504,285
		使用量 (kg)	64,388	—	—	6,650	—	—	0	6,185	233,134
		使用量 / 処理水量	0.0008	—	—	0.0013	—	—	—	0.0020	0.0007
	塩化第二鉄	処理水量 (m ³)	—	—	—	—	—	—	—	—	2,759,980
		使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	104,295
		使用量 / 処理水量	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0378
	高分子凝集剤	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	水酸化 ナトリウム	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
井水消毒用 処理水消毒(再利用)用 次亜塩素酸ナトリウム	水量 (m ³)	343,635	—	—	—	—	—	—	—	1,130,769	
	使用量 (kg)	86	—	—	—	—	—	—	—	971	
臭 気 処 理	活性炭	使用量 (kg)	—	—	—	—	0	—	—	—	0
	水酸化 ナトリウム	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	105
	次亜塩素酸 ナトリウム	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	硫酸	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	塩酸	使用量 (kg)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
排ガス処理 水酸化ナトリウム	使用量 (kg)	—	—	—	71,029	—	216,869	—	—	287,898	

1 []は、西部スラッジセンター焼却施設の搬入固形物量（添加薬品分を除く）で外数。

(4) 使用量状況(ポンプ場)

電力

ポンプ場

項目			ポンプ場名	茨戸 中部	茨戸 東部	東雁来 雨水	伏古川 雨水	豊平川	米里	月寒川 雨水	野津幌川 雨水
動力	水揚	汚水	水量 (m ³)	32,052,540	11,811,650	—	—	38,490	1,392,530	—	—
		ポンプ	買電 (kWh)	943,650	405,800	—	—	3,059	83,294	—	—
			自家発 (kWh)	490	0	—	—	0	0	—	—
			使用/水量	0.0295	0.0344	—	—	0.0795	0.0598	—	—
	処水	雨水	水量 (m ³)	1,259,650	725,620	145,270	377,410	16,400	107,120	—	471,670
		ポンプ	買電 (kWh)	26,260	22,020	8,186	28,030	454	3,312	—	18,970
			自家発 (kWh)	0	0	0	0	0	0	—	0
			使用/水量	0.0208	0.0303	0.0564	0.0743	0.0277	0.0309	—	0.0402
	理	その他	買電 (kWh)	249,928	184,004	190,355	93,328	94,714	85,185	17,125	203,436
			自家発 (kWh)	410	0	0	40	0	27	0	0
		小計 (kWh)	250,338	184,004	190,355	93,368	94,714	85,212	17,125	203,436	
	小計	買電 (kWh)	1,219,838	611,824	198,541	121,358	98,227	171,791	17,125	222,406	
		自家発 (kWh)	900	0	0	40	0	27	0	0	
小計 (kWh)		1,220,738	611,824	198,541	121,398	98,227	171,818	17,125	222,406		
光熱水	水処理	買電 (kWh)	53,170	23,030	53,244	37,375	45,980	62,663	667	40,294	
		自家発 (kWh)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計 (kWh)	53,170	23,030	53,244	37,375	45,980	62,663	667	40,294	
使用量合計	買電 (kWh)	1,273,008	634,854	251,785	158,733	144,207	234,454	17,792	262,700		
	自家発 (kWh)	900	0	0	40	0	27	0	0		
	合計 (kWh)	1,273,908	634,854	251,785	158,773	144,207	234,481	17,792	262,700		

項目			ポンプ場名	川北	厚別川 雨水	定山溪	藤野	簾舞	藻岩下 第2	手稲	茨戸 西部	合計	
動力	水揚	汚水	水量 (m ³)	1,038,620	—	1,161,900	491,420	380,550	51,190	41,542,320	17,801,240	107,762,450	
		ポンプ	買電 (kWh)	135,955	—	197,350	72,210	57,381	3,240	1,837,090	904,950	4,643,979	
			自家発 (kWh)	0	—	105	8	0	0	0	0	603	
			使用/水量	0.1309	—	0.1699	0.1470	0.1508	0.0633	0.0442	0.0508	0.0431	
	処水	雨水	水量 (m ³)	386,870	687,000	—	—	—	—	—	—	1,089,091	5,266,101
		ポンプ	買電 (kWh)	9,118	38,980	—	—	—	—	—	—	34,750	190,080
			自家発 (kWh)	500	0	—	—	—	—	—	—	0	500
			使用/水量	0.0249	0.0567	—	—	—	—	—	—	0.0319	0.0362
	理	その他	買電 (kWh)	96,945	241,361	71,606	17,735	35,332	2,520	346,653	246,753	2,176,980	
			自家発 (kWh)	0	0	0	0	20	0	0	0	497	
		小計 (kWh)	96,945	241,361	71,606	17,735	35,352	2,520	346,653	246,753	2,177,477		
	小計	買電 (kWh)	242,018	280,341	268,956	89,945	92,713	5,760	2,183,743	1,186,453	7,011,039		
		自家発 (kWh)	500	0	105	8	20	0	0	0	1,600		
小計 (kWh)		242,518	280,341	269,061	89,953	92,733	5,760	2,183,743	1,186,453	7,012,639			
光熱水	水処理	買電 (kWh)	50,196	21,480	4,080	2,761	5,242	72	143,530	78,560	622,344		
		自家発 (kWh)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		小計 (kWh)	50,196	21,480	4,080	2,761	5,242	72	143,530	78,560	622,344		
使用量合計	買電 (kWh)	292,214	301,821	273,036	92,706	97,955	5,832	2,327,273	1,265,013	7,633,383			
	自家発 (kWh)	500	0	105	8	20	0	0	0	1,600			
	合計 (kWh)	292,714	301,821	273,141	92,714	97,975	5,832	2,327,273	1,265,013	7,634,983			

1 自家発電使用量は、非常用及び常用の使用量(実負荷運転分)で試運転を含む。

燃料・用水

ポンプ場

ポンプ場名			茨戸部	茨戸部	東雁来雨	伏古川雨	豊平川	米里	月寒川雨	野津幌川雨
項目			中	東	雨	雨			水	水
重油(L)	雨汚水ポンプ	試運転	1,295	949	2,307	1,157	—	581	259	861
		実運転	4,887	4,661	2,421	2,996	—	1,588	213	4,190
		計	6,182	5,610	4,728	4,153	—	2,169	472	5,051
	自家発	試運転	296	87	55	69	—	314	0	—
		実運転	149	0	0	0	—	42	15	—
		計	445	87	55	69	—	356	15	—
	動力計	試運転	1,591	1,036	2,362	1,226	—	895	259	861
		実運転	5,036	4,661	2,421	2,996	—	1,630	228	4,190
		計	6,627	5,697	4,783	4,222	—	2,525	487	5,051
	光熱水	—	—	—	—	—	—	—	—	0
使用量合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6,627	5,697	4,783	4,222	—	2,525	487	5,051			
灯油(L)	雨汚水ポンプ	試運転	—	—	—	—	2,091	—	—	—
		実運転	—	—	—	—	17,998	—	—	—
		計	—	—	—	—	20,089	—	—	—
	自家発	試運転	—	—	—	—	1,063	—	—	—
		実運転	—	—	—	—	0	—	—	—
		計	—	—	—	—	1,063	—	—	—
	動力計	試運転	—	—	—	—	3,154	—	—	—
		実運転	—	—	—	—	17,998	—	—	—
		計	—	—	—	—	21,152	—	—	—
	光熱水	—	—	—	—	—	73	—	—	
使用量合計	—	—	—	—	21,152	73	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—		
軽油(L)	自家発	試運転	—	—	—	—	—	—	—	—
		実運転	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	—	—	—	—	—
ガソリン(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水道水(m ³)	7	5	4	17	2	21	3	0		
地下水(m ³)	41,923	12,626	9,542	1,591	6,993	10,590	193	3,792		

ポンプ場名			川北	厚別川雨	定山溪	藤野	簾舞	藻岩下第2	手稲	茨戸西部	合計
項目											
重油(L)	雨汚水ポンプ	試運転	—	1,200	—	—	—	—	5,414	2,270	16,293
		実運転	—	8,330	—	—	—	—	40,607	8,494	78,387
		計	—	9,530	—	—	—	—	46,021	10,764	94,680
	自家発	試運転	194	38	—	—	—	—	277	982	2,312
		実運転	177	0	—	—	—	—	0	0	383
		計	371	38	—	—	—	—	277	982	2,695
	動力計	試運転	194	1,238	—	—	—	—	5,691	3,252	18,605
		実運転	177	8,330	—	—	—	—	40,607	8,494	78,770
		計	371	9,568	—	—	—	—	46,298	11,746	97,375
	光熱水	0	0	—	—	—	—	0	0	0	
使用量合計	371	9,568	—	—	—	—	46,298	11,746	97,375		
灯油(L)	雨汚水ポンプ	試運転	—	—	—	—	—	—	—	—	2,091
		実運転	—	—	—	—	—	—	—	—	17,998
		計	—	—	—	—	—	—	—	—	20,089
	自家発	試運転	—	—	521	223	285	—	—	—	2,092
		実運転	—	—	332	26	0	—	—	—	358
		計	—	—	853	249	285	—	—	—	2,450
	動力計	試運転	—	—	521	223	285	—	—	—	4,183
		実運転	—	—	332	26	0	—	—	—	18,356
		計	—	—	853	249	285	—	—	—	22,539
	光熱水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73
使用量合計	—	—	853	249	285	—	—	—	—	22,612	
軽油(L)	自家発	試運転	—	—	—	—	—	18	—	—	18
		実運転	—	—	—	—	—	0	—	—	0
		計	—	—	—	—	—	18	—	—	18
ガソリン(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
水道水(m ³)	3	5	2	51	30	0.5	8	10	169		
地下水(m ³)	6,836	7,339	—	—	—	—	25,426	24,493	151,344		

(5) 契約電力

施設名		区分	種 別 ※	契 約 電 力 (kW)	夜間率 (%)
水	創成川		特高受電・時間帯別	3,400	49.8
			低圧電力 (安春川バルブ室用)	1	-
			低圧電力 (貯留管中間ゲート用)	24	-
再	拓北		高圧電力Ⅲ型・時間帯別	301(4月～7月)、322(8月～9月)、 354(10月～3月)	51.4
			高圧電力Ⅱ型	1,250	-
生	伏古川		低圧電力 (低段・高段放流ゲート用)	3(低段)、8(高段)	-
			特高受電・時間帯別	2,960	52.3
プ	茨戸		従量電灯B (流入量計測テレメータ用)	緑苑台(10A)、中部P(20A) 西部P・花川・花畔(30A)	-
			特高受電・時間帯別	3,600	50.1
ラ	豊平川		定額電灯 (北郷幹線水位計用)	-	-
			高圧電力Ⅲ型	2,250	-
ザ	厚別		高圧電力Ⅰ型・時間帯別 (汚水調整池)	315(4月～9月)、323(10月～3月)	46.5
			高圧電力Ⅲ型	113(4月～3月)	-
ザ	定山溪		特高受電・時間帯別	2,930	53.5
			特高受電・時間帯別	3,450	50.0
			高圧電力Ⅱ型	3,150	-

施設名		区分	種別 ※	契約電力 (kW)	夜間率 (%)
ポ ン プ 場	茨戸中部		高圧電力 I 型	970	-
	茨戸東部		高圧電力 I 型	700	-
	東雁来雨水		高圧電力 I 型	800	-
	伏古川雨水		高圧電力 I 型	347	-
	豊平川		高圧電力 I 型	179(4月～7月)、172(8月～3月)	-
	米里		高圧電力 I 型	219(4月～7月)、220(8月～3月)	-
	月寒川雨水		低圧電力	39	-
			従量電灯 C	7kVA	-
	野津幌川雨水		厚別水再生プラザから給電	350	-
	川北		高圧電力 I 型	429	-
	厚別川雨水		高圧電力 I 型	413(4月～7月)、432(8月～3月)	-
	定山溪		高圧電力 II 型	71(4月～3月)	-
	藤野		高圧電力 I 型	117(4月～6月)、132(7月～3月)	-
	簾舞		高圧電力 I 型	86(4月～7月)、89(8月～3月)	-
藻岩下第2		低圧電力	26	-	
		従量電灯 B	20 A	-	
手稲		高圧電力 I 型・時間帯別	1,400	48.6	
		定額電灯 (雨量計・流入量予測システム機器)	-	-	
茨戸西部		高圧電力 I 型	900	-	
そ の 他	西部スラッジ センター		特高受電・時間帯別	2,800	52.1
			低圧電力 (伏越管廊排水ポンプ用)	5	-
	厚別コンポスト工場		休 止	-	-
	東部スラッジ センター		東部水再生プラザから給電	-	-
	手稲沈砂洗浄 センター		高圧電力 I 型	173	-
	厚別洗浄センター		高圧電力 I 型	156	-
手稲前田埋立施設		低圧電力	6	-	

※北海道電力の料金メニューを基準に種別を記載

(6) 処理水の再利用状況

施設名	再利用水量	場内利用									
		水処理					汚泥処理				
		消泡	床洗浄	機器冷却	その他	計	汚泥冷却	ろ布洗浄	石灰溶解	その他	計
創成川	40,778				792	792				186	186
				沈砂池シャワーリング等					置換水、圧送汚泥槽洗浄水		
拓北	996	12	10	0	94	116				880	880
		池洗浄含む			流水トラフコンベア洗浄水 コンベア等シャワーリング フロア冷却水等				置換水		
伏古川	9,871	2,184	13		126	2,323				459	459
		沈砂ホッパー室			コンベア等シャワーリング				置換水		
茨戸	1,944	0			1,361	1,361				583	583
				終沈シャワーリング、コレクタチェーン洗浄					置換水、圧送汚泥槽 洗浄水、生物脱臭用水		
豊平川	10,062	3,011			576	3,587				1,336	1,336
					終沈シャワーリング				汚泥圧送洗浄水・置換水		
厚別	26,391				1,856	1,856				1,300	1,300
				トラフコンベア洗浄水 終沈シャワーリング					スクリーン洗浄 コンベア受皿洗浄 汚泥圧送置換水 希釈水・洗浄水		
定山溪	816		29		105	134					0
				流水トラフ、 冷暖房熱源							
東部	10,591		148	40	4,145	4,333				0	0
				トラフ、スカム除去装置 ポンプ封水、排水処理					厚別へ送水(置換水)		
新川	29,390	8,700			2,150	10,850				1,010	1,010
				終沈シャワーリング、スカム除去装置					置換水、洗浄水		
手稲	17,142				43	951				279	279
				終沈シャワーリング、コレクタチェーン洗浄					圧送汚泥希釈水・置換水		
		エンジン・ブロウ・トラフ(ろ過水)		732	176		池槽水張、沈砂池洗浄水等				
合計	147,980	13,907	200	772	11,424	26,303	0	0	0	6,033	6,033

単位：m³/日

施設名	場内利用			小計	場外利用							小計
	その他		融雪※		洗浄センター	コンポスト工場	西部スラッジセンター	東部スラッジセンター	せらぎ水路※	雪対策※	その他	
	融雪※	その他										
創成川		5,157	5,157	6,135				安春川 屯田川 新琴似 創成川	14,634 (5,700) (22,120)	20,009 (9,420) (19,230) (31,010)	0	34,643
拓北			0	996								0
伏古川		385	385	3,167						6,704 (37,640)		6,704
茨戸			0	1,944								0
豊平川			0	4,923						5,139 (14,890)		5,139
厚別		153	153	3,309	284					22,798 (97,900)		23,082
定山溪		682 (1,627)	682	816								0
東部			0	4,333				6,254			4	6,258
新川		900	900	12,760						16,630 (15,270) (16,220) (40,640)		16,630
手稲			0	1,230	333		15,579				0	15,912
合計	682	6,595	7,277	39,613	616	0	15,579	6,254	14,634	71,280	4	108,367

※ 年間の利用水量を単純に年度日数で割った数値
() 内は、利用した日数で割った数値

9 下水道施設の公園・スポーツ施設利用状況

令和4年度実績

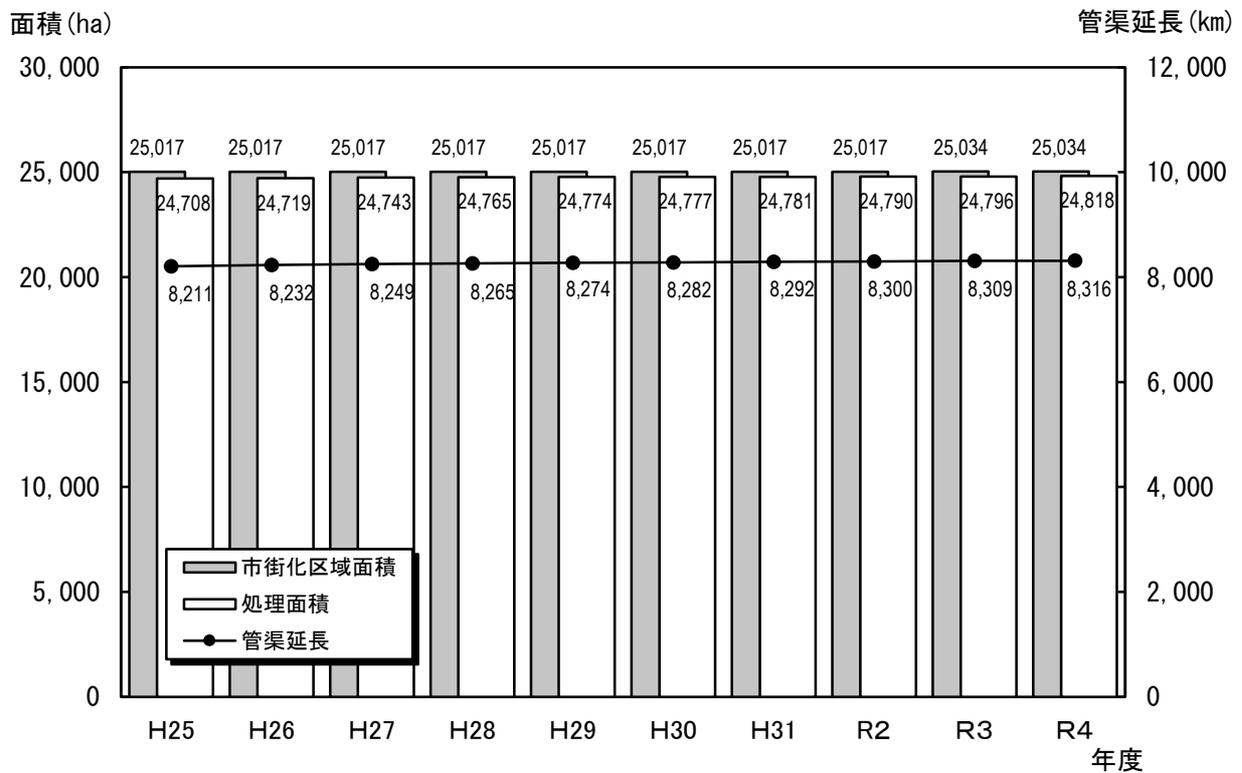
施設名	施設の種類	施設数	面積(m ²)	利用開始	利用者数(人)	見学者数(人)
創成川水再生プラザ	—	—	—	—	—	0
拓北水再生プラザ	—	—	—	—	—	0
伏古川水再生プラザ	テニスコート	2	2,070	平成元年9月 (平成21年4月 リニューアル)	12,636	0
	テニス壁打ちコート	1				
茨戸水再生プラザ	野球場	1	8,410	平成元年9月	5,457	0
	テニスコート	2	1,750	平成元年9月	—	
豊平川水再生プラザ	—	—	—	—	—	0
厚別水再生プラザ	—	—	—	—	—	0
定山溪水再生プラザ	—	—	—	—	—	10
東部水再生プラザ	ゲートボール場	1	374	平成17年7月	0	0
新川水再生プラザ	野球場	2	15,380	昭和58年4月	26,039	0
	テニスコート	4	3,300	昭和57年9月	20,940	
	パークゴルフコース	1	8,000	平成4年4月	2,200	
	緑地施設	1	5,740	昭和49年4月	多数	
手稲水再生プラザ	野球場	1	8,100	平成7年6月	8,189	0
	テニスコート	3	2,580	平成7年6月	8,200	
	パークゴルフコース	1	8,780	平成7年6月	8,358	
	緑地施設	1	8,500	昭和53年10月	多数	
西部スラッジセンター	—	—	—	—	—	2
東部スラッジセンター	—	—	—	—	—	106
下水道科学館	—	—	—	—	—	49,860
合計	野球場	4			92,019	49,978
	ゲートボール場	1				
	テニスコート	11				
	テニス壁打ちコート	1				
	パークゴルフコース	2				
	緑地施設	2				
	施設数計	21				

1 利用者数の合計値は、緑地施設利用者を除いて集計

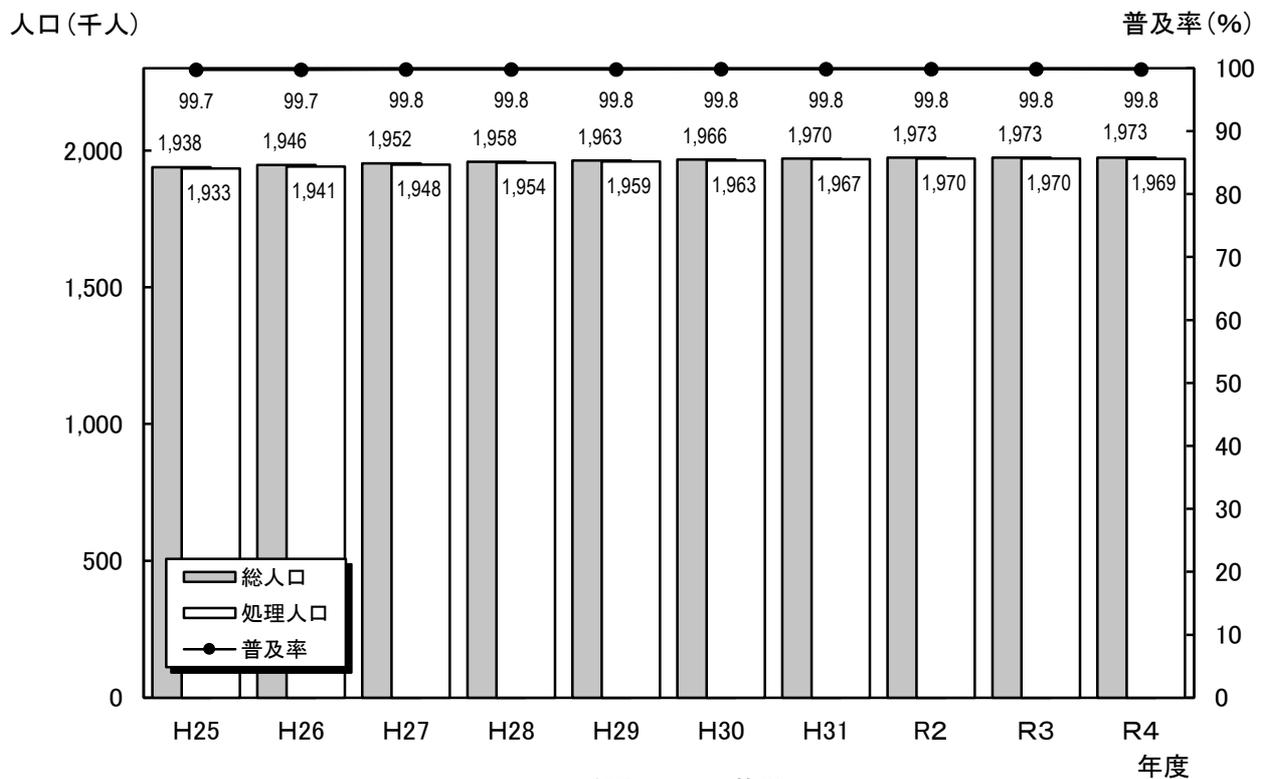
2 茨戸水再生プラザテニスコート(2面)・手稲水再生プラザテニスコート(1面)は休止中

10 参考資料

(1) 整備状況



図－1 処理面積等の推移



図－2 処理人口の推移

(2) 流入水量状況

表－1 処理水量等の推移

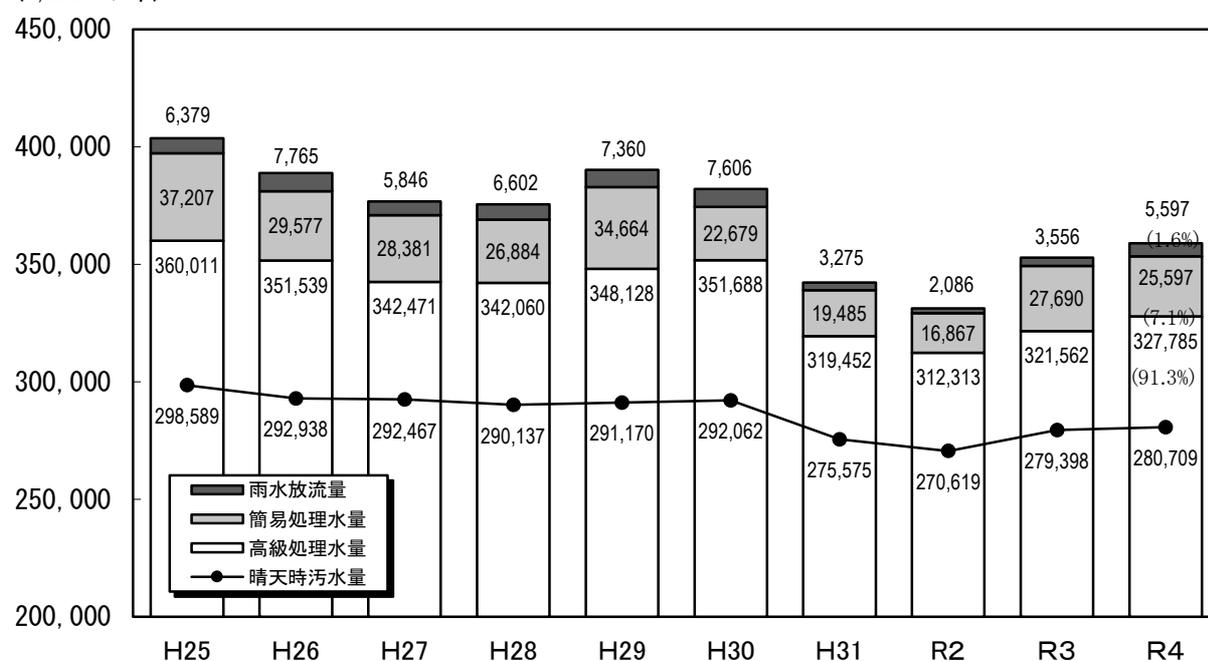
(単位： 千m³/年)

項目	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R 2	R 3	R 4
総流入水量		403, 597 (100.0)	388, 881 (100.0)	376, 697 (100.0)	375, 546 (100.0)	390, 152 (100.0)	381, 973 (100.0)	342, 212 (100.0)	331, 266 (100.0)	352, 809 (100.0)	358, 979 (100.0)
雨水放流量		6, 379 (1.6)	7, 765 (2.0)	5, 846 (1.6)	6, 602 (1.8)	7, 360 (1.9)	7, 606 (2.0)	3, 275 (1.0)	2, 086 (0.6)	3, 556 (1.0)	5, 597 (1.6)
総処理水量		397, 218 (98.4)	381, 116 (98.0)	370, 851 (98.4)	368, 944 (98.2)	382, 792 (98.1)	374, 367 (98.0)	338, 937 (99.0)	329, 180 (99.4)	349, 252 (99.0)	353, 383 (98.4)
簡易処理水量		37, 207 (9.2)	29, 577 (7.6)	28, 381 (7.5)	26, 884 (7.2)	34, 664 (8.9)	22, 679 (5.9)	19, 485 (5.7)	16, 867 (5.1)	27, 690 (7.8)	25, 597 (7.1)
高級処理水量		360, 011 (89.2)	351, 539 (90.4)	342, 471 (90.9)	342, 060 (91.1)	348, 128 (89.2)	351, 688 (92.1)	319, 452 (93.3)	312, 313 (94.3)	321, 562 (91.1)	327, 785 (91.3)
晴天時汚水量		298, 589	292, 938	292, 467	290, 137	291, 170	292, 062	275, 575	270, 619	279, 398	280, 709
処理雨水量		98, 629	88, 178	78, 384	78, 807	91, 622	82, 305	63, 362	58, 560	69, 854	72, 673
高度処理水量		62, 081	61, 976	60, 608	59, 942	59, 500	57, 958	53, 691	53, 124	54, 896	51, 571

* () は総流入水量に対する割合 (%)

* 茨戸水再生プラザ及び手稲水再生プラザにおける石狩市分を含む。

* 高度処理水量は創成川水再生プラザ及び伏古川水再生プラザ (H15から)、東部水再生プラザ (H17から) で高級処理水量の内数

(1,000m³/年)

図－3 処理水量等の推移

(3) 汚泥処理処分状況

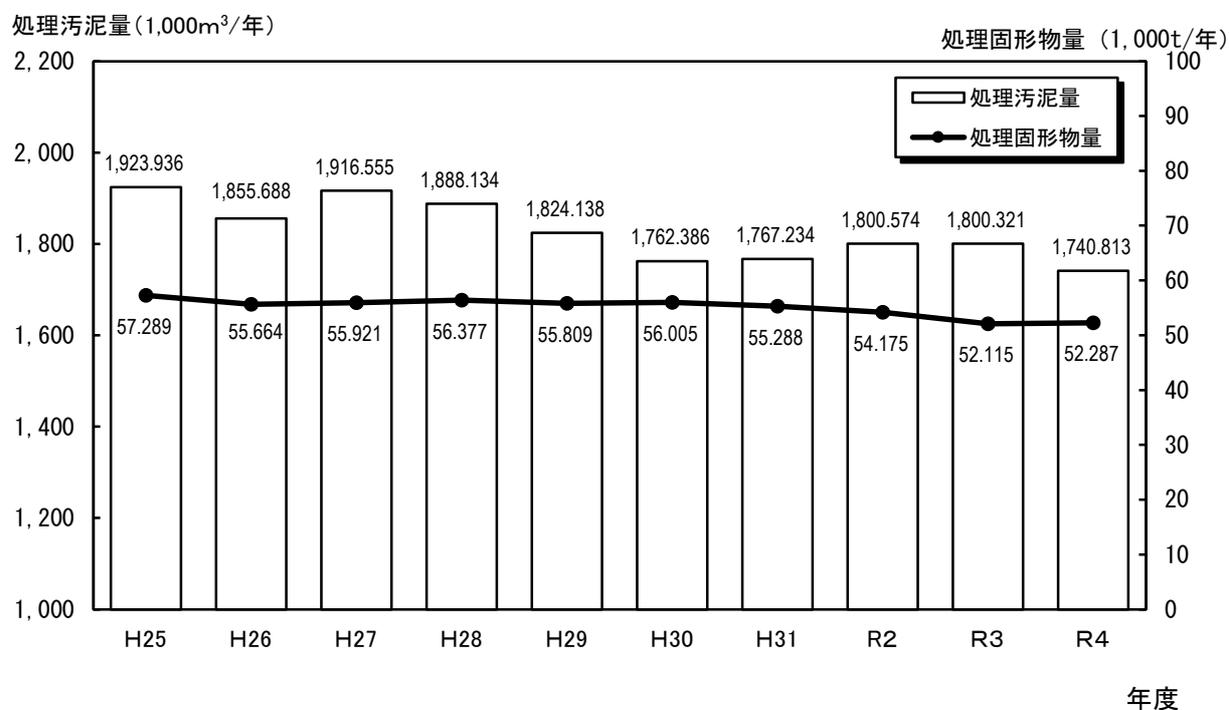
表－２ 処理固形物量・脱水汚泥量等の推移

(単位： t/年)

項目	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
処理固形物量		57,289	55,664	55,921	56,377	55,809	56,005	55,288	54,175	52,115	52,287
脱水汚泥量		220,890 (100.0)	214,190 (100.0)	219,353 (100.0)	218,047 (100.0)	215,499 (100.0)	216,225 (100.0)	213,887 (100.0)	205,749 (100.0)	202,762 (100.0)	204,733 (100.0)
焼却		220,890 (100.0)	214,190 (100.0)	217,853 (99.3)	216,313 (99.2)	213,759 (99.2)	214,646 (99.3)	212,479 (99.3)	204,851 (99.6)	201,926 (99.6)	203,538 (99.4)
熱処理		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
西部スラッジセンター		149,612 (67.7)	151,407 (70.7)	152,609 (69.6)	148,618 (68.2)	149,028 (69.2)	149,606 (69.2)	143,981 (67.3)	129,617 (63.0)	134,409 (66.3)	139,044 (67.9)
東部スラッジセンター		71,278 (32.3)	62,783 (29.3)	65,244 (29.7)	67,695 (31.0)	64,731 (30.0)	65,040 (30.1)	68,498 (32.0)	75,234 (36.6)	67,517 (33.3)	64,494 (31.5)
埋立		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
コンポスト化		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
セメント原料化		1,516 (0.7)	1,468 (0.7)	1,500 (0.7)	1,717 (0.8)	1,740 (0.8)	1,579 (0.7)	1,408 (0.7)	898 (0.4)	836 (0.4)	1,195 (0.6)
調査・その他		0 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	17 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

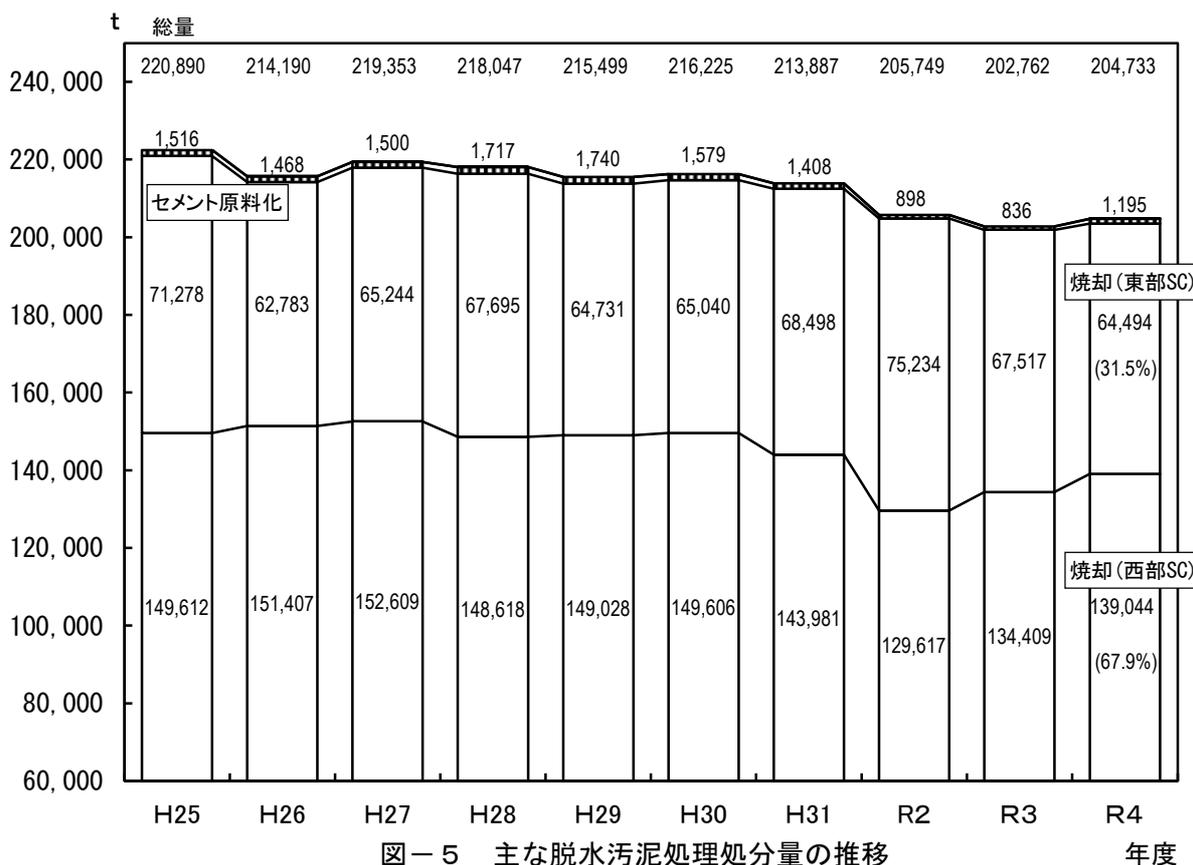
* () は脱水汚泥量に対する割合 (%)

* 石狩市分全量を含む。



図－４ 処理固形物量の推移

* 石狩市分全量を含む。



* H19年度より東部スラッジセンターの焼却開始及び豊平川水再生プラザ熱処理休止
 * H25年度よりコンポスト工場運転休止

(4) 降水量

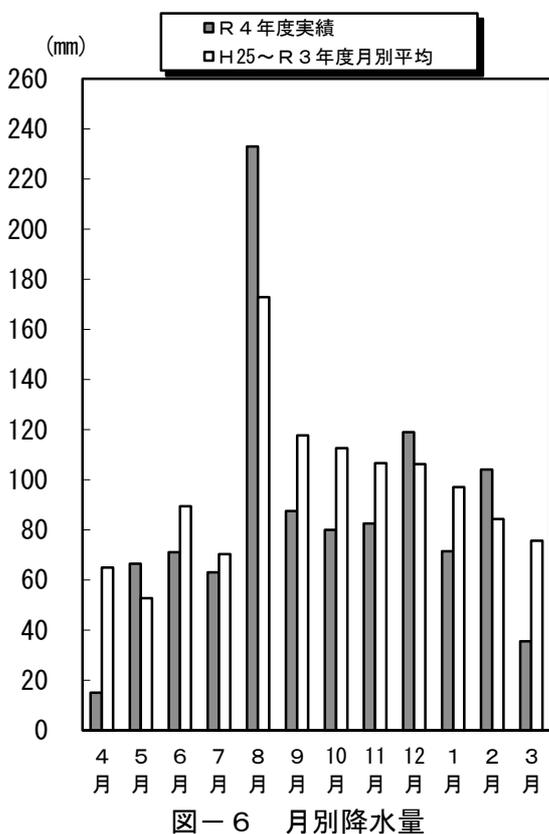


図-6 月別降水量

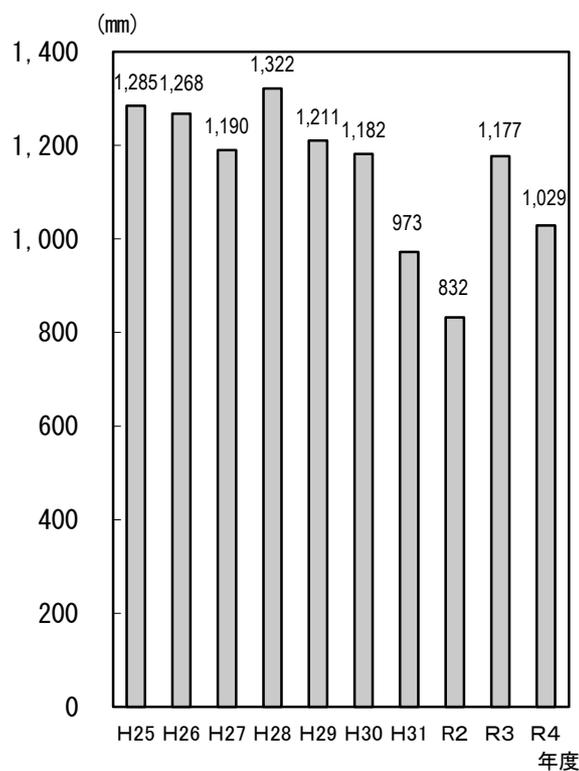
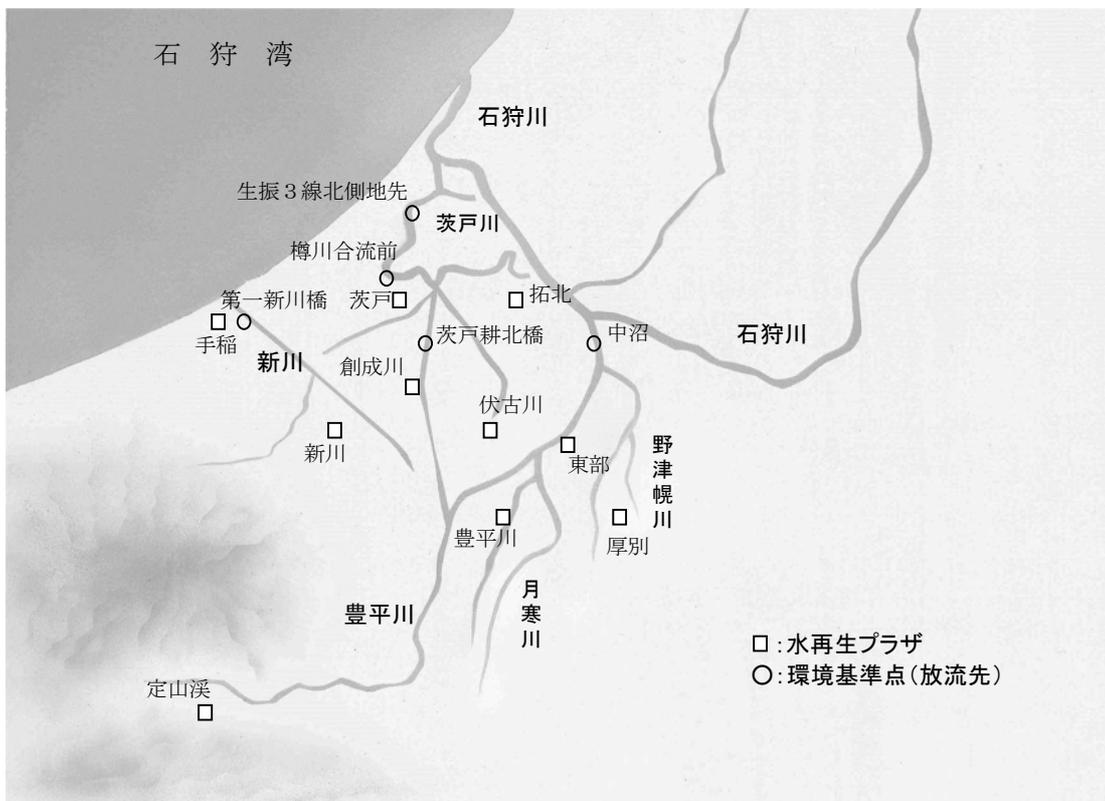
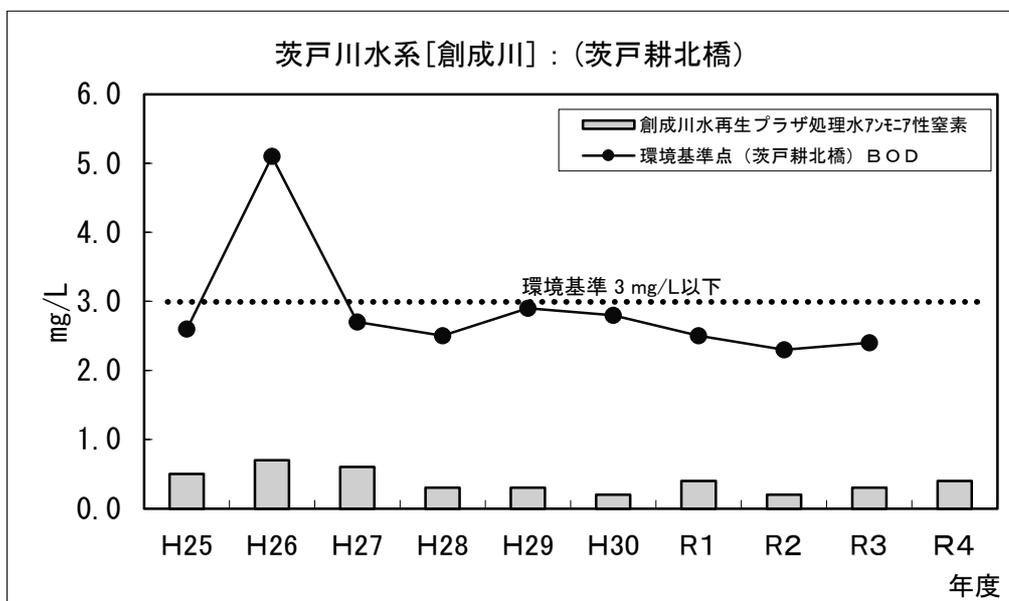


図-7 降水量(年度計)の推移

(5) 水再生プラザと環境基準点

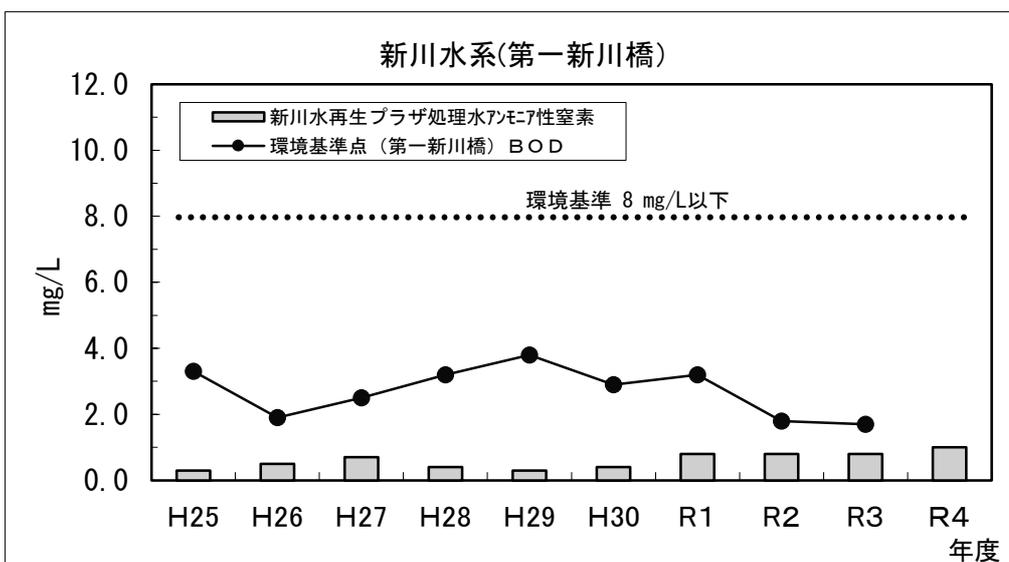
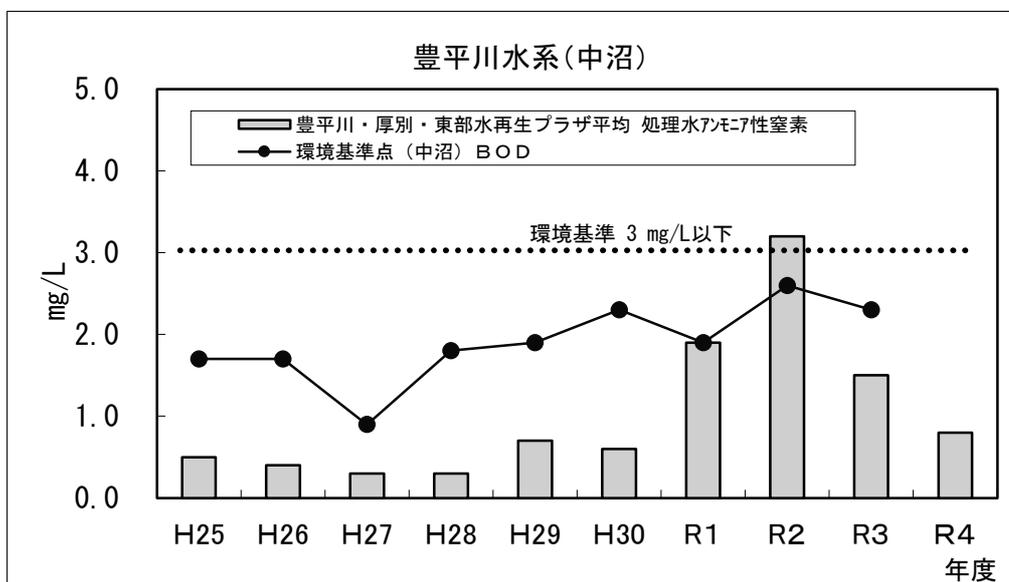
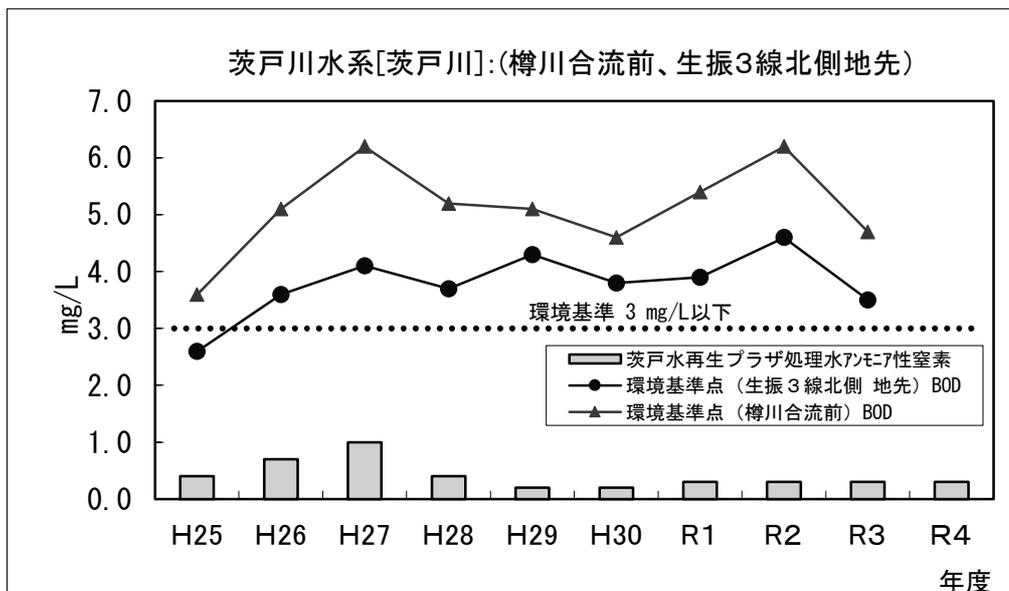


(6) 環境基準点のBODと処理水アンモニア性窒素の推移



備考 環境基準点のBODの値は、水質汚濁防止法所管庁の公表値で75%値である。

(75%値とは、n個の日間平均値を水質の良いものから並べたときに、 $n \times 0.75$ 番目にくる数値をいう。)



備考 環境基準点のBODの値は、水質汚濁防止法所管庁の公表値で75%値である。

(75%値とは、n個の日間平均値を水質の良いものから並べたときに、 $n \times 0.75$ 番目にくる数値をいう。)

(7) 電力使用状況

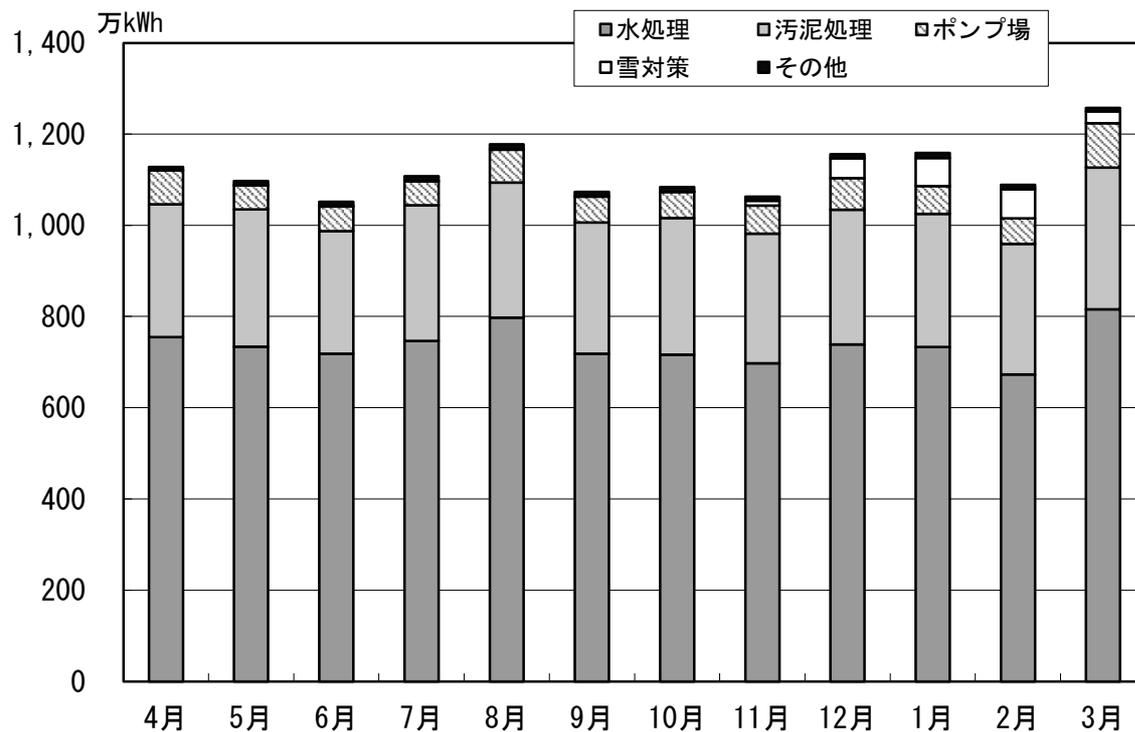


図-8 月別電力使用量 (令和4年度実績)

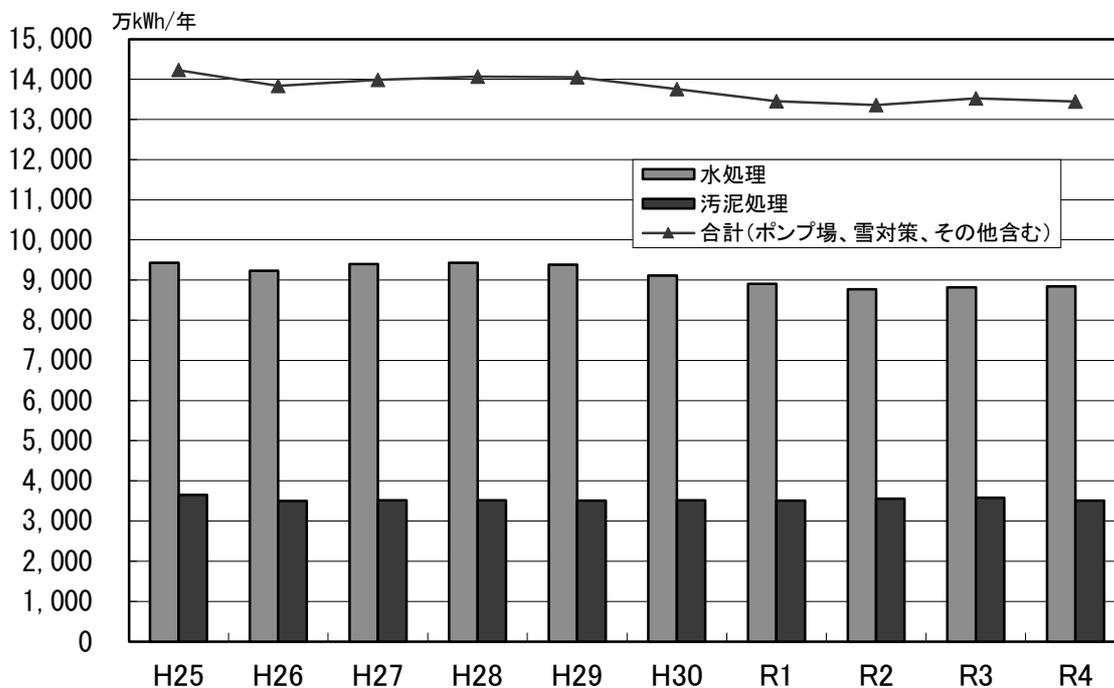


図-9 電力使用量 (年度計) の推移

* 電力使用量には、自家発電電力量も含む。

(8) 各水再生プラザの日常試験・24時間試験の項目等について

試験項目	試料と頻度 ^{注3}						24時間試験 ^{注5}
	流入水	初沈出水	反応タンク混合液	返送汚泥	終沈出水	放流水 ^{注4}	
水温*	□週1	□週1	□週1		□週1		
透視度	□週1	◎週1			◎週3		
pH*	◎週1	◎週1	◎週1		◎週1	●月2	
アルカリ度		◎週1			◎週1		
SS	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	◎年2
DO*			◎週1				
BOD	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	◎年2
C-BOD					◎週1		◎年2
全窒素	◎週1	◎週1			◎週1		
アンモニア性窒素	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	◎年2
亜硝酸性窒素	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	
硝酸性窒素	◎週1	◎週1			◎週1	●月2	
全りん	◎週1	◎週1			◎週1		
りん酸イオン態りん	◎週1	◎週1			◎週1		
大腸菌群数*					◎週1	●月2	
MLSS*			◎週3				
MLVSS*			◎週1				
RSSS*				◎週1			
SV ₃₀ *			◎週3				

注1 上表内で、◎は状況把握、●は法的要求、□は統計・記録を目的に実施することを示す。

注2 日常試験の試料は原則としてコンポジットサンプル（10：00～8：00の2時間毎、12サンプルのコンポジット）を使用するが、試験項目のうち*印のあるものはスポットサンプル（午前10：00）を使用する。

注3 流入水の採取位置は、返流水が流入する前の箇所を基本とするが、代表的な試料を継続して採取できない場合はこの限りでない。

注4 終沈出水と放流水の水質が等しいと判断される場合、放流水についての試験は別途実施しない。

注5 24時間試験の試料は、アンモニア性窒素については初沈出水・処理水とし、BOD及びSSについては流入水・初沈出水・処理水とする。